

月刊 1982年 10月号

# 747474

MAGAZINE FOR REAL MOTORCYCLISTS

臨時増刊

特集: 1982年版

# MFJ国内競技規則



ROAD RACE



MOTOCROSS



TRIAL



MINI



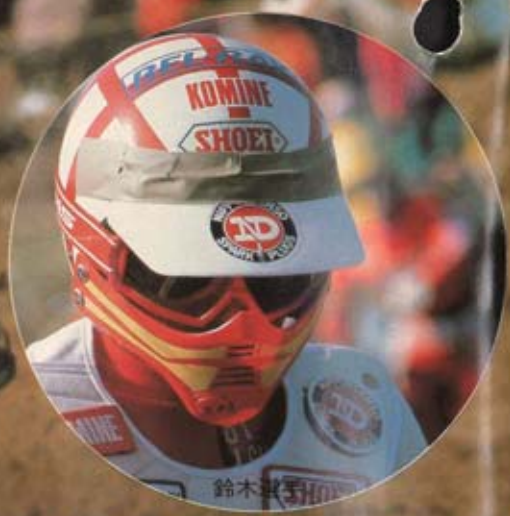
日本モーターサイクル協会







ND **デンソー**



**苛酷なモトクロスレースにも耐えた!!**



中心電極は  
金とパラジウムの合金

接地電極は  
Uカット。

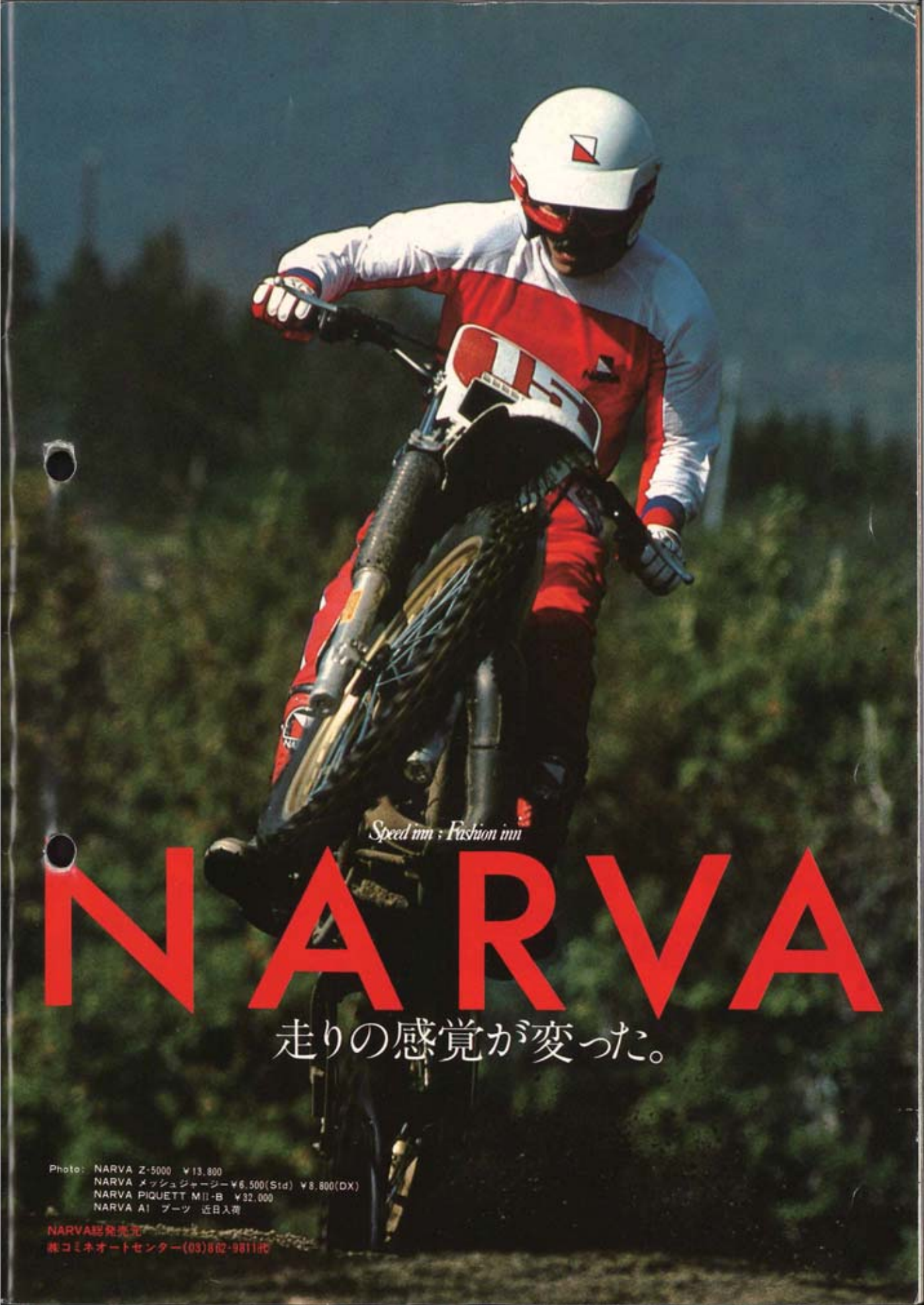


苛酷なレースにも優れた性能を発揮する

**デンソープラグ GU**

Uカットの最高峰  
**Guプラグ**





*Speed inn : Fashion inn*

# NARVA

走りの感覚が変わった。

Photo: NARVA Z-5000 ¥13,800  
NARVA メッシュジャージ ¥6,500(Std) ¥8,800(DX)  
NARVA PIQUETT M[]-B ¥32,000  
NARVA A1 ブーツ 近日入荷

NARVA総発売元  
株式会社ネオオートセンター(03)862-9811HC



THE WINNER

1981  
Motocross  
World Champion  
125



7年連続！スズキは常に勝者だ。

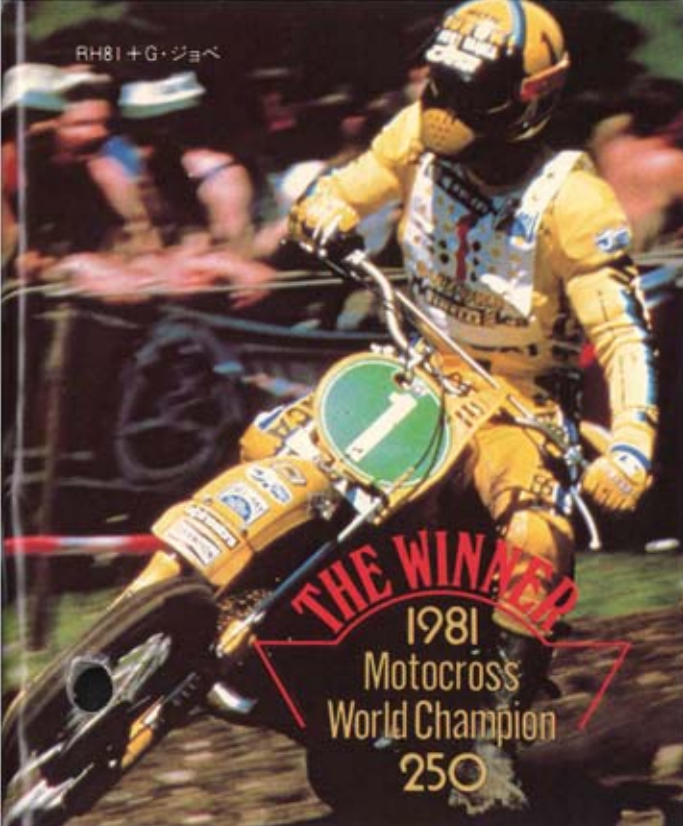
WORLD MOTOCROSS GP 125

制覇。ワールド・モ

スズキ、ワールドMXGP125cc/250ccクラス

RA81+H・エパーツ、3年連





## オフロード・キング・スズキ。

名誉と栄光をかりけど81世界MX・GP。スズキは125ccで7年連続メーカー/ライダー、250ccでは2年連続メーカーチャンピオンを獲得した。さらに、アメリカでは全米MX125cc、250cc、スーパークロスと三大タイトルを制覇。世界に君臨し続ける、モトクロス・キング、スズキ!

スピリッツ・オブ・チャンピオン

スズキ・New RMシリーズ

### RM250

●全長2,160mm ●全幅845mm ●全高1,250mm ●車軸重量96.5kg(Dry)  
●水冷・2ストローク・単気筒・フルリードバルブ ●最高出力43.0ps/8,000rpm  
●フルフローターケース ●標準現金価格 ¥395,000



### RM125

●全長2,125mm ●全幅845mm ●全高1,250mm ●車軸重量86.5kg(Dry)  
●水冷・2ストローク・単気筒・フルリードバルブ ●最高出力31.0ps/10,500rpm  
●フルフローターケース ●標準現金価格 ¥297,000



### RM80

●全長1,780mm ●全幅770mm ●全高1,030mm ●車軸重量59kg(Dry)  
●2ストローク・単気筒・ピストンリードバルブ ●最高出力19.5ps/12,000rpm  
●フルフローターケース ●標準現金価格 ¥175,000



### RM50

●全長1,540mm ●全幅725mm ●全高935mm ●車軸重量56kg(Dry)  
●2ストローク・単気筒・ピストンリードバルブ ●最高出力8.0ps/10,000rpm  
●標準現金価格 ¥113,000



## モトクロス・フィールド

全米MX125cc/250cc、スーパークロスを制覇。

連続ライダーチャンピオン獲得。

●カタログをご希望の方は、カタログ請求券と切手150円分を同封の上、〒430静岡市浜松市外高塚300鈴木自動車工業株式会社2輪企画課RM係へお送りください。  
★ヘルメットをかぶりましょう★自賠責保険をお忘れなく。

信頼に応える技術のスズキ

# SUZUKI







ブロック・グラバー+YZM500、  
1981AMAナショナル選手権モトクロスシリーズ  
500ccクラス優勝

# WON.



世界モトクロスグランプリ500

'79 '80 '81

# メーカー&ライダー




**HONDA**

PHOTO: ANDRE MALHERBE - HONDA RC 500M



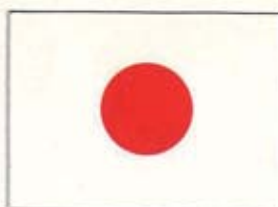
# ホンダ3年連続 チャンピオン獲得!



モトクロス最強の座を競うGP500の戦い。ホンダは3年連続してメーカーチャンピオンを獲得!あわせて、A・マラーベ選手も2年連続ワールドチャンピオンに決定!偉友G・ノイス選手とともにシリーズランキング1位、2位を占め、ホンダの技術力をあらためて実証した。★世界の最高峰、モトクロスGP500。それはまた、最新のテクノロジーとメカニズムを試す、ふたつとない“実験室”です。最も苛酷なレースで求め、蓄えられた、価値あるノウハウと数々のテクノロジーは、すべてのホンダ車にフィードバックされていきます。

# HONDA IS No.1





スタート  
国旗またはシグナルの緑



黄色縦縞の赤旗  
コース上にオイルあり注意



緑旗  
先に示した合図解除



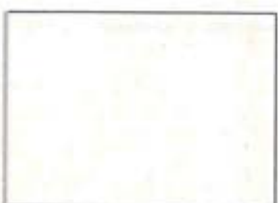
赤旗  
全ライダーはただちに停まれ!!



青旗  
追越車あり進路をゆずれ!!



黄旗  
危険あり注意。振られた場合は大いに危険!! スピードダウン徐行せよ!!



白旗または赤十字旗  
コース上に救急車あり!!



黒旗  
指示されたライダーは走行停止せよ!!



チェッカー旗  
レース終了!!キミはゴールした

ナンバープレート(ロードレース)



27

プロダクション



ノービス



国際B級



国際A級



ナンバープレート(モトクロス)



Bライセンス



ノービス



ジュニア



国際B級



国際A級  
(125cc)



国際A級  
(250cc)



ナンバープレート(トライアル)



ノービス



ジュニア



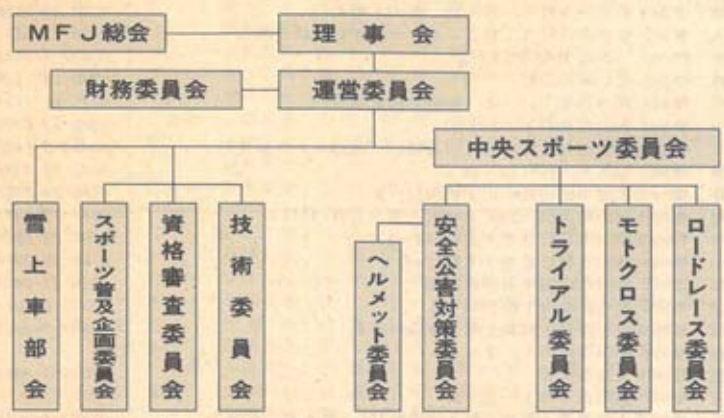
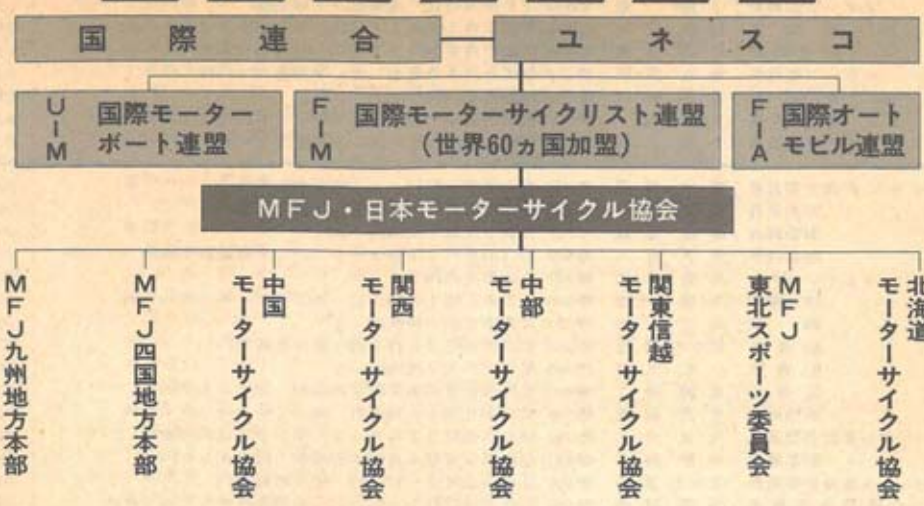
国際B級



国際A級



# 躍進!! '82 MFJ



日本モーターサイクル協会  
MFJ(エム・エフ・ジェイ)  
会長・石塚秀男

## MFJ全国スポーツ組織 昭和57年1月1日現在

北海道モーターサイクル協会顧問	横井七之助	〒060 札幌市中央区北2条東1丁目	北海道マツダ販売㈱	011-221-9181
会 長	本多行夫	〒063 札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
副会長	阿部捷兵	〒065 札幌市東区北30条東1丁目	㈱スズキ自販北海道	011-721-8311
常任理事	和田庄太郎	〒060 札幌市中央区南3条西1丁目	北日本ホンダ販売㈱	011-281-6431
常任理事	日坂三郎	〒062 札幌市白石区本通り4丁目北99	カワサキ東日本販売㈱	011-871-3170
事務局長	川山力吉	〒065 札幌市東区東雁来町52	北海道モーターサイクル協会	011-782-1492
スポーツ委員長	井上栄一	〒063 札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
モトクロス委員長	井上栄一	〒063 札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
トライアル委員長	館谷孟	〒062 札幌市豊平区豊平2条5丁目	㈱アメモーターサイクル	011-823-1980
スノース克蘭ブル委員長	井上栄一	〒063 札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
スポーツ委員	長谷川栄一	〒060 札幌市中央区南3条西1丁目	北日本ホンダ販売㈱	011-281-6421
スポーツ委員	木村一麿	〒065 札幌市東区北30条東1丁目	㈱スズキ自販北海道	011-721-8311
スポーツ委員	日坂三郎	〒062 札幌市白石区本通り4丁目北99	カワサキ東日本販売㈱	011-871-3170
スポーツ委員	館谷孟	〒062 札幌市豊平区豊平2条5丁目	㈱アメモーターサイクル	011-823-1980
札幌室蘭支部 支部長	本多行夫	〒063 札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
副支部長	阿部捷兵	〒065 札幌市東区北30条東1丁目	㈱スズキ自販北海道	011-721-8311
スポーツ委員長	井上栄一	〒063 札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
函館支部 支部長	藤尾尚志	〒041 函館市亀田本町67-32	藤尾輪業㈱	0138-43-5510
副支部長	斉藤正則	〒040 函館市高盛町9-18	函館スズキ販売㈱	0138-53-0555
スポーツ委員長	山崎徳三	〒040 函館市美原3-38-34	北海道ヤマハ㈱	0138-46-1466
旭川支部 支部長	細川悦三	〒070 旭川市1条5丁目	㈱細川商会	0166-22-7301
副支部長	腰本茂	〒078-02 旭川市永山2条1丁目	㈱スズキ自販北海道	0166-48-1186
スポーツ委員長	松谷紀昭	〒070 旭川市4条西7丁目	嵯峨ビル1F 北海道ヤマハ㈱	0166-23-9151
北見支部 支部長	相楽利雄	〒090 北見市本町4-1-14	北海道ヤマハ㈱	0157-36-6311



北見支部	副支部長	奥山富男	☎090	北見市西富町112-1	北見スズキ㈱	0157-24-1866
	スポーツ委員長	小野勉	☎090	北見市大町42	道東ホンダ販売㈱	0157-23-7551
帯広支部	支部長	石原正光	☎080	帯広市東1条西4丁目10	帯広ホンダモーター㈱	0155-23-8151
	副支部長	川瀬征美	☎080	帯広市西2条南1丁目20	㈱川瀬自転車店	0155-24-5064
	スポーツ委員長	増永民也	☎080	帯広市西5条北1-4	北海道ヤマハ㈱	0155-24-2438
釧路支部	支部長	青木英夫	☎084	釧路市北大通り10-1		0154-24-1601
	副支部長	並木利一	☎084	釧路市鳥取大通8丁目8の13	本田技研工業㈱	0154-51-1475
	スポーツ委員長	小池 峻	☎085	釧路市南浜町2-30	北海道ヤマハ㈱	0154-23-3345
M F J 東北スポーツ委員会委員長		塚本龍昌	☎963	郡山市地下町10-8	㈱塚本輪業商会	0249-22-1784
	副委員長	猪股謙一	☎980	仙台市荒巻神明町26の1	猪股商会	0222-73-5611
	副委員長	高橋道雄	☎030	青森市浪館字前田21-15		0177-81-2481
	副委員長	大友克人	☎982	仙台市長町3丁目3-9	ホンダ宮城販売㈱内	0222-47-0123
	コミッショナー	角金孝二	☎031	八戸市売市70		0178-43-5497
	特別顧問	斉藤三千雄	☎980	仙台市北根1の19の41	㈱アイビーモーターズ内	0222-73-0475
	顧問	田辺永治	☎090	青森市金沢字伊吹69-4		0177-39-2125
	監査役	佐々木俊雄	☎980	仙台市通町2-17-17	佐々木輪業内	0222-34-4832
	監査役	小松久雄	☎995	尾花沢市大字横内94-1		02372-2-4223
	監査役	池原勝二	☎999	福島県安達郡本宮町字馬場83	池原ホンダ内	02433-3-2455
	事務局長	長沢義勝	☎980	仙台市北根1の19の41	㈱アイビーモーターズ内	0222-73-0475
	トライアル委員会委員長	大友克人	☎982	仙台市長町3丁目3-9	ホンダ宮城販売㈱内	0222-47-0123
	副委員長	佐原勝二	☎999	福島県安達郡本宮町字馬場83	池原ホンダ内	02433-3-2455
	ロードレース委員会委員長	佐々木俊雄	☎980	仙台市通町2-17-17	佐々木輪業内	0222-34-4832
宮城県スポーツ委員会委員長		服部謙治	☎983	仙台市福田町1-6-46	服部カワサキショップ内	0222-58-1724
	事務局長	佐々木俊雄	☎980	仙台市通町2-17-17	佐々木輪業内	0222-34-4832
宮城県トライアル部会事務局長		大友克人	☎982	仙台市長町3丁目3-9	ホンダ宮城販売㈱内	0222-47-0123
福島県スポーツ委員会委員長		佐々木威	☎964	二本松市松岡216-2		02432-2-3541
福島県モトクロス委員会委員長		増子行雄	☎963	郡山市若松町		0249-32-1546
	事務局長	菅野明	☎963	郡山市地下町10-8	㈱塚本輪業商会内	0249-22-1784
福島県トライアル部会部会長		柳町幸一	☎963	郡山市桑野1-20-10		0249-33-6771
	事務局長	池原勝二	☎999	福島県安達郡本宮町字馬場83	池原ホンダ販売内	02433-3-2455
福島県雪上車スポーツ部会長		藤本勝	☎960	福島市天神町12-24		0245-34-3330
秋田県スポーツ委員会委員長		鈴木祐	☎019	男鹿市船川港船川字船川15-2		0185-24-2725
	事務局長	三浦勉	☎019	秋田県南秋田郡天王町天王字上北野139の2		0188-73-3271
	事務局	大倉鍾子	☎019	秋田市豊岩豊巻字上野174-1		0188-28-2986
秋田県モトクロス委員会委員長		大倉喜七	☎019	秋田市豊岩豊巻字上野174の1		0188-28-2986
秋田県トライアル部会会長		佐藤康一郎	☎010	秋田市広面字谷内佐渡38		0188-34-0695
山形県スポーツ委員会委員長		小松久雄	☎995	尾花沢市大字横内94-1		02372-2-4223
	副委員長	小林啓	☎999	山形県最上郡最上町大字向町614		02334-3-2912
	副委員長	万年松雄	☎998	酒田市浜田1-7-6		02365-3-8828
山形県内陸モトクロス委員会委員長		村形徳雄	☎999	天童市荒谷		02365-3-8828
山形県庄内モトクロス委員会委員長		関川保正	☎998	酒田市本町1-2-27		02334-3-2912
山形県スポーツ委員会事務局長		押切正行	☎999	山形県最上郡最上町大字向町196	最上ホンダ店内	02363-33-0361
山形県トライアル部会事務局長		阿部利行	☎090	山形市錦町1-15	三島モーターズ内	01952-7-3028
岩手県スポーツ委員会委員長		岩崎博美	☎029	二戸市金田一駅前		01982-4-7356
	副委員長	照井清	☎025	花巻市桜町		01952-7-350
	事務局長	根根節男	☎029	二戸市金田一山下山井9-2		0196-22-74
岩手県トライアル部会部会長		田中清也	☎020	盛岡市長田町4-14	田中ホンダ内	01737-2-4910
青森県スポーツ委員会委員長		瀬川高峰	☎088	青森県西津軽郡鯉ヶ沢字小夜230の7		0177-39-2125
	副委員長	田辺永治	☎090	青森市金沢字伊吹69-4		0177-22-5511
	副委員長	高田喜代美	☎030	青森市小柳字唐橋124市営10の17		0177-43-6282
	事務局長	山本金義	☎030	青森市松森字福田79-15	山本モーターズ内	
関東信越モーターサイクル協会会長		石塚秀男	☎108	東京都港区港南3-3-10	東京都軽自動車協会内	03-472-6241
	事務局長	大場瑞吉	☎			
関東スポーツ委員会委員長		高山光一	☎123	東京都足立区江北6-9-9		03-890-8172
	副委員長	大久保力	☎184	小金井市本町5-38-3		0423-81-7272
	顧問	新妻一郎	☎176	東京都練馬区平和台3-5-2		03-933-5282
	顧問	外川一雄	☎108	東京都港区芝5-33-8	三菱自販㈱コルツスポーツコーナー内	03-456-1111
	企画委員会委員長	大久保力	☎184	小金井市本町5-38-3		0423-81-7272
	審査委員会委員長	丸山良男	☎955	三條市四の町232	丸山輪業内	02563-2-2612
	ロードレース委員会委員長	大久保力	☎184	小金井市本町5-38-3		0423-81-7272
	副委員長	滋野靖徳	☎192	八王子市石川町2456		0426-37-3931
	副委員長	三井晃	☎144	東京都北区王子4-23-8	㈱ノガロレーシング	03-914-4763
	モトクロス委員会委員長	高山光一	☎123	東京都足立区江北6-9-9		03-890-8172
	トライアル委員会委員長	上原保男	☎196	昭島市坪島町280	昭島田中町住宅23-303	0425-45-6379
	副委員長	成田省造	☎211	川崎市中原区中丸字776の6		044-411-8618
	副委員長	安住三郎	☎211	川崎市中原区新丸子東1-9-83		044-422-1559
	スノーモバイル委員会委員長	大月信和	☎132	東京都江戸川区東小松川4-40-8	㈱大月ヤマハ内	03-656-5415
東京都支部長		岩田定雄	☎108	東京都港区港南3-3-10	東京都軽自動車協会内	03-472-6241



東京都支部	事務局長	宮城久夫	☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03-472-6241
“	スポーツ委員長	久正秀行	☎123 東京都足立区江北6-9-6 榊村上製作所内	03-896-5865
“	副委員長	鶴巻州民	☎114 東京都北区滝野川7-10-2 香川モータース	03-915-8209
“	副委員長	香川州民	☎354 富士見市勝瀬940-10	0492-64-8461
“	トライアル委員長	馬場雄雄	☎226 横浜市緑区池辺町中里前3575 神奈川県軽自動車協会内	045-931-4290
神奈川県支部	支部長	加藤清九	“	“
“	事務局長	鈴木典文	“	“
“	スポーツ委員長	加藤清九	☎330 大宮市中釘2082 埼玉県軽自動車協会内	0486-24-1221
埼玉県支部	支部長	山崎好文	“	“
“	事務局長	熊井紀一	☎379-21 前橋市野中町稲荷下518 群馬県軽自動車協会内	0272-61-0505
群馬県支部	支部長	河原井源次	“	“
“	事務局長	滝沢又文	☎370 高崎市八千代町3-8-17 宮森ビル	0273-22-2659
“	スポーツ委員長	宮森啓之	☎280 千葉市新港207 千葉県軽自動車協会内	0472-42-3321
千葉県支部	支部長	秋篠敬作	“	“
“	事務局長	金子竹治	“	“
“	スポーツ委員長	金子竹治	“	“
茨城県支部	支部長	鬼沢喜一郎	☎310 水戸市住吉町307 茨城県軽自動車協会内	0292-47-5832
“	事務局長	佐野臣一	“	“
“	スポーツ委員長	小室文男	☎310 水戸市住吉町123 小室モータース内	0292-47-5215
栃木県支部	支部長	阿子島俊一	☎320 宇都宮市西川田町字東原1664-3 栃木県軽自動車協会内	0286-45-0958
“	スポーツ委員長	伊藤喜代美	“	“
“	スポーツ委員長	松本栄太郎	“	“
“	モトクロス委員長	入江美雄	☎321-31 宇都宮市石井町2731	0286-61-3560
“	副委員長	五江潤	☎324 大田原市戸野内417	02872-3-0812
山梨県支部	支部長	荻原茂男	☎406 山梨県八代郡石和町磨柏791-1 山梨県軽自動車協会内	05526-2-7548
“	事務局長	古屋保男	“	“
“	スポーツ委員長	西谷裕司	☎409-34 山梨県東八千代郡一宮町横立95 スポーツショップ西谷内	05534-7-1476
新潟県支部	支部長	高田修明	☎950 新潟市大形本町117-3 新潟県軽自動車協会大形事務所内	0252-75-5704
“	事務局長	藤俊明	“	“
“	スポーツ委員長	丸山良男	☎950 新潟市出来島259 新潟県軽自動車協会内	0252-47-6286
長野県支部	支部長	小山幸人	☎380 長野市大字西和田字東和田境438-3 長野県軽自動車協会内	0262-43-1967
“	事務局長	山泉清人	“	“
“	スポーツ委員長	西牧徳光	☎390 松本市出川町1643 モトショップヒロ内	0263-25-6539
中部モーターサイクル協会会長	磯田守二	☎514 津市港町19-12 三重県軽自動車協会内	0592-24-1111	
“	事務局長	佐野純二	“	“
“	スポーツ委員長	藤井理美	☎513 鈴鹿市住吉町6786 ホンダワールド棟	0593-78-1455
“	トライアル委員長	鈴木唯一	☎470-01 愛知県愛知郡東郷町諸輪字東臨59-99	05613-8-0736
富山県支部	支部長	斉藤正義	☎930 富山市藤ノ木521-1 富山県軽自動車協会内	0764-24-6420
“	事務局長	東外次郎	“	“
“	スポーツ委員長	斉藤正義	☎930 富山市藤ノ木古3-16(自宅)	0764-25-6824
石川県支部	支部長	藤和男	☎920 金沢市入江3-134 石川県軽自動車協会内	0762-91-7111
“	事務局長	泉三松	“	“
“	スポーツ委員長	川村幸男	☎921 金沢市二口町の80	0762-65-6601
福井県支部	支部長	津善一	☎407-37 福井市浅水町138字植木11-2 福井県軽自動車協会内	0776-38-0558
“	事務局長	井上信弘	“	“
“	スポーツ委員長	井上善佳	“	“
岐阜県支部	支部長	仲神上二	☎501-02 岐阜県本巣郡穂積町大字別府花塚3ノ町2226-5	05832-6-5982
“	事務局長	井上武好	岐阜県軽自動車協会内	“
“	スポーツ委員長	福井保一	☎463 名古屋市守山区守山字間黒71-1 カワサキ中日本販売株式会社名古屋	052-793-7671
静岡県支部	支部長	戸田芳司	☎422 静岡市国吉田32-7 静岡県軽自動車協会内	0542-61-4455
“	事務局長	松永初枝	“	“
“	スポーツ委員長	伊藤光夫	“	“
愛知県支部	支部長	仲田謙之夫	☎468 名古屋市昭和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110の6	052-833-9276
“	事務局長	寺尾夫男	愛知県軽自動車協会内	“
“	スポーツ委員長	島田亮彦	☎455 名古屋市中村区稲葉地町3-8	052-412-5154
三重県支部	支部長	野寄慎南	☎514 津市港町19-12 三重県軽自動車協会内	0592-24-1111
“	事務局長	打田南	“	“
“	スポーツ委員長	荒木幸保	☎514 津市東丸の内14-32 カワサキ中日本販売株式会社三重営業所	0592-26-2713
関西モーターサイクル協会会長	西海義治	☎653 神戸市長田区房王寺町1-20	078-642-1785	
“	事務局長	西林徳弘	☎673 神戸市垂水区玉津町居住67-1 兵庫県軽自動車協会内	078-927-7701
“	スポーツ委員長	西海義治	☎653 神戸市長田区房王寺町1-20	078-642-1785
“	トライアル委員長	山本隆	☎675 加古川市野口町良野261-3 山本レーシングサービス内	0794-23-2335
滋賀県支部	支部長	磯部清	☎520-01 大津市唐崎3-17-1 滋賀県軽自動車協会内	0775-79-2233
京都府支部	支部長	松井伊蔵	☎612 京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館内京都府軽自動車協会二輪部会	075-671-5887
大阪府支部	支部長	野田道男	☎550 大阪府西区立売堀1丁目7-14 大阪府軽自動車協会内	06-532-4781
兵庫県支部	支部長	西海義治	☎653 神戸市長田区房王寺町1-20	078-642-1785
奈良県支部	支部長	小島末太郎	☎630 奈良市南宮終町2-321-1 奈良県軽自動車協会内	0742-24-5593
和歌山県支部	支部長	黒川栄	☎641 和歌山市西浜字中川向ヒノ坪1660-389 和歌山県二輪車安全普及協会内	0734-31-6133



中国モーターサイクル協会会長	吉井幸三	巻730	広島市大手町3-1-29	榊平和ホンダ内	0822-41-4274
西日本スポーツ委員会委員長	大野弘雄	巻730	広島市南区松川町3-19	榊広島英油内	0822-61-8386
山陰スポーツ委員会委員長	原立脇	巻683	米子市天神町2-49	立脇モータース内	08592-2-4583
鳥取県支部	支部長 梶浦兵造	巻680	鳥取市丸山町248	鳥取自動車会館内鳥取県軽自動車協会内	0857-23-3271
島根県支部	支部長 原三弘	巻690	松江市八幡町725	島根県二輪車協会内	0852-38-1685
岡山県支部	支部長 吉村猪吉郎	巻710	倉敷市沖8番地1	東中国スズキ販売内	0864-24-1211
広島県モトクロス委員会委員長	石川増美	巻700	岡山市南中央町12-3	榊梅木高会内	0862-31-5031
山口県支部	支部長 佐々木吉雄	巻755	宇部市南浜町2-7-21	佐々木モータース内	0836-21-8181
山口県支部	支部長 西本恵啓	巻743	山口県光市蛇ヶ浜2-7-26		0827-32-1555
M F J 四国地方本部	本部長 前田秀雄	巻760	高松市三条町113	榊スズキオート香川	0878-66-8411
四国スポーツ委員会	委員長 岡村秀樹	巻760	高松市西宝町3-11-7		0878-34-1634
モトクロス委員会	委員長 岡川義明	巻763	丸亀市西本町1-1-1		08772-2-2921
トライアル委員会	委員長 宮川雅夫	巻763	丸亀市今津町886		08772-2-9512
事務局長	富浪拓夫	巻770	徳島市西新町4丁目7	富浪商店内	0886-22-5545
顧問	前武秀雄	巻760	高松市三条町113	榊スズキオート香川	0878-66-8411
顧問	藤沢和夫	巻670	明石市二見町福里506-18		07894-2-8297
徳島県支部	支部長 宮本恒栄	巻105	東京都港区新橋1-1	日比谷ビル8階 カワサキオートバイ販売内	03-503-2581
事務局長	半田良和	巻770	徳島市南矢三町2-1-58	徳島県二輪自動車協会内	0886-53-8513
スポーツ委員長	林正明	巻774	阿南市西路見町元村30-3		0884-22-0710
モトクロス委員長	岸正裕	巻770	徳島市徳島本町3丁目8		0886-54-2233
トライアル委員長	前田秀雄	巻760	高松市三条町113	榊スズキオート香川	0878-66-8411
香川県支部	支部長 岡川義明	巻763	丸亀市今津町886		08772-2-9512
副支部長	兼近教子	巻762	坂出市旭町3丁目1-11		08774-6-3385
スポーツ委員長	湯浅進	巻760	高松市木太町2343-6		0878-33-9625
事務局長	内康博	巻760	高松市牟礼町牟礼678-82		0878-45-9570
モトクロス委員会	支部長 曾我光四郎	巻762	松山市南高井町1812-3	愛媛県軽自動車協会内	0899-75-7310
トライアル委員会	支部長 土居靖雄	巻790	松山市三番町7丁目13-11	松山カワサキみはら内	0899-32-6151
愛媛県支部	支部長 三原森雄	巻794	松山市高岡町61		0899-73-0467
事務局長	金高修	巻790	松山市本町		0899-45-7130
モトクロス委員長	岡村猪之助	巻762	高知市横浜1657	高知県軽自動車協会内	0888-32-0178
トライアル委員長	笠井福次	巻780	高知市南御座22		0888-83-7272
高知県支部	支部長 門西健一	巻762	高知市瀬戸町2-285		0888-42-2987
事務局長	西田修作	巻783	南国市大涌甲1615		0888-4-3348
スポーツ委員長	池田範子	巻780	高知市稲荷町3-22	ウテナ美容室内	0888-83-2533
モトクロス委員会	支部長 川竹健二	巻780	高知市中宝永町3-11		0888-83-7736
トライアル委員会	支部長 渡川正一	巻780	高知市浅橋通り1-5-16		0888-31-4260
M F J 九州地方本部	本部長 内野庄八	巻812	福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16	榊福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
スポーツ委員長	鴨川清志	巻810	福岡市中央区港2-5-32	サポートハイツ101	092-771-5508
モトクロス委員会	池田享正	巻812	福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16	榊福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
トライアル委員会	吉田龍二	巻812	福岡市東区下和白7-3		092-607-4656
福岡県支部	支部長 野村正美	巻812	福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16	榊福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
事務局長	林篤	巻812	福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16	榊福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
佐賀県支部	支部長 松尾保次	巻840	佐賀市高木瀬町大字高木五本杉1240-10	佐賀県軽自動車協会内	0952-30-8442
事務局長	野繁次	巻850	長崎市平間町400-3	第2総合事務所内	0958-38-3245
長崎県支部	支部長 福内義秀	巻862	熊本市東町4-26	熊本県軽自動車協会内	0963-69-7920
熊本県支部	支部長 西村嘉徳	巻890	大分市三ツ上1-4-35	大分県軽自動車協会内	0975-58-4861
大分県支部	支部長 渡瀬昇治	巻880	宮崎市田代町7-1	宮崎県軽自動車協会内	0985-27-1471
宮崎県支部	支部長 小浜秀典	巻890	鹿児島市谷山港2-4-3	鹿児島県軽自動車協会内	0992-61-4011
鹿児島県支部	支部長 下野実二				
事務局長	湯田啓				



# 1982年版 MFJ国内競技規則

## 総 則 ..... 14

ミニバイク競技会指導要綱 ..... 70

## 付則 1 ロードレース ..... 25

'82全日本選手権大会特別規則 ..... 34

## 付則 2 モトクロス ..... 43

'82全日本選手権大会特別規則 ..... 55

## 付則 3 トライアル ..... 61

'82全日本選手権大会特別規則 ..... 66

付 録：MFJ公認車輛・公認部品・承認部品・公認ヘルメット・歴代チャンピオン・全日本選手権ランキング...72  
基準・ライセンス昇降格規定・MFJ選手共済制度・など

昭和57年1月1日発行

## 日本モーターサイクル協会

MFJ(エム・エフ・ジェイ)The Motorcycling Federation of Japan

〒104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル Tel.03-561-8566



# MFJ国内競技規則(総則)

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motorcycliste—略称FIM)の国際スポーツ憲章、FIM競技規則にもとづいて作成され、日本国内のモーターサイクルスポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と付則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は付則に示される。

## 総則の内容

[1] MFJ国内競技規則について	14	[13] 車輛検査	22
[2] 公示, 特別規則および公式通知	14	[14] ライダーおよび車輛の変更	22
[3] ライセンス	15	[15] 走行中の遵守事項	22
[4] 参加者およびライダー	15	[16] レース	23
[5] 出場申込み	16	[17] 優勝者, 入賞者および完走者	23
[6] 出場料, 保険料および選手共済費	16	[18] 入賞車の検査	24
[7] 配布物品	16	[19] レース結果および記録の公表	24
[8] 賞および得点	16	[20] レースの延期, 中止および打切り	24
[9] 出場車輛	21	[21] 抗議	24
[10] 公道での走行禁止	21	[22] 損害の補償	24
[11] 器具および装備品	22	[23] 競技規則の違反行為に対する罰則	24
[12] 燃料およびオイル	22		

### [1] MFJ国内競技規則について

MFJ国内競技規則は、日本国内のモーターサイクルスポーツのための規則であり、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motorcycliste—略称FIM)の国際スポーツ憲章、FIM競技規則にもとづいたものである。

日本モーターサイクル協会(略称MFJ)はFIMの日本における代表機関として、モーターサイクルスポーツの国内管理、一般的モータリゼーションの普及、振興等の目的のために本国内競技規則を制定、施行する。

#### 1. 適用の範囲

本国内競技規則は日本国内のすべてのモーターサイクルスポーツ国内競技会に適用され、各種目の共通事項は総則に、競技種目によって、内容に差異のある事項はそれぞれの付則に記載する。

#### 2. 競技規則の解釈

競技会開催期間中の判定および競技規則全般の解釈は、本国内競技規則にもとづいて、競技会審査委員会(以下

大会審査委員会という)だけがおこない、大会審査委員会の判定および解釈を最終的なものとする。

### [2] 公示, 特別規則および公式通知

1. 競技会は、この国内競技規則にもとづいておこなわれ、競技会の運営上、競技の細部の規則並びに指示は公示、特別規則、および公式通知によって示される。

2. 公示、特別規則、および公式通知は、競技会主催者(以下主催者という)が発行する。

3. 特別規則には次の各項が示される。

- 1) 競技会の名称
- 2) 主催者の名称, 所在地および連絡先
- 3) 開催日時
- 4) 開催場所(コース)
- 5) 競技の内容と参加者, ライダーの資格
- 6) 出場申込み受付場所
- 7) 出場申込み期間
- 8) 出場料と保険料金
- 9) クラス区分



- 10) 出走者の定員
  - 11) 賞およびその詳細
  - 12) 運営組織
  - 13) その他、国内競技規則に定められた事項
4. 競技会運営の細部にわたる規則、指示等については公示、または特別規則に記載し得なかつた事項は、公式通知によって示される。

### [3] ライセンス

ライセンスとは国際モーターサイクリスト連盟の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠して、MFJが会員に対して発行する競技者認定証であり、国内のモーターサイクル競技会に参加するに必要な証書である。

#### 1. ライセンス区分

ライセンスには下図のライセンス資格区分がある。

#### 2. ライセンス新規取得者の資格

新たにライセンス取得申請をおこなう者は下記の条件をみたしていなければならない。

##### 1) 日本にスポーツ国籍を有する者。

注：日本国内に3ヵ月以上継続的に居住した外国人がその期間を証明できる書類を提出すれば、スポーツ国籍は日本にあるものとみなされる。ただし、本人が所属する国の代表機関の書面による承諾を必要とする。

##### 2) 運転免許証所持者。

3) 職業選手でないこと。また過去に職業選手として登録し、または登録されたことのある者は、登録取消後1年以上経過した者でなければならない。

注：職業選手とは、日本小型自動車振興会所管のレースのために登録された者、およびスタントカー、サーカス等に所属している者をいう。

4) ロードレース、ノービスライセンス取得申請の場合は、サーキットの3時間走行証明またはMFJ公認ロードレーシングスクール修了証を必要とする。

5) ロードレースBライセンス取得申請の場合は、サーキットのライセンス講習会受講証明を必要とする。

### 3. ライセンスの停止

下記の場合ライセンスは停止される。

- 1) 日本にスポーツ国籍がなくなった場合。
- 2) 運転免許証取消処分または停止処分を受けた場合。(停止の場合はその期間満了の日まで)
- 3) 職業選手として登録された場合。
- 4) MFJの認めない競技会に出場した場合。
- 5) MFJ資格審査委員会の裁定により停止処分を受けた場合。(資格審査委員会の定める期間)

### 4. ライセンス資格の昇格および降格

#### 1) 自動昇格

- (1) ジュニア部門以上のライセンス有資格者の昇格はMFJ資格審査委員会の定める規定にもとづいて審査され、昇格される。
- (2) ノービス部門以下のライセンス有資格者の昇格はMFJ地方スポーツ委員会の審査によって昇格される。

#### 2) 特別昇格および降格

- (1) ライセンス資格の昇格を希望し、MFJが定める期間内に、規定にもとづき、地方スポーツ委員会の推薦によって申請した者で、MFJ資格審査委員会の審査によって昇格が認められた者が上級ライセンス有資格者となる。
- (2) ライセンス資格の降格を希望し、MFJが定めた期間内に規定にもとづき、地方スポーツ委員会の推薦によって申請した者で、MFJ資格審査委員会の審査によって降格が認められた者は、特別にライセンス資格を降格することができる。

ただし、降格後MFJ資格審査委員会によって、そのスポーツ技術、能力が降格したライセンス資格にふさわしくないと判断された者は元のライセンス資格へ戻されるものとする。(86頁のライセンス昇・降格規定を参照のこと)。

### [4] 参加者およびライダー

#### 1. 参加者(エントラント)

#### ■ライセンスの資格区分

ライセンス名	種 目			ライセンスカラー	適 用
	ロードレース	モトクロス	トライアル		
国際A級	○	○	○	赤	スポーツ専用車を含む競技を対象として種目別に発行される競技者認定証
国際B級	○	○	○		
ジュニア	—	○	○		
ノービス	○	○	○	緑	一般市販車を含む競技を対象として発行される競技者認定証
B	対象種目=プロダクション・ロードレース、ミニモトクロス、ミニエンデューロ、スノースクランブル			青	



## 82国内競技規則

- 1) MFJに所属していて、「参加の申請」をおこなった個人およびクラブ。
  - 2) MFJに登録されている車輛メーカー、その部品関連産業メーカーおよびディーラーで、「参加者の申請」をおこなった者。
2. **ライダー**  
ライダーとはMFJ会員で、当該競技会に「出場申込み」をおこなった者。
3. **ライダーの資格**
- 1) 当該競技会出場申込みのときに、日本にスポーツ国籍を有する者で、運転免許証およびMFJの競技者ライセンスを所有する者に限る。ただし、満20歳未満の者は親権者の承諾書を必要とする。
  - 2) 主催者は競技会当日、運転免許証とMFJ競技者ライセンスおよび健康保険証の提示を求め、当日の資格を判定する。
  - 3) ライダーは過去6ヵ月以内重大な刑法上又は道路交通法違反によって処罰された者であってはならない。
  - 4) ライダーは、医師によってレース出場可能な健康体であると診断された場合、レース出場資格者、もしくはレース継続資格者としてみとめられる。  
主催者は、どのライダーに対しても、指定した医師による健康診断を要求することができる。またこの診断をもって最終とする。
  - 5) 開催期間中、転倒事故等により負傷したライダーは指定医師の承認を得なければ再び出走することはできない。
4. **メカニック**  
メカニックとは、MFJ会員で、当該競技会に「参加の申請」をおこなった者とする。
5. **ピットサインマンおよびヘルパー**  
ピットサインマンおよびヘルパーとは、MFJ会員でライダーまたはメカニックを援助する当該競技会に「参加の申請」をおこなった者。
6. **参加者、ライダー、メカニックの遵守事項**  
参加者（ライダー、メカニックを含む）は次の事項を守らなければならない。
- 1) 競技会中は、MFJ国内競技規則にしたがって行動し、参加者はすべての行動に対して責任を持たなければならない。
  - 2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定や競技役員への指示に従い、かつレース場以外では交通法規を守らなければならない。
  - 3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、野卑な言動は厳に慎まなければならない。
  - 4) 競技に関する業務についているときは飲酒あるいは

薬品によって精神状態をつくろってはならない。

- 5) 競技会中は参加の身分証を必ず携帯していなければならない。（ライセンス、運転免許証等）

### [5] 出場申込み

#### 1. 申込み方法

- 1) 申込み期間、申込み場所、その他の詳細については当該特別規則に示される。
- 2) 主催者より支給された用紙の記載事項のすべてに指示どおり記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない。
- 3) 主催者は、参加者、ライダーのいづれに対してもその理由を明らかにすることなく申込みを拒否、または無効とする権限を有する。

#### 2. 定員

- 1) レース出走者数または出場申込み者数の定員は特別規則に示される。
- 2) 出場申込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスのレースを中止することがある。

#### 3. 出場車輛の登録

出場申込み者は、「出場申込み書」により競技会に使用する出場車輛（以下車輛という）を主催者に登録しなければならない。

### [6] 出場料、保険料および選手共済費

#### 1. 出場料

参加者またはライダーは、出場申込みのときに出場料を（金額は特別規則に明示）払込まなければならない。

#### 2. MFJ選手共済費および保険料

各ライダーは、出場申込みのときにMFJ選手共済費および指定保険料の実費を主催者に払込まなければならない。選手共済費、保険料の内容の詳細は特別規則に示される。

#### 3. 出場料等の払戻し

一旦、主催者に受理された出場料等は払戻しされない。

### [7] 配布物品

参加賞および配布物品は主催者（大会事務局）から交付される。時期および詳細は特別規則に示される。

### [8] 賞および得点

#### 1. 賞およびその詳細は特別規則に示される。

#### 2. 競技会において与えられる得点は次の通りである。

- 1位=15点, 2位=12点, 3位=10点, 4位=8点,  
5位=6点, 6位=5点, 7位=4点, 8位=3点,  
9位=2点, 10位=1点。



# Challenge Spirit



## 限界に挑め。

クラークが咆哮し、ライダーとマシンがひとつになる…。トップライダー達の激しいデッドヒートは、文字通りマシンもタイヤも極限状態の中で競われます。高度なテクニックとマシンのパワーを引き出し、限界に挑むダンロップモーターサイクル用タイヤ。過酷なレースで鍛えられ、培われたノウハウは、勝つためにあくなき挑戦を続けるトップライダーの要求に見事応えています。



ダンロップモーターサイクル用タイヤ



モトクロス用

**K390**

ロードレース用

**KR133**

 **DUNLOP**



# 送料サービス 代金のみでOK(全国)

RS200TもOK

新発売! RS200T, Fスプロケット9丁 ¥3,200!

●黒丸印のみ2ヶ又は2品注文して下さい。  
○自宅のTELも記入して下さい。

## 軽量シャフト早見表

外 品 名	シ フト 注 記	車種 TL 200 R	TY 250	TL 125	TY 125	価 格
B.1	15	222	R		R	2,700円
B.2	12	200	F		F,S	3,000円
B.3	12	215	S	F		F,S 3,000円
B.4	15	248		R		3,000円
B.5	12	225		S		3,000円
B.6	15	235				3,000円
B.7	15	232	(R)	アルミ スイングアーム	R	3,000円
B.8	15			YZボトムケース専用		3,500円

※注文は送料の関係上2本以上

## RS200T好評発売中!

56年9月より ○Fフォーク 外径UPにエアースス  
○アルミタンク ○フレーム剛性UP  
○アルミスイングアーム  
○520サイズ Dチェン

ノーマル  
¥ 495,000

SP型  
¥ 520,000

レンサル  
軽量シャフト  
スタビライザー  
C.ペダル  
等を変更 又、好みに応じて  
注文装備もOK

### 全国送料サービス

(引き取りに来られる方はビレリータイヤサービス)  
36回オートローンもOKです

次回57年3月は  
即納出来ます。

### ※トリアル用品

- ニーガード ¥ 3,500
- ソックス ¥ 1,500
- クシタニウエストバンド ¥ 6,000
- ポンプ付空気入れ ¥ 2,400
- エバローク乗馬用ヘルメット ¥ 14,000
- 他、BELL、AGV、NAVA
- サミミラーブーツ各サイズ ¥ 14,000
- ジュライバーTRブーツ ¥ 41,000
- クシタニプロスターTRブーツ ¥ 36,000
- クシタニプロタイプTRブーツ ¥ 32,000
- 安く良いブーツです
- OGERNE TRブーツ ¥ 35,000
- ショウエイTRヘルメット TR-1 ¥ 12,000
- HONDA XL ウェストBag ¥ 2,500
- TR用低圧用エアゲージ ¥ 2,800
- RGトリアルブーツ ¥ 35,000
- トリアルグローブ(クシタニ) 各 ¥ 6,000
- (HONDA)
- トリアルパンツ(クシタニ) ¥ 23,000

### ※トリアルパーツ

- TL125 200R F. フェンダー ¥ 3,500
- カラー 赤、シルバーRフェンダー ¥ 4,500
- TY125 250 F. フェンダー ¥ 3,300
- 125 R. フェンダー ¥ 3,500
- 250 R. フェンダー ¥ 2,900
- TY用1.40×21 F 軽量リム ¥ 11,700
- (ビードストッパー付き)
- TL200Rリヤホイール ¥ 27,000
- フロントホイール ¥ 24,000
- (タイヤ別)
- TL200R Fスタビライザー ¥ 5,500
- TL125 ¥ 5,500
- TY125 .250 ¥ 5,500
- OKT250 ¥ 5,500
- ORL250 ¥ 1,800
- TY-TLスプロケット11丁 ¥ 1,500
- 12, 13丁
- TL用スプロケット ¥ 200
- 取付セットリング 4ヶ
- Rスプロケット(アルミ)
- TL125 49.51.53.55T ¥ 5,000
- TL200R 49.51.53.55T ¥ 4,500
- TY用 45.47.49T ¥ 4,300
- 51.53T ¥ 5,200
- KT用 52丁 ¥ 5,200
- RL用 54.58.61丁 ¥ 6,800
- DIDチェーン428H120 L
- KT, TY, TL OK ¥ 2,950
- 各メーカーブレーキレバー 10本 ¥ 5,000
- クラッチレバー
- TL125, 200R新型TRスロットルセット ¥ 3,800
- TL125用D.チェンテンショナー 少し溶接いる ¥ 3,500

- TL防水生ゴムプラグキャップ ¥ 900
- TY125, 250 ポイント ¥ 850
- TY用フライホイール外し工具 ¥ 2,500
- TL125, 200R用ポイント ¥ 700
- TL用フライホイール外し工具 ¥ 1,800
- スズキRL Rサス一式 ¥ 20,000
- カワサキKT ¥ 15,800
- TL125RSO製 ¥ 24,000
- TL200R ¥ 30,000
- TY250 ¥ 17,000
- レンサルハンドル 5.0 5.5 6.0 カラー各サイズ ¥ 6,000
- レンサルハンドルクランパー ¥ 3,500
- TY, TL200R, 125用ニップルレンチ ¥ 1,500
- TL125, 200R用 Fフォーク ブーツセット ¥ 2,800
- F. フォークプロテクター ¥ 1,200
- グリッパレバー 1セット
- TY用 ¥ 650
- TL用カラー赤黒有り ¥ 750
- ホンダ CR用 TR用にOK ¥ 900
- TY125-175YZタイプ R クランクカバー Pa共 ¥ 5,500
- STD. Lカバー Pa共 ¥ 3,600
- ビレリーTRタイヤ F ¥ 7,800
- R ¥ 10,600
- 値下断行ノ120セット限り
- チューブ F, R共 各 ¥ 1,800
- TL200Rブレーキシュー1セット ¥ 1,000
- TY125-250 F 1セット ¥ 1,300
- R 1セット ¥ 950
- TY250Lクランクカバー ¥ 8,400
- R ¥ 13,000
- TL200R Fフォーク オイルシール 1ヶ ¥ 550
- TL200R Fフォーク内圧 減圧バルブ ¥ 2,500
- TL170パワーチャンパー EXパイプ ¥ 9,000
- TL170ccKIT 新型用 ¥ 26,000
- 旧型用 ¥ 26,000
- TL125SPフライホイールKIT 新型用 ¥ 22,000
- 旧型用 ¥ 24,700
- TY250SPフライホイール ¥ 6,000
- TY175KIT ¥ 39,000

- ヤマハTYパワーレバー (ショート1セット) ¥ 2,500
- ホンダTLパワーレバー (ショートセット) ¥ 2,500

### ※トリアルパーツ

- オプションパーツR II用
- 強化プラスチックエンジンガード ¥ 12,000
- 新型プラスチックガード(赤) ¥ 13,500
- プラスチックガード200R I型 ¥ 2,900
- 取付パーツ 1セット 改造少し
- 角型スイングアーム ¥ 22,000
- 22%キャブセッティングパーツ8ヶ付 ¥ 7,500
- ポイント点火KIT全パーツ1セット ¥ 39,000
- 強化リヤスプリング ¥ 6,000
- TL200R II 220ccキット ¥ 56,000
- 200R純正Dチェン(428) ¥ 5,600
- 22%キャブ用 スロージェット # 40, 42, 45, 48, 50, 52 ¥ 380
- メインジェット # 100, 105, 110, 115, 120 ¥ 250
- RSC純製RS200T用
- 520サイズ ロチェン ¥ 7,000
- Fスプロケット9丁 ¥ 3,200
- Fスプロケット 10, R ¥ 40.41.42 ¥ 2,500
- アルミタンク赤 ¥ 50,000
- アルミスイングアーム, スタンドステー および リヤシャフトカラーpushボール付 ¥ 42,000
- 割れない新型シート ¥ 9,500
- セッケンプレート ¥ 2,000
- ガムテープ ¥ 600
- ワンタッチロープ ¥ 3,500
- カヤバフォークオイル ¥ 1,200
- スーパM ¥ 1,600
- ベルレイ・MC-1 ¥ 1,600
- BS. ダンロップ・タイヤ ¥ 特価
- NGKスパークプラグ
- D 5ES ¥ 500 B. BP5ES ¥ 360
- D 6ES ¥ 360 B. BP6ES ¥ 900
- 各Vタイプ
- アルミ修理用セメダイン スーパースリーロイ ¥ 4,500

振込先 百五銀行多気支店 当座No.6523  
どこの銀行からでもOK

## 三谷モータースポーツ

〒519-21 三重県多気郡多気町324 ☎ 05983-8-2222



# リヤショックTS シリーズ

調整簡単!!!



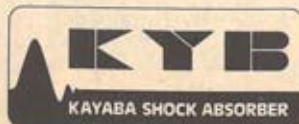
取りつけたままで減衰力4段

スプリング5段調整

- ・減衰力調整はダイヤル式。スプリング調整はレバー式。
- ・車体に装着したままで減衰力・スプリング調整可能。
- ・優美なリヤショック外観(ボデー色ブラック・スプリング色シルバー)

★別途・ゴールドメッキスプリング仕様好評発売中★

400  
500ccクラス



総発売元



カヤバ 株式会社

〒105 東京都港区芝2-1-25 ☎(03)456-1691

製造元



萱場工業株式会社

1980年度  
デミング賞実業賞受賞





# 世界のブランド Kijima が贈る 栄光へのモトクロス用品 部品



ガソリンフィルター  
MK062B ¥ 800  
MK062C ¥ 900



M・ロベルト  
マウスガード  
MK50R  
白・黄・赤・黒  
¥ 3,000



オイルメジャーカップ  
15-100 ¥ 2,500



M・ロベルトモトクロス  
エンデューロブーツ  
サイズ 40-44  
MK08-001R 赤  
MK08-001B 黒  
¥ 35,000



MXハンドルプロテクター(シール付)  
MK-55H 赤 ¥ 1,300  
MK-55Y 白 ¥ 1,300  
MK-55S 黄 ¥ 1,300  
MK-55K 緑 ¥ 1,300



MXバイザー  
白・黄・赤・黒  
MK-020 ¥ 1,000



MXバイザー  
白・黄・赤・黒  
MK-94R ¥ 700



MXバイザー  
白・黄・赤・黒  
MK-94K ¥ 1,000



スリットバイザー  
MK-94-001 ¥ 1,500  
赤・白・黄・黒



新製品  
テールランプASSY  
MK-048R ¥ 3,000



MXパワーレバー(ショート)  
MK-05MK ヤマハ、スズキ用  
¥ 2,000(1 SET)

MXパワーレバー(ショート)  
MK-05MXH ホンダ用  
SET ¥ 2,000



スコットゴーグル  
(U.S.A製)  
¥ 11,000(マスク付)



SID1  
プロフェッショナル  
¥ 49,800



モトクロスブーツ  
黒・赤  
¥ 35,000



トライアルブーツ  
サイズ25.5/26/27  
¥ 14,000



オーリングリップ  
(USA製)  
MXの人気商品  
色=黄・赤・黒  
¥ 1,500 (SET)



MX-014-004  
MXフォークブーツ  
27×50×250  
YZ80・RM80用  
SET ¥ 1,800



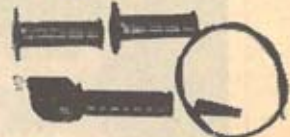
フロントフォークプロテクター  
白・黄・赤  
SET ¥ 1,000



プレストガード  
(イタリヤ製) ¥ 18,000

ハンドル(モトクロス)  
クロモリ 高さ130% ¥ 4,000

CZハンドル(モトクロス)  
クロモリ ¥ 4,000



マグナムハイスロットル 国際A選手使用  
(西ドイツ製) エンデューロ、¥ 4,000  
トライアル、モトクロス用  
転倒のさいワイヤーがおれません  
マグネシウム材



MX-067F ワンタッチベルト・フック  
マシンの運搬にフックを使用すればワ  
ンタッチでOK。ワンタッチベルト  
(MK067A・MK067B)と併用してご  
使用ください。... ¥ 2,600(2ヶ)



ワンタッチベルト・  
MK-067 ¥ 3,600  
MK-067A ¥ 3,500  
MK-067B ¥ 2,800



MXRグローブ  
MXR-09-001黒地/黄パット  
MXR-09-002赤地/白パット  
MXR-09-003青地/緑パット  
サイズ=M・L  
¥ 5,500

協賛サークル ●通販でお買上げの方、7,000円以上送料サービス  
7,000円以下今月より600円加算 電話番号、鉄道駅名を記入してください。

## Kijima Show Room

〒114 東京都北区田端新町1丁目24番地 北進ビル101 TEL 03-893-7521  
●製造元 木島ゴム工業株式会社 〒116 東京都荒川区西日暮里1丁目57番7号





3. 出走台数が20台に満たない場合、次の通り賞および得点を制限する。但し賞は原則として6位迄とする。

出走台数	得 点	出走台数	得 点
18~19台	9 位 迄	10~11台	5 位 迄
16~17台	8 位 迄	8~9台	4 位 迄
14~15台	7 位 迄	6~7台	3 位 迄
12~13台	6 位 迄	5 台	2 位 迄

注：出走台数とは、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数をいう。ただし予選がある場合は、その総台数をいう。

## 9] 出場車輛

### 1. クラスの区分

車輛は排気量によって原則として次のようにわけられ、付則に示される。

#### 1) ロードレース

ク ラ ス	最小排気量	最大排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc ~	80cc
125cc	81cc ~	125cc
250cc	126cc ~	250cc
350cc	251cc ~	350cc
500cc	351cc ~	500cc
750cc	501cc ~	750cc

#### 2) フォーミュラー・ロードレース

ク ラ ス	最小排気量	最大排気量
フォーミュラー1	(351cc)601cc~(500cc)1000cc	
フォーミュラー2	(251cc)401cc~(350cc)600cc	
フォーミュラー3	(126cc)251cc~(250cc)400cc	
フォーミュラー4	(51cc)51cc~(125cc)250cc	

注：最小~最大排気量のカッコ内は2サイクル車

### 3) プロダクション・ロードレース

125cc クラス	81cc~125cc
250cc クラス	126cc~250cc

### 4) モトクロス

ク ラ ス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc ~	80cc
125cc	100cc ~	125cc
250cc	175cc ~	250cc
500cc	350cc ~	500cc

### 5) トライアル

排気量によるクラス区分は設けない。

### 2. 総排気量の算出基準

総排気量は下記の計算式により算出する。ただしシリンダー内径・ピストン行程(m/m)は小数点以下1位まで四捨五入し、小数点以下を切り捨てて表示する。この際内径はクランク軸方向とその直角方向を測定し平均する。  
 総排気量(cc) =  $0.7854 \times \text{内径}^2 \times \text{行程} \times 10^{-3} \times \text{気筒数}$

### 3. 仕 様

車軸は付則に示す「改造の限度」と「仕様」に合致し、かつ特別規則の条件をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

### 4. 危険な車

車検長または大会審査委員会より車体の強度など安全上の理由によって危険であると判断された車輛は、理由のいかんを問わずレースに使用することはできない。

## [10] 公道での走行禁止

### 1. 公道の走行禁止

主催者に登録された、またはそれに近い構造の車によって一般公道を走行することは一切禁止する。





## 82国内競技規則

### 2. 走行禁止の例外

主催者に登録された車輛であっても、車輛保安基準に適合した安全な車はその限りではない。

### 3. レース用車輛

車輛保安基準に適合した安全な車でも、レース・ナンバープレートを着装して一般公道を走行することは一切禁止する。

## [11] 器具および装備品

### 1. レースナンバープレート

- 1) ナンバープレートの大きさ  
ナンバープレートの大きさは、付則に示される。
- 2) 取り付け方法
  - (1) 付則に示される枚数のナンバープレートはライダー等によりかくれることなく、明瞭に見えるように取り付けなければならない。
  - (2) 取り付けは安全な方法により確実にとりつけられハリガネなど安易な方法によってはならない。

### 2. ヘルメット

- 1) ライダーは予選、レース中を問わず、走行中は必ずヘルメットを着用しなければならない。
- 2) ヘルメットは付則に定められた性能を有するもので主催者の検査に合格したものでなければならない。

注：MFJの公認したヘルメットには認証マークが貼付されている。



種々の検査を受けて公認されるヘルメット

### 3. ライダーの服装

- 1) ライダーの服装は競技中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。
- 2) 指示されたゼッケンは着用しなければならない。ただし、ナンバー固定器でライダースーツの上着にゼッケンを縫い込んだものは認可する。
- 3) その他、付則による。

## [12] 燃料およびオイル

### 1. 燃料

レースに使用する燃料は、一般市販ガソリンでなければ

ならない。また主催者が指定しレース場内にて供給する場合、ガソリンの銘柄およびその他の詳細は特別規則に示される。

### 2. オイル

オイルの銘柄は指定しない。

### 3. その他の規定

- 1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃料効率を高めるような添加剤あるいは起爆剤を加えてはならない。
- 2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。ただし主催者より作業場所の指定がある場合はその指示に従う。

## [13] 車輛検査

### 1. 車輛検査

- 1) 車輛は、競技規則にもとづいた車輛検査を受けなければならない。車輛検査の時刻、および場所は特別規則に示される。
- 2) 車輛は、レース直前に車輛検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない。

チェックの時刻および場所は大会公示に示される。

### 2. 使用部品の登録（車輛改造申告書）

ライダーは車輛検査の時に大会事務局より支給された車輛改造申告書を提出し、使用する車輛、部品等の銘柄、型式の登録をしなければならない。

## [14] ライダーおよび車輛の変更

### 1. ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。  
ただし、耐久レースの場合はこの限りではない。

### 2. 車輛の変更

- 出場登録した車輛を変更してはならない。
- 1) ただし、破損またはその他の理由によって使用する車輛を変更する必要がある場合は、きめられた書式にしたがって車輛の変更申請をおこない、競技総監督がこれを認めた場合に限り車輛の変更が認められる。
  - 2) 紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
  - 3) その他、特別規則に示される。
3. ライダーと車輛の双方を変更することはできない。

## [15] 走行中の遵守事項

- 1) 走行中、必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離したり、外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。



- 2) 走行中、故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
- 3) 走行中、車輛はそれ自身が持つ動力、およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
- 4) 走行中、他の人の援助を一切受けてはならない。他の人による援助とは、そのレースに参加しているライダー、きめられた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の役員以外の人が車輛に触れることをいう。
- 5) 走行中、車輛にいかなる他人も同乗させてはならない。
- 6) ライダーはレース中、酒気をおびたり、または医薬品等（興奮剤、麻薬等）により故意に精神状態をつくろってはならない。

## [16] レース

### 1. 予選

出場者数が多い場合等は、予選またはタイムトライアルによって決勝レース出場者を決定することがある。その詳細については付則および特別規則に示される。

### 2. スタート

付則、および特別規則に示される。

### 3. 合図旗および合図

1) レース中、大会役員が次の合図用旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。

- (1) シグナル緑または国旗…スタート
- (2) 赤旗……全ライダーの走行停止
- (3) 黄旗

① 静止……危険予告

② 振る……コース上に重大な危険あり、徐行、安全確認、追越し禁止

注：重大な危険とは、コース上に事故車輛またはライダーの存在および役員等による事故等の処理作業中のため、コースの全面または部分的閉鎖を意味する。

- (4) 緑旗……先に示された合図の解除
- (5) 3本の黄色縦縞のある赤旗…コース上オイルあり
- (6) 青旗……追越し車あり、進路ゆずれ
- (7) 白旗または赤十字旗…コース上に救急車またはサービス車あり、またはコース上にて救急作業がおこなわれている。
- (8) ライダーのナンバーを付した黒旗…当該ライダー走行停止
- (9) 白と黒のイチマツ模様（チェッカー・フラッグ）

……レース終了（ゴールイン）

この合図用旗の使用は、役員にのみ許され、他のいかなる合図旗またはそれとまぎらわしいもの使用はいっさい認められない。

### 4. 停止

- 1) レース中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車輛をコースの脇によせ、他のライダーの邪魔にならないように十分注意しなければならない。
- 2) レース中、車輛をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、大会役員の指示、監督のある場合はこの限りではない。
- 3) 事故、または車輛故障などの理由によってリタイア（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い大会役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイア届けを提出しなければならない。
- 4) ライダーは、リタイア届けを提出した大会役員に車輛をあずけて退場しなければならない。
- 5) ライダーは停止車輛をそのレースが終了するまで大会役員の管理下におかななければならない。

ただし、そのレースに支障のない地点まで車輛を移動させることをコース審判（大会役員）から指示された場合にはこれに従わなければならない。

### 5. レースの終了

レースの終了は、チェッカー・フラッグによりトップ走者がゴールしたのち付則および特別規則に示す時間を経過した時点である。

## [17] 優勝者、入賞者および完走者

付則に示す。





## [18] 入賞車の検査

レース終了後、各クラスの1位から6位までの車輛は暫定結果発表後30分以上保管され必要に応じて検査される。

## [19] レース結果および記録の公表

- 1) 大会審査委員会はレース終了直後、暫定結果の公表をおこなう。
- 2) レース正式結果は、レース終了後3時間以内に、大会審査委員会から公表される。
- 3) 参加者、ライダーは公表されたレース正式結果に対して抗議することはできない。

## [20] レースの延期、中止および打ち切り

- 1) レースは特別な理由のない限り、うち切ったり、中止したりされない。
- 2) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースのいずれかを延期、または放棄しなければならないと判断したときに限り、レースを延期または中止することができる。
- 3) すべての関係者は大会審査委員会の決定にしたがわなければならない。
- 4) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースにきめられた周回数、または時間の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
- 5) トップ走者がきめられた周回数または時間の3分の2以上を完走した場合でレースを打ち切った時は、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- 9) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## [21] 抗議

- 1) 参加者、ライダーおよびメカニックのみが抗議申し立てができる。
- 2) 抗議しようとするときは、定められた手続によって大会事務局に申し入れをしなければならない。  
抗議手続きは、大会事務局に備え付けの抗議申し立て書に記載し、1項目につき、抗議保証金5,000円をそえて大会事務局に提出しなければならない。
- 3) 暫定結果に対する抗議は発表後30分以内に限り受付られる。
- 4) 正式の手続きをふんで提出された抗議申し立て書だけが受付られ、大会審査委員会において審議される。

- 5) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定をくだすものとする。
- 6) 大会審査委員会が下した裁定に対しては一切抗議することはできない。
- 7) 抗議が成立した場合のみ抗議保証金が返還される。

## [22] 損害の補償

### 1. 車輛の破損

- 1) 車輛が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間をのぞき、車輛およびその附属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。
- 2) 車検長または大会審査委員会は、車輛を保管している期間中に、これらの車輛がなんらかの理由によって破損した場合には、一台当たり10万円を最高限度額としてその所有者に補償する。

### 2. 損傷の責任

競技会開催期間中、またはその前後に起された損傷は自らが責任を負うものとする。

### 3. 大会役員の責任

ライダーおよびメカニック等の参加者は大会役員が一切の損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち大会役員はその職務に最善を尽すが、仮りに大会役員の行為によって起きた参加者、ライダー、メカニックおよび車輛等の損傷に対しても、大会役員は一切の責任のないことをいう。

## [23] 競技規則の違反行為に対する罰則

大会中（競技会）における違反行為に対しては、その重によって大会審査委員会ならびに競技総監督の権限で下記の罰則を課すことができる。

- 1) 注意処分（口頭による注意または注意処分通告書）
- 2) 嚴重戒告（戒告通知を受けたものは始末書提出）
- 3) 罰金（1万円以上5万円以下）
- 4) 競技結果に対する1分以内の加算
- 5) 競技結果に対する1分以上の加算または1周以上の減算
- 6) 失格

違反の判定は、競技総監督の判断を優先するが、罰則の裁量や適用は、大会審査委員会の決定を優先するものとする。

罰則は、大会審査委員会の報告にもとづき、MFJ資格審査委員会によってさらに事後の出場停止、資格停止にまでおよびかどうか、審査、裁定され、30日以内に通告される。



# 付則 I ロードレース規則

- (1) 適用の範囲……………25
- (2) ロードレースおよび耐久レース……………25
- (3) レース出場車輛とライダーの資格……………25
- (4) フォーミュラー・ロードレース車輛……………30
- (5) プロダクション・ロードレース車輛……………30
- (6) ライダーの装備……………32
- (7) 公式予選……………32    [8] レース……………32
- (9) 優勝者、入賞者、完走者および得点……………33



## [1] 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべてのロードレース競技会に適用される。

## [2] ロードレースおよび耐久レース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットでおこなわれるレースであり、総則およびこの付則により管理される。

ただし耐久レースについては、本規則に定められたものの変更、または追加が特別規則によって示される。

## [3] レース出場車輛とライダーの資格

出場車輛（以下車輛という）は、下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することができない。

### 1. 車輛の排気量区分

車輛のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

#### 1) ロードレース

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc

80cc	51cc	～	80cc
125cc	81cc	～	125cc
250cc	126cc	～	250cc
350cc	251cc	～	350cc
500cc	351cc	～	500cc

（58年度より、500ccクラスはFIM規則に準じて、251cc～500ccと改められる。350ccクラスのクラス区分はなくなる）

### 2) フォーミュラー・レース

フォーミュ ラークラス	最小排気量 (2サイ クル)	最大排気量 4サイ(2サイ) 4クル	ライセンス 許可区分 4サイ
フォーミュラー-1	(351cc)	601cc～(500cc)	1000cc=国際A, B
フォーミュラー-2	(251cc)	401cc～(350cc)	600cc=国際A, B
フォーミュラー-3	(126cc)	251cc～(250cc)	400cc=ノービス
フォーミュラー-4	(51cc)	51cc～(125cc)	250cc=ノービス

### 3) プロダクション・ロードレース

クラス	最小排気量	最大排気量
125cc	81cc	～ 125cc
250cc	126cc	～ 250cc

### 2. 改造の限度



## 付則1

### 1) 国際A級, B級部門の車輛の改造限度

車輛は一般生産型モーターサイクルで、MFJ公認車輛またはFIMフォーミュラー・レース用公認車輛でなければならない。

上記以外の車輛はフォーミュラー・リブレとして取り扱われ、国際格式の競技会および主催者によって特別に許可された競技会にだけ出場することが認められる。

主催者によって特別に許可された場合でも、FIMドライバーズ・インターナショナル・ライセンス所持者および国際A級部門のライダーだけがフォーミュラー・リブレ車輛を使用することを認められる。

改造をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 下記の諸点について車輛は公認仕様と異なっていない。

ただし、公認車輛の部品および公認部品の組合わせはこの限りではない。

#### ① エンジン型式

気筒数, ピストンストローク

② シリンダーのボアアップは公認された車輛の排気量区分をオーバーしてはならない。

③ 4ストロークの場合のシリンダーパレルの鋳造および材質

④ 2ストロークの場合のシリンダーパレルの鋳造および材質とポート数

⑤ シリンダーヘッドの鋳造および材質

⑥ クランクケースの鋳造および材質

⑦ ギアボックスの鋳造および材質

⑧ プライマリードライブ方式

⑨ トランスミッションの変速段数

⑩ 吸気および排気方式

⑪ 気化器方式

(2) 燃料タンク容量は最少限6ℓ, 最大限32ℓとする。

(3) 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。

半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輛重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

125cc (単気筒) …… 70kg

125cc (2気筒) …… 75kg

250cc …… 90kg

350cc …… 95kg

500cc …… 100kg

750cc …… 110kg

なお、上記重量をみたすために、ダミーウエイトを装着してはならない。

(4) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

① 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

② 騒音はFIM方式による測定方法で、4ストローク車の場合=110+5db(A), 2ストローク車の場合=110db(A)以下でなければならない。

③ FIM方式とは排気管後方0.5m, 45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s, 2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転しているときの騒音を測定する方法をいう。

(5) 下記の部品および構造にチタニウムを使用してはならない。

フレーム, フロントフォーク, フロントフォーク・ブラケット, スイングアーム, スイングアーム・スピンドル, ハンドルバー, ホイルスピンドル, ステアリング, シャフト

### 2) ノービス部門の車輛の改造限度

車輛は一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

その銘柄, 型式の詳細は公示される。

機械加工または仕上げによる修正, 調整, 軽量化もしくは形状の変更をおこなう場合は、下記各項に限定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 機械的伸長, 他の物質の添加または分子構造や金属面に変更をもたらすような処理(焼き入れ等)および材質の変更をしてはならない。

(2) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならない。

ただし、250cc以下の車輛はこの限りではない。

なお、補強等はおこなってもよい。

(3) 異なった機種エンジンのフレームの組合せをしてはならない。

ただし、250cc以下の車輛はこの限りではない。

(4) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは公認型式のものでなければならない。

① クランクウェブのバランス穴の充填は認められる

② ユニット・コンストラクション(単体構造エンジン)の場合のクランクケース本体とは変速機部分も含まれる。

(5) 変速機の段階は6段を限度とする。

ただし、変速ギヤはクランクケースおよびミッションケース外に増設してはならない。

(6) 冷却方式の変更は公認されたものでなければならない。

(7) 弁形式を変更してはならない。



- (8) 燃料吸入方式を変更（フェューエルインジェクターの取り付け等）してはならない。
- (9) 気化器の個数は気筒あたり1個を限度とする。  
（ダブルベンチュリーの場合は2個とみなす）
- (10) 半乾燥重量は下記最低重量をみたしていなければならない。

① 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輻重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

② 車輻最低重量は次の通りである。

80cc (1気筒) ……………	65kg
125cc (1気筒) ……………	70kg
125cc (2気筒以上) ……	75kg
250cc (1気筒) ……………	90kg
250cc (2気筒以上) ……	105kg
350cc (1気筒) ……………	95kg
350cc (2気筒以上) ……	110kg

③ 最低重量より軽い場合には、ダミーウエイトを取付けなければならない。ただし、ダミーウエイトは5kgを越えてはならない。

④ ダミーウエイトは、ボルトまたは溶接によりフレームに完全に固着したもので、転倒などの際に危険でないものとし、車輻検査において封印を受けなければならない。

(11) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

① 有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

② 騒音はFIM方式による測定方法で、4ストローク車の場合=110+5db(A)、2ストローク車の場合=110db(A)以下でなければならない。

③ FIM方式とは排気管後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均のスピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転しているときの騒音を測定する方法をいう。

(12) 構成部品

① 下記部品はMFJが公認したものでなければならない。(MFJ公認部品)

ミッション、シリンダー、シリンダーヘッド

② 下記部品はMFJに市販届出申請を行ない承認されたものでなければならない。(MFJ承認部品)

フロント・クッション、リア・クッション

③ チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

### 3. 仕様

車輻は、安全のために下記各項のすべてをみたしていなければならない。

なければならない。

1) 過給

過給機を取りついたり、また過給したりしてはならない。

2) ブレーキ

車輻は前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。

3) リムとタイヤ

車輻は下記に示す呼称寸法以上のリムおよびタイヤを装着しなければならない。

#### ■前輪

クラス	リム	タイヤ
	最小寸法	最小寸法
	インチ	インチ
50cc		2.00
80cc		
125cc	1.60	2.50
250cc	1.85	2.50
350cc	1.85	2.75
500cc	2.15	3.00
1000cc	2.15	3.25

#### ■後輪

クラス	リム	タイヤ
	最小寸法	最小寸法
	インチ	インチ
50cc		2.00
80cc		
125cc	1.60	2.50
250cc	1.85	2.75
350cc	2.15	3.00
500cc	2.50	3.25
1000cc	2.50	3.50

注：タイヤのビードは、ワイヤ入りビードでなければならない。





# 付則1

## 4) ハンドル・バー

(1) ハンドルの端から端までの幅は500mm以上でなければならない。

ただし、80ccクラス以下に限り450mm以上であればよい。

(2) 中心線または中央位置の両側に対するハンドルの回転角度は20度以上でなければならない。

## 5) ハンドル・バーのクリアランス

(1) ハンドル・バーのいかなる位置においても、またいかなるその付属品も含めて、ハンドル・バーの先端部と流線形覆い（カウリング）とのクリアランスは50mm以上でなければならない。

(2) ハンドルの回転角度を左右いっばいに切ったときライダーの指をはさまないように、ハンドル・バーと燃料タンクとの間に最低30mmの間隔を確保するために、止め具か他の装置を必ず取りつけなければならない。〔第1図〕

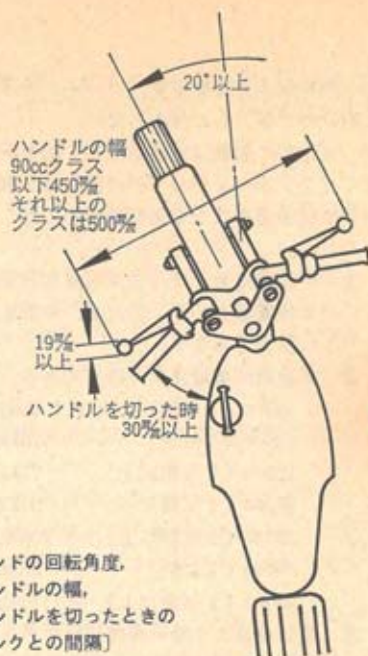
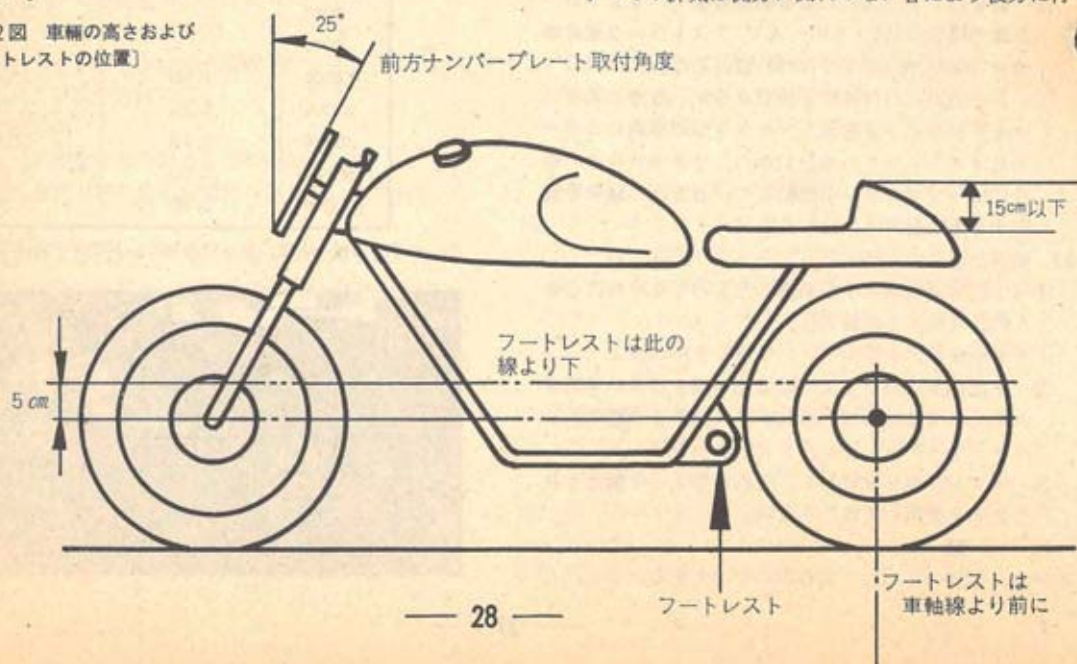
## 6) クラッチおよびブレーキ・レバー

ハンドルに取りつけられるクラッチ・レバーおよびブレーキ・レバーは、その末端が球状に作られ、その球（レバーエンドボール）は直径19mm以上で容易に取れたり外れたりするものであってはならない。

## 7) フートレストおよびペダル

(1) フートレストは、前後車輪の中心を通過する線の50mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるように取付けられ、どのコントロール・ペダルも容易に操作出来る位置になければならない。

〔第2図 車輻の高さおよびフートレストの位置〕



〔第1図 ハンドルの回転角度、ハンドルの幅、ハンドルを切ったときのタンクとの間隔〕

(2) フートレストおよびペダル類の先端の角は安全上丸められ、とがっていない。

## 8) 車輻の高さ

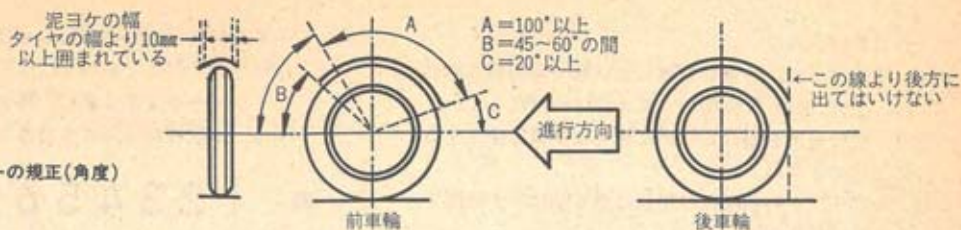
シートの後方の部分が150mm以上の高さであってはならない。

〔第2図参照〕

## 9) 排気管

すべての排気は側方に開口のない管により後方に行





〔第3図 フェンダーの規正(角度)〕

なわれねばならない。その排気管は車輛の進行方向になるべく平行でなければならない。また後輪最後端垂線より突出してはならない。排気管はほこりを立てるように排出されたり、いかなる状態でも後続車のライダーに迷惑を与えるように排出されてはならない。

余剰オイルの排出装置は、排気ガス流の内に出たり後続ライダーに迷惑を与えたりしないように作られていなければならない。

10) 車輛の傾斜角

無負荷の場合、車輛はタイヤを除き、どの部分も接地することなく垂線に対して50°傾斜させることが可能でなければならない。〔第4図〕

11) フェンダー

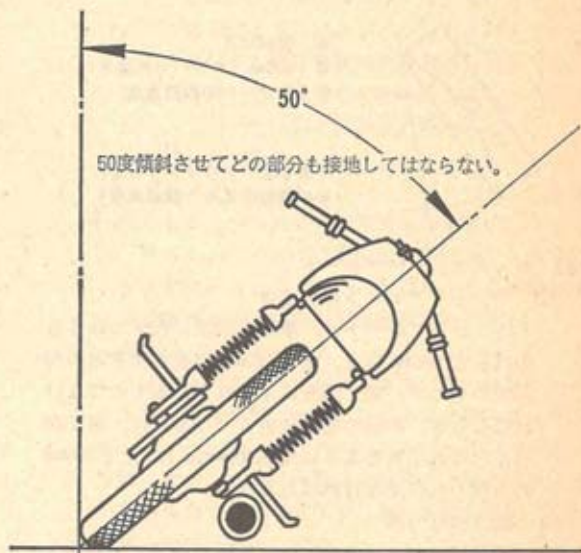
フェンダーは、前後とも取りのぞいてもかまわない。取りつける場合は第3図に示すとおり確実に装備しなければならない。

12) 取りはずさなければならないもの

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台、チェーンケース、およびキックアームは取りはずさなければならない。

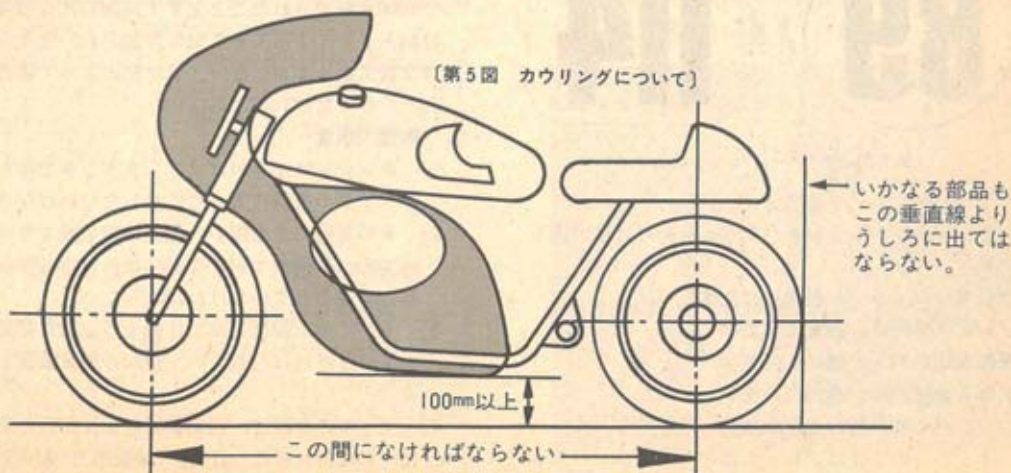
13) カウリング

カウリングを使用する場合は以下の条件をそなえたものでなければならない。



〔第4図 車輛の傾斜角度〕

- (1) タイヤを除く前輪は両側に明瞭に見えなければならない。
- (2) 前後輪の車輪を通る垂線の間になければならない
- (3) カウリングの下端と地面との間隔は100mm以上で



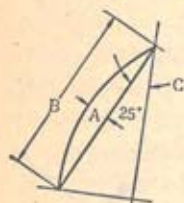
〔第5図 カウリングについて〕



# 付則1

なければならない。

- (4) ライダーは、普通に乗車した状態で両前膊部以外は、上方、後方、両側面から見えなければならない。
- (5) 上記の適用を避けるために透明な物質を使用することはできない。
- (6) カウリングの前端部の形状は第6図に示す範囲でなければならない。



A : 25mm以下  
B : 230mm (ナンバーの高さ)  
C : ナンバーの取付角度

〔第6図 カウリングおよびその前面の丸みと傾斜角度〕

## 14) レースナンバープレート

### (1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートは、車輛の前面に取りつけるものは左右285mm以上、上下235mm以上の大きさの楕円形のもので、第7図左に示されているものでなければならない。車輛の左右に取りつけるのは、第7図右に示されてあるように左右300mm以上、上下250mmの方形のものでなければならない。

### (2) 取り付け方法

ナンバープレートは1枚は車輛の前面に、前向きに、垂直から25度の角度をつけて取り付け（大きさは第7図の限りではない）、車輛の両側面にも各1枚垂直方向に取りつけなければならない。



〔第7図 ナンバープレートの大きさ〕

### (3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次の通りである。

プロダクション——白地に黒文字

ノービス部門——白地に黒文字

国際B級部門——緑地に白文字

国際A級部門——赤地に白文字

### (4) ナンバーの字体および寸法

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレ

ートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。

ナンバーの文字寸法は、高さ200mm、幅は25mmとする。誤読されないよう書体には注意。

例 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

わるい書  
体の例



陰つきの花文字など  
も不可



### 15) 後輪の可視範囲

後輪のリムは後輪の垂直線の後部円周180度にわたって明瞭に見えなければならない。

### 16) 部品の後端端

いかなる部品も後輪最後端垂線よりうしろに突出してはならない。

### 17) エンジンのドレーンボルト類はかならずワイヤーロックを施さなければならない。

### 18) 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

## 〔4〕 フォーミュラー・ロードレース車輛

フォーミュラーモーターサイクルは、現在生産されているモーターサイクルで、大量に生産され、高性能マシンを求めている一般ユーザーが入手し得るものであり、下記の条件をみたしていなければならない。

1. フォーミュラー・ロードレース出場車輛（以下、車輛という）は、通常の販売ルートを通じて一般ユーザーに市販され、毎年3月1日以前に、その型式の車輛について1000台販売されたことをFIM加盟代表機関（日本ではMFJ）によってFIMに申請され、生産台数の証明は文書によっておこない、FIMによって審査、認可されたものでなければならない。

### 2. 改造の限度

1) エンジンは市中のガソリンスタンドで得られる通常のタイプの燃料によって作動しなければならない。

2) その車輛の生産国が、協定の署名国でない場合であっても、車輛はすべての点において1949年ジュネーブ協定に適合していなければならない。

3) すべての車輛は正常に作動する完全な電気装置を備えていなければならない。追加の電気装置も認められる。

4) すべての車輛は、始動装置と正常作動の発電機を備えていなければならない。（最低出力100W）



- 5) すべての車輛は、総則および付則1に示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。
- 6) 下記のものについて、認可型式に変更を加えることは禁止される。
- (1) エンジンの型式
  - (2) シリンダーの数
  - (3) ピストンストローク
  - (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケースおよびギアボックスの材質およびカースティング
  - (5) 吸排気装置
    - ① 4サイクルエンジンのバルブ数
    - ② 2サイクルエンジンのポート数
    - ③ キャブレターの数、但し国内競技においてはF3、F4に関しては車輛公認申請時のキャブレターを使用しなければならない。
    - ④ キャブレターがエンジンに結合する個所のチョーク面積で測られるキャブレターのサイズ
  - (6) 安全と騒音コントロールのために、排気管とマフラーの改造が認められる。
  - (7) 6速に限定されるギアの数はその範囲内で、ギアボックス・シェルに変更を加えない限り変えることができる。
  - (8) 燃料タンク最大容量は下記に制限される。
    - フォーミュラー1=24リッター
    - フォーミュラー2=20リッター
    - フォーミュラー3=18リッター
    - フォーミュラー4=15リッター
- 7) 下記の制限内で改造をおこなうことができる。
- (1) シリンダーのカースティングを変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大が当該車輛本来の出場を認められるクラスの排気量の限度を超えないことを条件とする。
  - (2) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバープレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことが認められる。

## 〔5〕 プロダクション・ロードレース車輛

プロダクション・ロードレースの車輛(以下車輛という)は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。なお、車輛のクラス区分は〔3〕1.に示す通りとし、開催種目および運用は特別規則に示される。

### 1. 改造の限度

- 1) 変更してもよい部品
  - (1) キャブレターのジェット類。ただしキャブレター本体の改造、変更は出来ない。
  - (2) ハンドル。ハンドル幅は500mm以上とし、グリップおよび取り付け位置はトップブリッジより上とする。分割型であったり、危険な構造であってはならない。なおハンドルをいっばいに切ったとき、ライダーの指をはさまないようにハンドルおよびレバーと燃料タンクの間で最低30mmの間隔を確保するために、止め具か他の装置を必ず取り付けなければならない。(28ページ第1図参照)
  - (3) スパークプラグ
  - (4) ドライブおよびドリブン・スプロケットの歯数。ただしチェーンサイズの変更は出来ない。
  - (5) タイヤ。タイヤは市販の公道走行用のタイヤに限り変更することが出来る。ただし、その車輛の諸元に示されるサイズの変更は出来ない。
- 2) 取り外してもよい部品
 

ライト類およびヘッドライトケース、ヘッドライトステー、キャリア、チェーンケース上下、ピリオンステップバー、キックペダル、ナンバープレートおよび支持ステー、メーター類。なおライト類を取り外さない場合はテープを貼るなど、レンズ類の飛散防止処置を施さなければならない。
- 3) 外さなければならない部分
 

バックミラー、スタンド類。
- 4) 取り付けなければならない部品
 

レースナンバープレート(ナンバープレートに関する規定は〔3〕3.14.に示す通りとする。エンジンのドレーンボルトのワイヤーロック。
- 5) 上記(1)~(4)の各項に示された部品以外は、いっさい変更、改造をおこなってはならない。





## [6] ライダーの装備

### 1. ヘルメット

- 1) ヘルメットは、日本工業規格 J I S T 8133 の 2 種、USA, S. I. STANDARD-Z 90-1-1970、米国スネル規格 1975-1980 によって示された検査に合格したか、またはそれ以上の性能を有するフルフェイス型のもので、MFJ が公認したものでなければならない。
- 2) MFJ の公認したヘルメットには、認証マークが貼付されている。
- 3) 競技会の車輛検査受付時に、ヘルメットの検査がおこなわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJ の公認したヘルメットでも、ライダー本人の安全上使用を禁止する。
- 4) MFJ の公認認証マークの貼付されていないヘルメットについては、ペナルティ料金 (1,000円) を支払い、特別検査を受けなければならない。



この認証マークがないとレースには出場できない

### 2. ゴoggles

ゴogglesにはガラスが使用されてはならず、また枠は柔軟なものでなければならない。

### 3. ライダーの服装

- 1) ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、操縦を妨げるものであってはならない。
- 2) 皮製のレーシングスーツ、皮製の手袋、あみあげ用金具製止め具（外部に突出しているフック等）のないピククリしたレザーブーツ（あるいは着脱容易な膝までおおわれた革製脚絆）を着用しなければならない。
- 3) ライダーは競技会中、合成繊維（ナイロン、テロン等）製の肌着を着用してはならない。皮製のレーシングスーツの裏地は、耐熱および耐火処理をほどこした難燃性の布製のものでなければならない。

## [7] 公式予選 (オフィシャル・プラクティス)

### 1. 公式予選の日程

- 1) 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- 2) 公式予選の日程および時間は特別規則に示される。

### 2. 公式予選の内容

- 1) レースに出場するすべてのライダーは、かならず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければ

ならない。

- 2) 公式予選においては、競技役員による車輛の安全上のチェックがなされた後、一台ごとにスタートし、与えられた時間を任意に走行することができる。与えられた時間内であれば走行を中断し、または再スタートすることができる。
- 3) 公式予選では、走行中のライダーは常にラップタイムが測定されており、ベスト・ラップタイムがはなはだしくおとるものは、たとえ定員以内であっても出場資格を与えられない場合がある。
- 4) 公式予選において測定された各ライダーの最高ラップタイムにより、特別規則に示されるレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。最高ラップタイムが同じ場合は次のラップタイムによる。
- 5) 各クラスの公式予選義務周回数は3周以上とする。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- 6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。

## [8] レース

### 1. スタート位置

- 1) 各クラスともレースのスタート位置は、各ライダーに与えられている車番とは関係なく最高ラップタイムによって決定される。
- 2) レースにおけるスタート位置の発表は、公式予選の終了後、審査委員会がおこなう。

### 2. チーム

チーム参加の場合のチーム編成、チーム競技の成立等は特別規則に示す。

### 3. スタートまでの行動

- 1) スタートまでの行動は原則として次の時間割による
 

スタート	約60分前	給油およびレース前車輛チェック開始、終了後ただちに待機区域に入る。待機区域コースへ誘導。
スタート	15分前	ウォーミングアップ開始
"	5分前	スタート位置整理
"	3分前	エンジン停止
"	2分前	表示 メカニック離れる
"	1分前	表示
"	30秒前	表示
"	10秒前	表示
スタート		青色シグナルまたは国旗にて表示

- 2) 決められた時間以外にエンジンを始動させてはならない。

### 4. スタート



- 1) スタートは、原則として、押しがけによる同時スタートとする。
- 2) スタート位置は、すべて正規のスタートラインからなされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- 3) スタートの合図は原則としてシグナル・ランプによっておこなわれる。ただし特別の理由により旗によっておこなわれることがある。

## 5. ビット

ビットとは車輛の修理・調整、物品交換、燃料補給などの作業をおこなう目的のためにライダーに与えられた区域のことである。

## 6. ビットイン

- 1) ビットインする時は、ビット前のコース上に区画された減速地帯、即ちイエローラインとホワイトラインの間を減速走行し、他の車が走行できる通行余地を残して車輛をビットに近づけて停車し、エンジンを必ず停止しなければならない。
- 2) 審判員の指示または危険回避以外の目的でイエローラインをカットして走ってはならない。
- 3) 自分のビットを通り越した時はエンジンを停止した後、ビット審判員の承認を得た上で戻ることができる。

## 7. ビットアウト

ビットアウトする際は、必ず審判員の合図を確認し、車輛を自力で押しがけしてスタートさせ、減速地帯を走行し、コースの内側を走行しながら次のコーナーを通過しなければならない。

## ビット作業

- 1) レース中における車輛の修理、調整、物品交換は、ビットに準備してある部品と工具によって行ない、必ずエンジンは停止しておこなわなければならない。
- 2) ビットに準備してある部品、工具による作業は、正規にビットインした車輛に対してのみおこなうことができる。
- 3) エンジンアッセンブリーおよびフレームアッセンブリーを交換してはならない。また当該アッセンブリーをビットに持込んではならない。
- 4) ビット区画内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、ただちにきれいに掃除しておかなければならない。

## 9. ビット作業人員

- 1) ライダーはその車輛のメカニックを2名まで持つことができる。
- 2) レース中にビットインし、エンジンを停止した車輛に対しての作業は、2名のメカニックと、その車輛の

ライダー、計3名だけに限られる。

- 3) ライダーに対するビット要員（メカニック、ヘルパー等）のレース中の合図は、大会役員の使用する合図用旗にまぎらわしいものであってはならず、また「ビット区画」のみで合図を送ることができる。
- 4) ビット作業をおこなう者はすべて登録し、参加の申請がなされた者で、ビット保険に加入した者でなければならない。年齢は、16歳以上であること。
- 5) メカニックは開催期間中を通じてどの大会役員の指示にもしたがわなければならない。
- 6) メカニックが守らなければならないことに違反した時は、そのメカニックの担当のライダーが責任を問われ、ペナルティが課せられる。

## 10. レースの終了

各レースの終了はチェッカーフラッグによりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時（注1）であり、チェッカーフラッグ・マーシャルが指定位置より退場したことにより示される。

注1：原則的にコースの1周を1kmにつき1分として定められる。

## [9] 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

### 1. 優勝者

各レースにおける優勝者は、レースの総距離を最短時間で完走したライダー、または定められた時間内に最も長い距離を走破したライダーである。

### 2. 入賞者および順位優先順序

- 1) 入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 2) レース終了時までゴールラインに達しない走行中の完走者。
- 3) 完走周回数をまっとうしたのち、リタイアした者。
- 4) 上記以外のライダーについては周回数の多い者を優先する。

### 3. 完走者

- 1) 各クラスのレースとも、優勝者の80%以上の周回数を完了したライダーが完走者である。
- 2) レース途中でリタイア届を提出したライダーでも、完走周回数を完了しているライダーは完走者とみなされる。

### 4. 得点

- 1) 完走者には総則[8]の2. および3. によって得点が与えられる。
- 2) 特別に競技会に出場することが認められたフォーミュラー・リブレ車輛によってライダーが上位に入賞しても、そのライダーに対しては得点は与えられない。得点はフォーミュラー・リブレを除いた順位によって与えられる。



# ロードレース

## '82全日本選手権大会特別規則

全日本選手権ロードレース大会は、日本モータサイクル協会（MFJ）公認のもとに、MFJ国内競技規則にしたがい開催される。本特別規則は、1982年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。



### 特別規則の内容

[1] 開催競技会の日程、名称、主催、 開催場所、出場申込み期間.....35	[19] ライダーの変更.....41
[2] 運営実行組織.....36	[20] 出場車輛の変更.....41
[3] 公式通知、タイムスケジュール.....36	[21] 公式予選.....41
[4] 開催種目.....36	[22] 決勝レース出場台数.....41
[5] 競技内容.....37	[23] スタート.....41
[6] 参加定員.....37	[24] スタートにおける反則.....41
[7] 参加資格.....38	[25] レース.....42
[8] 出場申込み.....38	[26] レース中の合図.....42
[9] 出場料、保険料および選手共済費.....38	[27] 停車指示.....42
[10] 参加受理.....38	[28] 棄権（リタイヤ）と停止.....42
[11] 賞および得点.....38	[29] レース終了.....42
[12] レース出場車輛.....40	[30] 優勝者、入賞者、完走者および順位.....42
[13] 競技者番号（ナンバー）.....40	[31] レース終了後の車輛の保管と再検査.....42
[14] ライダーの装備.....40	[32] レースおよび大会の延期・中止等.....42
[15] ガソリンおよびオイル.....40	[33] 抗議.....42
[16] ピット割当て.....40	[34] 違反に対する罰則.....42
[17] 出場受付.....40	[35] 本規則の解釈.....42
[18] 車輛および装備の検査.....40	[36] 本規則の施行.....42



## '82全日本選手権大会特別規則

### [1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

日 程	大 会 名 称	主 催 (出場申込み先)	開 催 場 所	出場申込み期間
2月28日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 鈴鹿ロードレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 ホンダワールド案内 ☎ 0593(78)1455	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	1月19日(火) ? 1月29日(金) 消印有効
3月13日(土) 14日(日)	同 上 全日本BIG2&4レース (500~F-1)	同 上	同 上	2月2日(火) ? 11日(木) 消印有効
3月27日(土) 28日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 筑波ロードレース大会	財日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	2月15日(月) ? 25日(木) 消印有効
4月24日(土) 25日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 鈴鹿ロードレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 ホンダワールド案内 ☎ 0593(78)1455	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	3月15日(月) ? 25日(木) 消印有効
5月15日(土) 16日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 SUGOロードレース大会	SUGOスポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎984-14 スポーツランドSUGO内 ☎ 022483-3111	スポーツランド SUGO ☎022483-3111	4月5日(月) ? 15日(木) 消印有効
6月12日(土) 13日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 鈴鹿200キロレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 ホンダワールド案内 ☎ 0593(78)1455	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	5月3日(月) ? 13日(木) 消印有効
6月26日(土) 27日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 筑波ロードレース大会	財日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	5月17日(月) ? 27日(木) 消印有効
8月7日(土) 8日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 筑波ロードレース大会	同 上	同 上	6月28日(月) ? 7月8日(木) 消印有効
8月28日(土) 29日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 SUGOロードレース大会	SUGOスポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎989-14 スポーツランドSUGO内 ☎ 022483-3111	スポーツランド SUGO ☎022483-3111	7月19日(月) ? 29日(木) 消印有効
9月11日(土) 12日(日)	全日本選手権シリーズ第9戦 第19回日本グランプリ ロードレース大会	日本モーターサイクル協会 (MFJ) 東京都中央区銀座1-9-12 ☎104 西山興業東銀座ビル ☎ 03(561)8566	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	7月23日(金) ? 8月2日(月) 消印有効



# Road Race

## [2] 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

## [3] 公式通知, タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切後に発送される。

## [4] 開催種目

1. 全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は下記の通りである。

部 門 クラス	ノービス (N)	国際B級	国際A級
125cc	○	○	○
250cc	○	○	○
350cc	—	○	○
500cc	—	○	○

1) 但し国際B級に昇格し、500ccに出場を希望する場合、全日本選手権シリーズ大会350ccクラスに2回以上出場し、または講習会に参加したのち、その成績をそえて、MFJ資格審査委員会の認可を受けなければならない。

2) 58年度より350ccクラスのクラス区分はなくなり、350ccクラスの車輻は500ccクラスに出場することができる。なお、鈴鹿でおこなわれる大会についてのみ57年度より実施される。各ライセンス部門別の参加申込み台数が開催場所の最大決勝出場台数(41頁参照)に満たない場合は、異ったライセンス部分との合同レースとなる場合がある。

注1: 合同レースとなった場合、賞は公式通知に示され、ライセンス部門の区別なく、入賞順にライダーに与えられる。

注2: 全日本選手権得点は、総則[8]3.(21頁参照)にもとづいて、ライセンス部門別に与えられる。

3) 全日本選手権シリーズ・ロードレース大会に次のレースが併催される。

### '82全日本選手権ロードレースおよび主要大会部門・クラス別開催種目

月 日	大 会	'82全日本選手権シリーズ対象種目												格 式	併催種目(ノンタイトル)					
		ノービス				国際B級				国際A級					プロダクション (N.Bライセンス)		ノービス		I B I A	
		125	250	125	250	350	500	125	250	350	500	125	250		125	250	ストリー ト400	F-3	F-1	F-1
2月28日	全日本第1戦 鈴鹿	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	国内	—	—	○	○	—	—		
3月13-14日	全日本第1戦 Big 2 & 4	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	国内	—	—	—	—	○	○		
3月27-28日	全日本第2戦 筑波	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国内	○	○	○	○	—	—		
4月24-25日	全日本第3戦 鈴鹿	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	国内	—	—	○	○	○	○		
5月15-16日	全日本第4戦 SUGO	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国内	—	○	—	—	—	—		
6月12-13日	全日本第5戦 鈴鹿(200km)	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	国内	—	—	○	—	○	○		
6月26-27日	全日本第6戦 筑波	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国内	○	○	○	○	—	—		
8月7-8日	全日本第7戦 筑波	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国内	○	○	○	○	—	—		
8月28-29日	全日本第8戦 SUGO	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国内	—	○	—	—	—	—		
9月11-12日	全日本第9戦 日本GP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国際	—	—	—	○	○	○		
インターナショナルレース																				
7月31日- 8月1日	世界耐久選手権 鈴鹿8時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	国際	—	—	○	○	○	○		
10月9-10日	SUGO ビッグロードレース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	国際	—	—	—	—	—	—		

注: 4Hは国内格式, IAは国際A級, IBは国際B級



# '82全日本選手権大会特別規則

## (1) プロダクション・レース

第2戦, 第4戦, 第6戦, 第7戦, 第8戦

## (2) フォーミュラー・レース

フォーミュラー1 第1戦, 第3戦, 第5戦,  
第9戦

フォーミュラー3 第1戦, 第2戦, 第3戦,  
第6戦, 第7戦, 第9戦

ただし(1), (2)のレースは全日本選手権の対象とならない。

(3) 全日本選手権ロードレース大会および主要ロードレース大会, 耐久レース(世界選手権)の開催種目および併催レース種目は36頁掲載の表の通りである。

## [5] 競技内容

1. レース区分は下記の通りである。ただし, 参加台数, 天候などの都合により変更される場合がある。
2. 全日本選手権シリーズ第9戦日本GPロードレース大会の国際A, B級部門は, 国際格式によって開催され, 車輛規則はFIM規定に準じる。ただし, 全日本選手権得点は公認車輛によって出場した選手にのみ与えられる。

## [6] 参加定員

参加定員は定めない。

### <第1戦：鈴鹿サーキット>

区分	部門	クラス	周回数	完走周回数	
2月28日 (東シオートコース)	①	ノービス	125cc	12周	10周
	②	ノービス	250cc	14周	12周
	③	国際A, B級	125cc	14周	12周
	④	国際A, B級	250cc	17周	14周
併催	ノービス	F-3	14周	12周	
	ノービス	スーパー ストリート 400	14周	12周	
133 7月 14日	⑤	国際A, B級	500cc	15周	12周
	併催	国際A, B級	F-1	15周	12周

### <第2戦, 第6戦, 第7戦：筑波サーキット>

区分	部門	クラス	周回数	完走周回数
①	ノービス	125cc	18周	15周
②	ノービス	250cc	18周	15周
③	国際A, B級	125cc	20周	16周
④	国際A, B級	250cc	25周	20周
⑤	国際A, B級	350cc	25周	20周
⑥	国際A, B級	500cc	30周	24周
併催	ノービス	F-3 スーパー400	12周	10周
併催	プロダクション	250cc 125cc	12周	10周

### <第3戦：鈴鹿サーキット>

区分	部門	クラス	周回数	完走周回数
①	ノービス	125cc	10周	8周
②	ノービス	250cc	13周	11周
③	国際A, B級	125cc	12周	10周
④	国際A, B級	250cc	15周	12周
⑤	国際A, B級	500cc	17周	14周
併催	国際A, B級	F-1	15周	12周
	ノービス	F-3	10周	8周
併催	ノービス	スーパー ストリート 400	10周	8周

### <第5戦=200km レース：鈴鹿サーキット>

区分	部門	クラス	周回数	完走周回数
①	ノービス	125cc	10周	8周
②	ノービス	250cc	13周	11周
③	国際A, B級	125cc	12周	10周
④	国際A, B級	250cc	15周	12周
⑤	国際A, B級	500cc	34周	28周
併催	国際A, B級	F-1	34周	28周
	ノービス	スーパー ストリート 400	10周	8周



# Road Race

## <第9戦=日本GP：鈴鹿サーキット>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノ ー ビ ス	125cc	10周	8周
②	ノ ー ビ ス	250cc	13周	11周
③	国際A, B級	125cc	12周	10周
④	国際A, B級	250cc	15周	12周
⑤	国際A, B級	350cc	15周	12周
⑥	国際A, B級	500cc	17周	14周
併 催	国際A, B級	F-1	15周	12周
	ノ ー ビ ス	F-3	10周	8周

## <第4戦, 第8戦：スポーツランドSUGO>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノ ー ビ ス	125cc	16周	13周
②	ノ ー ビ ス	250cc	20周	16周
③	国際A, B級	125cc	16周	13周
④	国際A, B級	250cc	20周	16周
⑤	国際A, B級	350cc	25周	20周
⑥	国際A, B級	500cc	30周	24周
併催	プロダクション	250cc	16周	13周

## [7] 参加資格

- 参加者およびライダーは、1982年度版MFJ国内競技規則・総則[4](15頁)に合致していなければならない。
- プロダクションレース出場者はBライセンス(ロードレース)を所持していればよい。

## [8] 出場申込み

- 申込み場所 申込み場所は各主催者の住所とする。
- 出場申し込み
  - 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入し、出場料および保険料を添えて大会事務局に提出しなければならない。
  - 2クラス以上に出場を申込み場合は別々に申込み書を作成しなければならない。
  - 郵送の場合は現金書留とし、締切日当日の消印のある者までが有効となる。

- 電話による申込みおよび締切日以後の申込みは一切受け付けない。

## [9] 出場料および保険料

### 1. 出場料およびライダー保険料

- 第1戦～第9戦
  - 出場料 1クラス 6,000円
  - MFJ選手共済費および
  - 保険料 1人1口 3,000円(保険金額350万円)
  - ただし2口以上10口までは1口 1,350円
  - (保険金額1口 50万円)
- プロダクション・レース
  - 出場料 1クラス 6,000円
  - MFJ選手共済費および
  - 保険料 1人1口 1,500円(保険金額300万円)
- ピット要員(メカニック、サインマン、ヘルパー等)
  - 保険料 1人 300円(保険金額300万円)

## [10] 参加受理

- 必要事項を記入した出場申込み書、必要金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が送られる。
- いったん受理された出場料、保険料はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 大会が中止された場合、参加が拒否された場合(申込み者が必要な手続きを怠った場合はこれにあてはまらない)にのみ出場料、保険料が返還される。

## [11] 賞および得点

### 1. 賞

- 賞の詳細については公式通知に示される。
- 国際A級, B級部門の合同レースの場合でも、公式通知に示された賞が入賞順に与えられる。

### 2. 全日本選手権ランキングの得点

- 得点は総則[8]の2, 3.によって与えられる。
- 日本GPロードレース大会については、上記の得点に、さらに3点が加算される。
- 全日本選手権ランキングの順位は上記によって与えられた得点の総合計によって決定される。その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法(86頁参照)に示される。
- 異なったライセンス部門との合同レースの場合でも、全日本選手権ポイントは各ライセンス部門別に与えられる。

### 3. 賞および得点制限

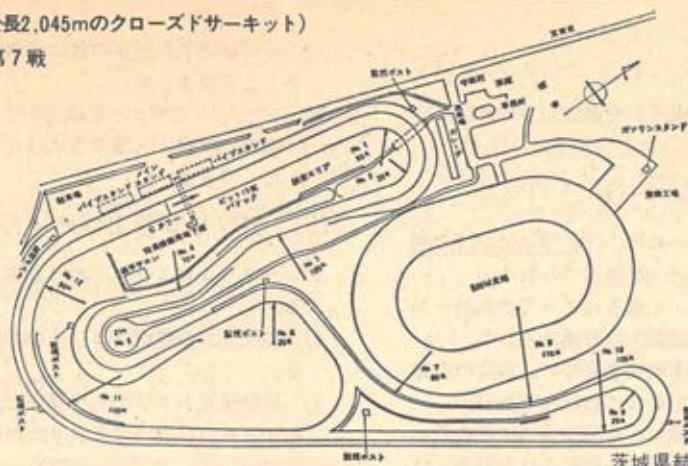
- 賞および得点の制限は、総則[8]3.(21頁参照)による



# '82全日本選手権大会特別規則

筑波サーキット (全長2,045mのクローズドサーキット)

第2戦, 第6戦, 第7戦

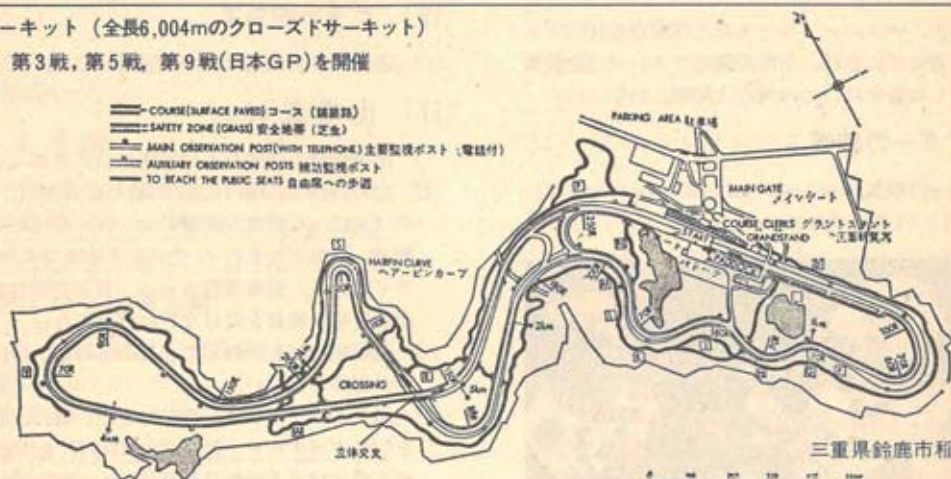


茨城県結城郡千代川村岡字西原

鈴鹿サーキット (全長6,004mのクローズドサーキット)

第1戦, 第3戦, 第5戦, 第9戦(日本GP)を開催

- COURSE (SURFACE PAVED) コース (舗装路)
- SAFETY ZONE (GRASS) 安全地帯 (芝生)
- MAIN OBSERVATION POST (WITH TELEPHONE) 主要監視ポスト (電話付)
- AUXILIARY OBSERVATION POSTS 補助監視ポスト
- TO REACH THE PUBLIC SEATS 自由席への歩道



三重県鈴鹿市稲生町7992

スポーツランド菅生 (全長2,655mのクローズドサーキット)

第4戦, 第8戦を開催



宮城県柴田郡村田町大字菅生字結石6-1



# Road Race

## [12] レース出場車輛

車輛は、付則1〔3〕(25頁参照)を厳守しなければならない。

## [13] 競技者番号(ナンバー)

- 1) 国際A級部門のライダーには、ライディングNo.140に示す通り年間指定ナンバーが割当てられる。
- 2) 他部門のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) レース・ナンバーは、車輛検査までに、規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 4) レース・ナンバーの状態は、車輛検査時に検査員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 5) レース中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せずに走行、また間違ったナンバーを装着して走行した場合は、その周回は記録されない。

## [14] ライダーの装備

- 1) ライダーの服装、ヘルメットおよびゴーグル等は、付則1〔6〕(32頁参照)による。



- 2) レーシングスーツの色は自由であるが3色以上にすることが望ましい。
- 3) レーシングスーツには、ライダー名を一カ所に記入する事。国際A・Bクラスはゼッケンナンバーは記入しなくてもよい。

## [15] ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは総則[12](22頁参照)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細は公式通知に示される。
- 3) 車輛検査および公式予選中は、パドック内の所定の給油区域内においてガソリンの供給を受けなければならない。

## [16] ピット割当て

- 1) 各ピットの使用は、公式通知による。

## [17] 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に必ず本人が出頭し、運転免許証(又は、自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書でも可)、MFJライセンス、健康管理カード、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) 運転免許証を所持していないものは、原則として出場が認められない。
- 4) MFJライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(3,000円)を支払い、更にその場でMFJ登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。
- 5) なお、後日MFJ事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。

## [18] 車輛及び装備の検査

- 1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- 2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) ライダーは改造申告書を提出し、装備一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車輛検査持込み台数はノービスおよび国際B級部門



は出場1レースにつき1台に限定、国際A級部門は2台までとする。

- 5) 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判断された車輛は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 6) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車輛検査をおこなうことがある。

## [19] ライダーの変更

ライダーの変更は、総則[14] (22頁参照) による。

## [20] 出場車輛の変更

- 1) 車輛の変更は総則[14] (22頁参照) による。
- 2) ただし、車輛変更の申請は同部門、同クラスの車輛に限定され、手数料5,000円を添付して申請しなければならない。
- 3) 車輛の変更は、公式予選終了後は如何なる理由があっても認められない。

## [21] 公式予選

- 1) 公式予選の内容は付則1[7] (32頁参照) による。
- 2) 公式予選の日程および時間は公式通知またはプログラムに示される。

## [22] 決勝レース出場台数

- 1) 決勝レース出場台数は、開催場所により原則として次の台数以下とする。
  - (1) 鈴鹿サーキット=44台
  - (2) 筑波サーキット=30台
  - (3) スポーツランドSUGO=30台

## [23] スタート

- 1) スタート前のウォーミングアップは、役員の指示にしたがい慎重に安全を確認して所定の区域内を、所定の巡回方向で走行しなければならない。
- 2) バドック内においてはウォーミングアップ走行することは禁じられる。
- 3) スタートまでの行動は、付則1[8]3. (32頁参照) による。
- 4) スタート2分前の表示が出されたあと、ただちにメカニック、ヘルパーは、所定のスタート区域からコース外へ退去しなければならない。違反したものは罰則が適用される。
- 5) スタートは、付則1[8]4. (32頁参照) による。
- 6) スタートでエンジンが始動しないライダーは、審判員の指示にしたがってピットにレーサーを押し入れ、整備後、再び審判員の指示にしたがって、ピットから再スタートすることができる。

## [24] スタートにおける反則

- 1) スタートラインについての車輛およびライダーは、スタート用意からスタート合図がされてスタートが終るまで出発合図の統制下にあり、スタート合図がおこなわれる前に所定の位置から前進したり、あるいはピット要員がスタートの規制にしたがわなかった場合には、スタート審判員によって反則とみなされる。
- 2) スタートにおいて反則行為をした場合、当該ライダーはレース結果に1分を加算するか、1周の減算か、または失格の罰則が適用される。この場合できるだけ速やかに、ライダーのピットに通告されるが、判定に





# Road Race

対する抗議は受付られない。

## [25] レース

- 1) 走行中の遵守事項は総則[15] (22頁参照)による。
- 2) コースは右回りの所定の走路とし、如何なる場合でも逆方向、あるいは、規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は失格とする。
- 3) レースまたは予選中、グラウンドスタンド前直線部分では、前車を追越すために、あるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは許されない。この範囲(区間)はイエローラインが設けられたコース直線部分とする。

## [26] レース中の合図

- 1) レース中の合図は、総則[16]3. (23頁参照)による。
- 2) 赤旗の使用は、コントロールライン上において、競技総監督、または競技総監督の命を受けた代理役員のみに限られる。

## [27] 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車輛について、競技総監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じ、あるいはレースから除外することができる。この決定に対する抗議は受付られない。
- 2) 天災、大事故等不慮の事態が発生した場合は、競技総監督は、赤旗によって全車に対し、その場に停止を指示することができる。

## [28] 棄権(リタイア)と停止

- 1) リタイアと停止は、総則[16]4. (23頁参照)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイア届を提出できないときは、審判員の判定により、リタイアと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイアする場合、ライダーは車輛をレース(または予選)終了までコース審判員の管理下におかななければならない。ただし、審判員から車輛移動を指示された場合は、これに従わなければならない。
- 4) 車輛を押してピットに帰る場合は必ずコース両サイドのいずれか片側のグリーンを歩くこと。
- 5) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。

## [29] レース終了

各レースの終了は、チェッカー・フラッグによりトップのライダーがゴールインしたのち次の時間を経過したとき

である。

鈴鹿サーキット 4分間  
筑波サーキット、スポーツランドSUGO 2分間

## [30] 優勝者、入賞者、完走者および順位

優勝者、入賞者、完走者および順位は付則1[9] (33頁参照)による。

## [31] レース終了後の車輛の保管と再検査

- 1) チェッカー・フラッグを振られた車輛は、所定の位置より役員誘導にしたがって車輛保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車輛は騒音測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査をおこなうことがある。
- 3) 上位入賞車輛は暫定結果発表後30分以上保管される

## [32] レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が、支払った出場料、保険料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## [33] 抗議

- 1) 抗議は、総則[21] (24頁参照)による。
- 2) 車輛の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車輛の分解等に要した費用は車検長が算定する。

## [34] 違反に対する罰則

競技規則の違反行為に対する罰則は、総則[23] (24頁参照)による。

## [35] 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑申立てができる。なおこの解答は大会審査委員会の解釈、決定を最終的なものとして示される。

## [36] 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込み受け日より有効となる。なお本規則に示されていない事項はMF J国内競技規則による。

昭和57年1月1日

大会事務局長





## 付則2 モトクロス規則

[1]適用の範囲	43	[2]モトクロス	43
[3]出場車輛	43	[4]ライダーの装備	53
[5]公式予選	54	[6]レース	54
[7]優勝者、入賞者順位、完走者および得点	54		

### [1] 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべての国内モトクロス競技会に適用される。

### [2] モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走行方向が急変化する等の地形のところで行なわれるクロスカントリー・レースであり、総則およびこの付則により管理される。

### [3] 出場車輛

車輛は下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することはできない。

#### 1. クラス区分

車輛のクラス区分は原則として次のようにわけられ、開催種目および運用は、特別規則に示される。

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc	~ 80cc
125cc	100cc	~ 125cc
250cc	175cc	~ 250cc
500cc	350cc	~ 500cc

#### 2. 改造の限度

##### 1) 国際A級部門の車輛改造の限度

車輛の銘柄型式は制限しない。

改造をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を厳守しなければならない。

- (1) 半乾燥重量は下記の最低重量を満たしていなければならない。半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料をぬいた車輛重量をいう。ただし、分離給油式の場合のオイルは燃料とみなす。

- ① 車輛最低重量は次の通りである。

125cc=88kg 250cc=98kg 500cc=102kg

- ② ダミーウェイトを装着してはならない。

- (2) 騒音は下記の条件を満たしていなければならない。

- ① 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

- ② 騒音はFIM方式による測定方法で110db(A)以下でなければならない。

- ③ FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

- (3) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

- 2) 国際B級、ジュニア、ノービス部門の車輛改造限度  
車輛は、一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示に示される。機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量化、もしくは形状の変更をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) 機械的伸長、他の物質の添加または分子構造や金属面に変更をもたらすような処理（焼き入れ等）および材質の変更をしてはならない。

- (2) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならないが、補強等はおこなってもよい。

- (3) 異った機種エンジンのフレームの組み合わせは公認車輛同士に限りおこなうことができる。ただし、小排気量車のフレームと大排気量車のエンジンを組み合わせることはできない。

- (4) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは公認型式のものでなければならない。



- ① クランクウェブのバランス穴の充填は認められない。
- ② ユニット・コントラクション（単体構造）エンジンの場合のクランクケース本体とは変速機部分を含むものとする。
- (5) 変速機の段数は6段を限度とする。  
ただし、クランクケースおよびミッションケース外に変速装置をつけ加えてはならない。
- (6) 冷却方式を変更してはならない。
- (7) 弁形式を変更してはならない。
- (8) 燃料吸入方式を変更（フューエルインジェクターの取り付け等）してはならない。
- (9) 気化器の個数は気筒あたり1個を限度とする。（ダブルベンチェリーの場合は2個とみなす）
- 40 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。
- ① 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料をぬいた車輻重量をいう。ただし、分離給油式の場合のオイルは燃料とみなす。
- ② 車輻最低重量は次の通りである。  
80cc=73kg 125cc=80kg 250cc=88kg  
'83年からは、全日本選手権シリーズ大会については、次のとおりとする。  
80cc=73kg 125cc=88kg 250cc=98kg
- ③ ダミーウェイトを装着してはならない。
- 11 騒音は下記の条件をみたしていなければならない
- ① 車輻は、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていないなければならない。
- ② 騒音はFIM方式による測定方法で、110db(A)以下でなければならない。
- ③ FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均速度を4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。
- 12 構成部品
- ① 下記部品はMFJが公認したものでなければならない。  
ミッション、シリンダー、シリンダーヘッド
- ② 下記部品はMFJに市販届出申請を行ない承認されたものでなければならない。  
フロントクッション、リアクッション
- ③ チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。
- 3) Bライセンス部門の車輻改造限度
- (1) 車輻は市販レーサーを除く一般生産型モーターサ

イクルで、MFJが公認したものでなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示に示される。

(2) 変更してもよい部品。

- ① ハンドルおよびその附属品  
② コントロール・ケーブルワイヤー類  
③ タイヤ  
④ フートレスト  
⑤ フェンダー  
⑥ シート  
⑦ 消音器の内部  
⑧ エアクリーナー  
⑨ 点火プラグ  
⑩ メインスイッチ  
⑪ ベダル類  
⑫ スプロケット  
⑬ チェーンケース

(3) 取りはずさなければならない部品。

- ① スタンド類  
② キャリア類  
③ タンデム・フートレスト  
④ 車輻番号標板（ブラケットごと）  
⑤ バックミラー  
⑥ ライト類およびガラス類（ただし、レンズおよびライト類の飛散防止を施せばよい）

(4) とりつけなければならない部品。

- ① レースナンバープレート  
② ハンドルレバーエンド

(5) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない

- ① 車輻は、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていないなければならない。
- ② 騒音はFIM方式による測定方法で、110db(A)以下でなければならない。
- ③ FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置、ピストンの平均速度を4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

(6) 上記、(2)(3)(4)の各項に記された部品以外は一切変更改造をおこなってはならない。

3. 仕様

1) 排気管および消音器

- (1) 規定の騒音規制値を満足していなければならない
- (2) その長さは後輪後端を通る垂直線より突出してはならない。

2) タイヤ

タイヤチェーン、スパイク等を加工装備してはならない。

3) 過給

過給器を取付けたり過給したりしてはならない。

4) クラッチとブレーキレバーおよびベダル

- (1) クラッチレバーおよびブレーキレバーはその末端





## ライダーは、 つねに足元を見られている。

いーモーターサイクルに乗りたい。しかもいい格好で。ライダーたちの心はいつもそんな夢でいっぱい。楽しみなことです。ところでライディングでいちばん気になるところが足元。フットワークを生かすにも足元がしもらなくては、安全でしかも格好いいスタイルの基本がブーツってわけ。クシタニのブーツはオン、オフ合わせて11種。それぞれに十分な経験による考察を加え作りあげています。ビギナーからヴェテランまで、まずはき心地をたしかめてください。●ところで、たたいま、クシタニでは全国のフランチャイズショップでブーツ1足お買いあげの方にもれなくキーホルダー&抽選でウエンガーナイフが当たるビッグなプレゼントセールを開催中。急げ!!



●K10: フライングシューズ ●カラー: 黒 ● ¥28,000 ●K620: レーシングシューズ ●カラー: 青, 赤 ● ¥25,000 ●K630: ロードスターシューズ ●カラー: 黒, 赤 ● ¥27,000 ●K640: カラーレーサーシューズ ●カラー: 黒 ● ¥26,000 ●K660: ストリートシューズ ●カラー: 黒 ● ¥23,000 ●K670: スペシャルブーツ ●カラー: 黒 ● ¥32,000 ●K680: KTシューズ (カート用) ●カラー: 青, 赤 ● ¥18,000 ●K710: トライルブーツ ●カラー: 黒 ● ¥36,000 ●K721: プロスターブーツ ●カラー: 黒 ● ¥38,000 ●K730: プロタイプブーツ ●カラー: 黒 ● ¥33,000 ●K760: 761: プロフェッショナルブーツ ●カラー: 青, 赤 ● ¥41,000 ●サイズ: すべて24.0-27.0cmで0.5cm間隔です。

# 3

販売開始以来50万足 達成謝恩

# Boots fair

クシタニブーツフェア/ウエンガーナイフプレゼント/期間: 2月1日 - 4月30日



# Kawasaki

世界選手権ロードレースGP・250ccクラス  
4年連続メーカー&ライダーチャンピオン

WORLD  
CHAMPION  
**350**  
Road Race  
GP

FIM World Championship  
350ccクラス 本物の強さを実証

WORLD  
CHAMPION  
**1000**  
Endurance  
Road Race  
GP

耐久レース メーカータイトル、  
ライダータイトル1位から4位を独占!

## 連戦連覇——世界のレースに圧勝したグリーン・ミーニー“KR”

FIM世界選手権ロードレースGPでは、250ccクラスにおいて4年連続メーカー及びライダーチャンピオンに、また350ccクラスでもタイトルを獲得！ビッグマシン耐久レースではメーカーチャンピオンは言うに及ばず、ライダータイトルも1位から4位を独占するなど「レースのカワサキ」にふさわしい華々しい戦績を残しました。一方、アメリカでもAMA全米選手権のスーパーバイクレースや250ccエキスパート・ライトウェイトレースで驚異的な勝利を飾り、カワサキ・マシンの高速連続性能や耐久性能の高さを幾重にも立証。カワサキモーターサイクルのハイメカニズム、ハイクオリティをあますところなく世界に実証しました。



# 圧勝!!

全クラス総合優勝



FIM World Championship

250ccクラス 4連覇/他を寄せつけない圧倒的な勝利。



AMAスーパーバイクレース

AMA250エキスパート

エディ・ローソン、破竹の勢いで全米を制覇。



Anton Mang (アントン・マング)  
250cc Road Race GP (1位)  
350cc Road Race GP (1位)

世界で最も速い男——アントン・マング。

圧倒的な強さで他を寄せつけないスプリントレースの王者  
アントン・マングは250ccクラスで2年連続のライダーチャンピ  
オンに。そして4年連続のメーカーチャンピオンをカワサキに  
もたらし、同時に350ccクラスでもタイトルを獲得しました。







世界のブランド

# IRC



● **トラクション自在。バランスのZ「マークII」登場。**

M1      M2      M3



ダッシュ時や直線では強大なトラクションを発揮。コーナーでは意のままに流せる。理想的なMXタイヤの特性を備えて、45ZマークII登場。\*“噛みのZ”の諸特性を高次元でバランスさせたその走りは、限界点近くでも、ニュートラルな味を失いません。

- M1 2.50-14/2.75-17/3.00-21
- M2 2.50-10/3.00-12/4.10-14/4.10-18
- M3 5.60-17/4.00-18/4.10-18/5.10-18

バランスのZ

MX-45Z

**MARK II**

INDAG GROUP  
井上ゴム工業株式会社

■タイヤ事業部/名古屋市熱田区千代1丁目16番30号 〒456 ☎(052)652-6121 ■東京支店/東京都品川区大崎2丁目9番12号 〒141 ☎(03)491-6041





スカッとさわやか コカ・コーラ

Drink Coca-Cola with a smile. It's the new way to enjoy life.

# Coca-Cola



さくら・さくら・さくら・さくら・さくら  
は







Yes  
Drink  
Coke  
TRADE MARK REGD.  
Yes





# MARCHAL

MADE IN FRANCE

闇に一闪、  
伝統のレンズカットが映える  
ランプの名門。マーシャル

- 2輪用ヘッドランプユニット
- タウンライト付●専用リムを使用



中型車用

大型車用

MFJ承認部品

## KONI

MADE IN HOLLAND

F-1の実績が生きるショック・  
アブソーバーの代名詞。コニー

- 各車種適応あり



## rukka

MADE IN FINLAND

雨の日の  
ライディングに特殊縫製の  
レインスーツ。ルッカ

- カラー：ブルー/オレンジ/イエロー



## reusch

MADE IN GERMANY

ドイツのクラフトマンシップ  
が息づく確かな品質。

ロイッシュ

- 春、秋用/冬用各種あり



N31



N32

## NOIAN

MADE IN ITALY

空気力学の結晶。ノラン

- カラー/サイズ各種あり



ミニジェット



ジェット

## SINISALO

MADE IN FINLAND

世界のトップライダーが  
愛用するモトクロスグッズ。  
シニサロ

- グローブ/パンツ/各種プロテクター



## SCOTT

MADE IN U.S.A.

モトクロスの覇者。  
スコット

- ゴーグル/フェイスガード
- カラー各種あり



## AXO

MADE IN ITALY

天才モトクロスライダーMrブラッド・ラッ  
キー愛用、プロ仕様オフロードブーツ。  
アクソー

- 各種サイズ、カラーあり



MADE IN ITALY

抜群のフィット感。  
選ばれたライダーの為の  
トップブーツ。RG

- ロード/モトクロス
- /エンデュロ
- 各種サイズ、カラーあり



この広告に関するお問い合わせは下記へ……

日本総代理店

F.E.T. 極東

〒157 東京都豊田区千歳台4-30-11  
☎ 03(484)9179 支店：大阪 富貴洲：札幌・  
仙台・小山・新潟・東京・名古屋・広島・福岡

いま、ヒーローの予感。  
極東からモーターサイクリストに  
世界のトップブランドラインアップ。  
テクニックが囁く。マシンが追従する。  
人車一体の緊張感。そこ  
に自分のスキもゆるしません。  
ライダーよ、優れた選択眼を持て。  
極東からお届けするのは、世界のトップブランドばかり。  
モータースポーツのすべてをフォローします。



が直径19mm以上の球状に作られ、容易にとれるものであってはならない。

(2) ブレーキペダルおよびギアシフトレバーの位置は自由である。ただしその先端は安全上丸められていなければならない。

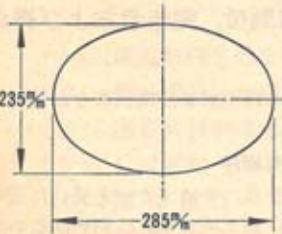
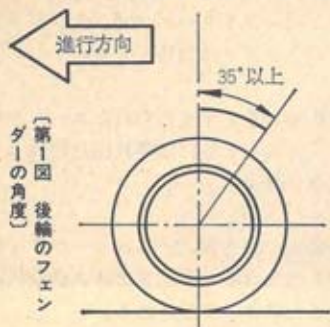
5) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキをそなえていなければならない。

6) フェンダー

前後車輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

特に後輪はその後部上四半分の上側から35°以上覆われていることが望ましい。〔第1図参照〕



ただし、前輪フェンダーについては、主催者が認めればとりはずしてもよい。

7) 取りはずさなければならない部品  
ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台およびチェーンケース（プロダクションのみチェーンケースはこの限りではない）は取り外さなければならない  
8) レースナンバープレート

(1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートは、第2図に示す大きさ以上のものでなければならない。

(2) 取り付け方法

ナンバープレートは、車輻の前面に1枚を前向きに、車輻の両側面に各1枚を垂直方向に取り付けなければならない。

(3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次の通りである。

- Bライセンス部門——白地に黒文字
- ノービス部門——白地に黒文字
- ジュニア部門——黄地に黒文字
- 国際B級部門——緑地に白文字
- 国際A級部門125ccクラス——赤地に白文字

国際A級部門250ccクラス——赤地に黄文字

(4) ナンバーの字体

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

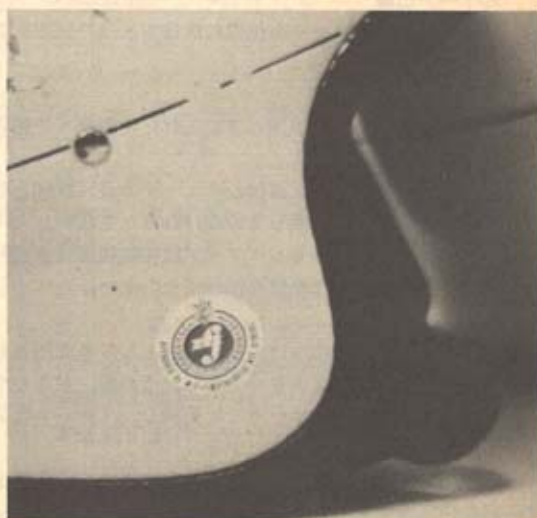
わるい書体例 陰つきの花文字なども不可

9) 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造であってはならない。

〔4〕ライダーの装備

1. ヘルメット

- 1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133の2種、USA S. I. STANDARD-Z90-1-1970、米国スネル規格1975によって示された検査に合格したか、またはそれ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- 2) MFJの公認したヘルメットには、認証マークが貼付されている。
- 3) 競技会の車輛検査受付時にヘルメットの検査がおこなわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。
- 4) MFJ公認の認証マークの貼付されていないヘルメットについては、ペナルティ料金（1,000円）を支払ひ、特別検査を受けなければならない。





## 2. ゴググル

ガラスを用いたゴググルの使用はいっさい禁止される。枠は柔軟なもの、または転倒等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなければならない。

## 3. ライダーの服装

- 1) 服装はレース中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。
- 2) 下半身は皮製または革と同等以上の耐摩耗性、耐熱性を有する材質のズボンを着用しなければならない。
- 3) 上衣は特に規制しないが、安全で自由な動作をさまたげず、丈夫なものを着用しなければならない。
- 4) 突出部のない革、または革と同等以上の性能をもつ手袋および靴を着用しなければならない。
- 5) ライダーは競技会中、合成繊維（ナイロン、テロン等）製の肌着を着用してはならない。

## 〔5〕 公式予選

## 1. 公式予選の日程

- 1) 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- 2) 公式予選の日程は特別規則に示される。

## 2. 公式予選の内容

- 1) そのクラスの出場申込み台数が、規定の同時出走最多台数（30台）を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選がおこなわれる。
- 2) 公式予選は、原則として大会公示に示される周回数のレースによっておこなわれる。
- 3) 決勝進出台数は特別規則に示される。

## 〔6〕 レース

## 1. スタート位置

レースにおけるスタート位置の決定方法は特別規則に示される。

## 2. スタートまでの行動

- 1) ライダーは、特別規則に定められた時間割りを厳守しなければならない。
- 2) ライダーは、レース直前のチェックの後、車輛とともに指定区域内に待機していなければならない。
- 3) エンジンのウォーミングアップは特別規則に定められた時間内でおこなわれなければならない。

## 3. スタート

- 1) スタートの方法については、原則として各部門ともエンジンランニングスタートとし、その際、かならずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。  
ただし、スターティングマシンを使用する場合は上記の待機姿勢をとらなくてもよい。

2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。

3) スターティングマシンが使用される場合は、車輛の位置は原則としてスターティングマシンの後方の区画内とする。

4) スタートの合図は、スタート係が国旗を振ることによって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合はこの限りではない。

5) スタート合図以前にスタート・ラインを出たものがあつた場合、すなわちフライングのあつた場合は、スタート・ライン前方において赤旗が振られ、スタートをやりなおす。但し同一ライダーが2回以上フライングをした場合はそのライダーは失格とする。

## 4. コースアウト

ライダーは、走行中やむをえず定められたコースを外れた場合、再びコースにもどるには外れ出た地点より走行し直さなければならない。

## 5. レース終了

レースの終了は優勝者の完走後、チェッカーフラッグマーシャルが定位置をはなれること、または大会役員車がコースを一巡することによって示される。

## 〔7〕 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

## 1. 優勝者

優勝者は、規定のレース時間および周回数を最短時間で完走したライダーである。

## 2. 入賞者および順位の優先順序

- 1) 入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走車の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールライン通過の順位による。
- 2) レース終了時までにゴールラインに達しない走行中の完走者。
- 3) 完走周回数をまっとうしたのち、リタイアした者。
- 4) 上記以外の者については周回数の多い者を優先する

## 3. 完走者

各レースにおいて、優勝者の80%以上の周回数を完了してチェッカーを受けたライダーが完走者である。

## 4. 得点

- 1) 完走者には総則〔8〕の2、3（16、21頁参照）によって得点が与えられる。
- 2) 選手権シリーズで大会（県、地方、全日本等）の得点は原則として、上記1）によって与えられる。
- 3) レースが2ヒートでおこなわれる場合は、この得点は各ヒート毎に与えられる。



# モトクロス

## '82全日本選手権大会特別規則

全日本選手権モトクロス大会は、日本モーターサイクル協会（MFJ）公認のもとに、MFJ国内競技規則にしたがい開催される。本特別規則は、1982年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。



### 特別規則の内容

[1] 開催競技会の日程、名称、主催、 開催場所、出場申込み期間.....56	[18] 車輛検査.....59
[2] 運営実行組織.....57	[19] ライダーの変更.....59
[3] 公式通知・タイムスケジュール.....57	[20] 車輛の変更.....59
[4] 開催種目.....57	[21] 部品の変更.....59
[5] 競技内容.....57	[22] 自由練習および公式練習.....59
[6] 参加定員.....57	[23] 公式予選.....59
[7] 参加資格.....57	[24] スタート.....59
[8] 出場申込み.....57	[25] レース.....60
[9] 出場料、保険料および選手共済費.....57	[26] レース中の合図.....60
[10] 参加受理.....57	[27] レース終了.....60
[11] 賞および得点.....58	[28] 優勝者、入賞者および得点.....60
[12] 出場車輛.....58	[29] 入賞車輛の検査.....60
[13] 競技者番号（ナンバー）.....58	[30] レースおよび大会の延期、中止等.....60
[14] ライダーの装備.....58	[31] 抗議.....60
[15] ガソリンおよびオイル.....58	[32] レース中の違反行為に対する罰則.....60
[16] ビットエリア.....58	[33] 本規則の解釈.....60
[17] 出場受付.....58	[34] 本規則の施行.....60



# Motocross

## [1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

日 程	大 会 名 称	主 催 (出場申込み先)	開 催 場 所	出場申込み期間
3月20日(土) 21日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 関東モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	関東信越モーターサイクル協会 ☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03(472)6241	茨城県 谷田部町 谷田部特設コース	2月18日(木) ? 28日(日) 消印有効
4月3日(土) 4日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 西日本モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ西日本スポーツ委員会 ☎730 広島県広島市南区松川町3-3-19 柳島英油内 ☎ 082(261)8386	山口県 美弥市 西日本サーキット	3月4日(木) ? 14日(日) 消印有効
4月17日(土) 18日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 関西モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	関西モーターサイクル協会 ☎673 兵庫県神戸市垂水区玉津町居住67-1 兵庫県軽自動車協会内 ☎ 078(927)7701	大阪府 大東市 オートランド生駒	3月18日(木) ? 28日(日) 消印有効
5月15日(土) 16日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 鈴鹿モトクロス大会 (国際A級2ヒート制)	㈱ホンダランド鈴鹿サーキット ☎510-02三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎ 0593(78)1111	三重県 鈴鹿市 鈴鹿サーキット	4月15日(木) ? 25日(日) 消印有効
5月29日(土) 30日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 東北モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ東北スポーツ委員会 ☎980 宮城県仙台市北根1-19-41 ☎ 0222(73)0475	宮城県 村田町 スポーツランドSUGO	4月29日(木) ? 5月9日(日) 消印有効
6月12日(土) 13日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 四国モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ四国スポーツ委員会 ☎760 香川県高松市西宝町3-11-7 岡村秀樹気付 ☎ 0878(34)1634	香川県 大川郡長尾町 オートランド香川	5月13日(木) ? 23日(日) 消印有効
7月10日(土) 11日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 札幌モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	北海道モーターサイクル協会 ☎065 北海道札幌市東区東雁来町52 ☎ 011(782)1492	北海道 留寿都村 大和ルスツスキー場特設コース	6月10日(木) ? 20日(日) 消印有効
9月4日(土) 5日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 東北モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ東北スポーツ委員会 ☎980 宮城県仙台市北根1-19-41 ☎ 0222(73)0475	青森県 弘前市 岩木町特設コース	8月5日(木) ? 15日(日) 消印有効
9月18日(土) 19日(日)	全日本選手権シリーズ第9戦 九州モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ九州地方本部 ☎812 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16 福岡県軽自動車協会 ☎ 092(641)0431	(未定)	8月19日(木) ? 29日(日) 消印有効
10月2日(土) 3日(日)	全日本選手権シリーズ第10戦 関東モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	関東信越モーターサイクル協会 ☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03(472)6241	埼玉県 川島町 セーフティパーク埼玉	9月2日(木) ? 12日(日) 消印有効
10月16日(土) 17日(日)	全日本選手権シリーズ第11戦 第19回モトクロス 日本グランプリ大会 (国際A級2ヒート制)	日本モーターサイクル協会 ☎104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル ☎ 03(561)8566	三重県 鈴鹿市 鈴鹿サーキット	8月27日(金) ? 9月9日(日) 消印有効



# '82全日本選手権大会特別規則

## 〔2〕 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

## 〔3〕 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

## 〔4〕 開催種目

- 1) 全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は下記のとおりである。

部門	ジュニア	国際B級	国際A級
クラス	125cc	125cc	125cc
	250cc	250cc	250cc

- 2) 大会によりノービス部門の競技が併催されるが、ノービス部門は全日本選手権の対象とはならない。  
3) 日本GP大会には、ブロック対抗ノービス選抜レース(125cc)がおこなわれる。

## 〔5〕 競技内容

ノービス	10分+2周
ジュニア	15分+2周
国際B級	30分+2周
国際A級	40分+2周

注：上記競技内容は天候等の都合により、大会審査委員会の決定によって変更される場合がある。

## 〔6〕 参加定員

定員は定めない。

## 〔7〕 参加資格

1. 参加者およびライダー
- 参加者およびライダーは、MFJ国内競技規則、総則〔4〕(15頁参照)に合致していなければならない。
  - 国際A級部門のライダーは、昭和57年1月15日までにMFJに登録したクラスにのみ出場することが認められる。
2. 日本GP大会の参加資格
- ノービス部門。ブロック対抗ノービス選抜レース(125cc)出場者は、各地方スポーツ委員会により各ブロック毎に4名が推薦される。

- 2) ジュニア部門。8月31日までの全日本選手権シリーズ大会及び地方選手権シリーズ大会の得点合計で125cc、250cc各クラス上位の者で次に示す人数  
北海道=4名 東北=13名 関東=16名 中部=9名  
関西=4名 中国=4名 四国=4名 九州=4名  
なお主催地方に2名を加える。

- 3) 国際B級部門。8月31日までの全日本選手権シリーズ大会において各クラスともランキング上位30名+2名のライダー。

## 〔8〕 出場申込み

- 申込み場所 申込み場所は各主催者住所とする。
- 出場申込み
  - 各部門とも所定の申込み書に必要な事項をすべて記入の上、出場料およびMFJ選手共済(通称MFJ保険)費を添えて提出しなければならない。
  - 2クラス以上に出場を申込み場合でも、申込み書は1枚でよい。ただし2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。
  - 郵送の場合は現金書留とし、締切当日の消印のあるものまでが有効となる。
  - 締切日以降の申込みおよび電話による申込みは一切受け付けない。

## 〔9〕 出場料およびMFJ選手共済費

国際A・B級、 ジュニア	出場料(保険料込み) (2クラス目より)	5,000円 4,000円
併催ノービス 地方大会	出場料(保険料込み) (2クラス目より)	5,000円 4,000円
日本グランプリ 大会	出場料(保険料込み) (2クラス目より)	6,000円 5,000円

(MFJ選手共済費=通称MFJ保険料600円を含む)

## 〔10〕 参加受理

- 必要事項のすべてが明記された出場申込み書、必要金額が大会事務局に受理されたのちに、参加受理書が発送される。
- いったん受理された出場料、共済費はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 大会が中止された場合、参加が拒否された場合(申込み者が必要な手続を怠った場合はこれにはあてはまらない)にのみ出場料、共済費が返還される。



## [11] 賞および得点

### 1. 賞および得点

- 1) 高松宮杯  
日本GP大会における最優秀ブロックに与えられる
- 2) その他の賞の詳細は公式通知に示される。
- 3) 全日本選手権ランキングの得点
  - (1) 得点は総則[8]2, 3. (16, 21頁参照)によって与えられる。
  - (2) モトクロスGP大会については、上記の得点にさらに3点が加算される。
  - (3) レースが2ヒートでおこなわれた場合は、それぞれのヒート毎に上記の得点が与えられる。
  - (4) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
  - (5) その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法(86頁参照)に示される。
- 4) 賞および得点の制限  
賞および得点の制限は、総則[8]3. (21頁参照)による。尚、国際A級の出走台数は各ヒートのレースのスタートラインに並んだ台数とする。

### 2. 日本GP大会における賞の規定

- 1) 最優秀クラブ賞は、MFJ公認クラブで、そのクラブの全入賞者の得点を合計し、最多得点を獲得したクラブに授与される。
- 2) 最優秀ブロック賞、最優秀クラブ賞、ノービスブロック対抗賞は、レースごとのライダーの最高得点を集計して与える。

## [12] 出場車輛

車輛は付則2[3] (43頁参照)を遵守しなければならない。

## [13] 競技者番号(ナンバー)

- 1) 国際A級および国際B級の一部(20番まで)のライダーには、付録に示すとおり年間指定ナンバーが割当てられる。
- 2) 他のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) ナンバーは、車輛検査までに、規定の書体および色で記入しなければならない。
- 4) 年間指定ナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にナンバーを記入しなければならない

- 5) ナンバーの状態は、車輛検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 6) レース中、ナンバープレート、配布されたゼッケンおよびヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、また、間違ったナンバーを装着して走行した場合はその周回は記録されない。
- 7) 雨天の場合、すべてのライダーはヘルメットの両面にナンバーを記さなければならない。

## [14] ライダーの装備

- 1) ライダーの服装等は、付則2[4]3. (54頁参照)による。
- 2) MFJ認証マークが貼付されていない公認ヘルメットを使用しているものについては、ペナルティ料金(1,000円)を支払わなければならない。



ヘルメットの側面に貼られたナンバー

## [15] ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは、総則[12] (22頁参照)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された時は、当該ガソリンを使用しなければならない。

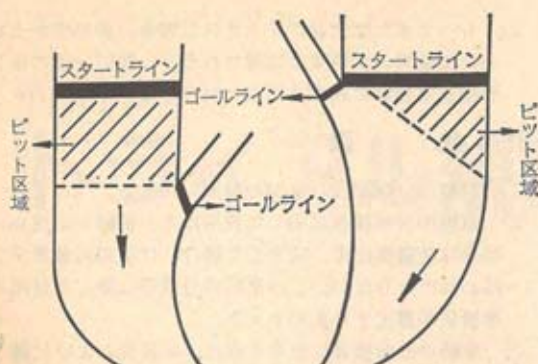
## [16] ビットエリア

ビットエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のビットエリアはスタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしつかえのないコース上である。(第3図参照)

## [17] 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、かならずライダー本人が出席し運転免許証(又は自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書でも可)、MFJライセンス、健康保険証、参加受理書を提示し





〔第3図 ピットエリア (区域)〕

て、出場資格の確認を受けなければならない。

3) 運転免許証 (又は自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書でも可) を所持していない者は、原則として出場を認められない。

4) MFJライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金 (3,000円) を支払い、さらにその場でMFJ登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。なお、後日MFJ事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。

## 〔18〕 車輛検査

- 1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- 2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) 車輛検査持込み台数は1クラスにつきノービス (地方大会)、ジュニアおよび国際B級部門は1台に限定、国際A級部門のライダーは制限を設けない。
- 4) 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車輛は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時検査をおこなうことができる。

## 〔19〕 ライダーの変更

ライダーの変更は総則〔14〕 (22頁参照) による。

## 〔20〕 車輛の変更

- 1) 車輛の変更は総則〔14〕 (22頁参照) による。
- 2) ただし車輛変更申請は、同部門、同クラスの車輛に限定され、手数料5,000円を添付しなければならない。
- 3) 車輛の変更は、公式予選終了後は如何なる理由があっても認められない。
- 4) 2ヒート・システムの場合、第1ヒート目と第2ヒート目の車輛の変更は認められない。

## 〔21〕 部品の変更

- 1) エンジン・アッセンブリーの変更は認められない。
- 2) 2ヒートの場合、第1ヒート終了後すべての出走車輛は封印される。なお、封印された部品以外のものの交換は許される。

## 〔22〕 自由練習および公式練習

- 1) 競技前日の走行練習は禁止される。
- 2) ライダーは安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加し、走行しなければならない。

## 〔23〕 公式予選

- 1) 公式予選の内容は付則2〔5〕 (54頁参照) による。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は公式通知またはプログラム等に示される。
- 3) 公式予選の組分けは公式練習終了以前に発表される。

## 〔24〕 スタート

- 1) スタートの方法については原則として各部門ともスターティングマシンを使用する。ただしスターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 2) 同時出走最多台数は、原則として30台とする。
- 3) 決勝スタート位置は予選および予選のないクラスは抽選によるものとし、予選のあるクラスは予選順位により上位を優先して自由選択するものとする。
- 4) 2ヒート制の場合、第1ヒートのスタート位置は予選レース、タイムトライアルまたは抽せんにより決定し、第2ヒート目のスタート位置はタイムトライアル、予選レースまたは第1ヒート目の順位を優先してスタート位置を自由選択とする。
- 5) エンジンのウォーミングアップは主催者の指示する時間内に限られる。
- 6) ウォーミングアップ以後、スタート係によってスク



ートのためのエンジン始動の合図がなされた後は(キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後)ライダーからタイムのサインがあっても、スタート係はこれを考慮しない。

## [25] レース

- 1) レース中の遵守事項は総則[15](22頁参照)による。
- 2) ピットエリア内で車輛の整備などをおこなえるメカニックは1名に限られ、他のメカニックは如何なる場所においても如何なる直接的援助をおこなうことはできない。
- 3) レース中、消音器またはエキスパンションチャンパーがはずれた場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗が示され、ピットインし、修理の後、審判長の許可を得た上で再出走が認められる。

## [26] レース中の合図

- 1) レース中の合図は総則[16]3。(23頁参照)による。
- 2) 競技内容に示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴール地点に現われた時点から、残り周回数を示す合図が出される。

## [27] レース終了

レースの終了は付則2[6]5。(54頁参照)による。

## [28] 優勝者、入賞者および得点

1. 各レースにおける優勝者、入賞者、完走者および順位は、付則2[7](54頁)による。
2. 2ヒートシステムの総合順位決定方法。
  - 1) 各ヒートごとに次の得点が与えられる。1位15点、2位12点、3位10点、4位8点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点、9位2点、10位1点。
  - 2) 総合順位決定は、①合計得点の多いもの、②合計周回数の多いもの、③着順上位のあるもの、④2ヒート目の成績にしたがっておこなわれる。

## [29] 入賞車輛の検査

- 1) レース終了後、入賞となった車輛は、直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車輛は車輛重量および騒音が測定され、規定をみたしていない車輛は失格となる。

## [30] レースおよび大会の延期、中止等

- 1) 大会は、本規則に発表した日程を変更または延期されることはない。

- 2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、共済費は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## [31] 抗議

- 1) 抗議は、総則[21](24頁参照)による。
- 2) 車輛の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車輛の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 車輛の分解検査に立合う者は、車検長および抗議を受けた当事者のみとする。

## [32] レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、その軽重によって競技総監督ならびに大会審査委員会の権限において、下記の罰則を課せられることがある。

- 1) 故意に走路を妨害した場合、失格とする。
- 2) レース中に他の援助を受けた場合、失格とする。
- 3) コース上で逆走した場合、失格とする。
- 4) コース審判により示された信号旗にしたがわなかった場合失格とする。
- 5) 1度コース外に出て他の所より再びレースに復帰した場合、1周減算または失格とする。
- 6) ウォーミングアップ中止後、役員長の許可なくエンジンを始動させた場合、1周減算とする。
- 7) フライングスタートが確認された場合、黒旗をもってその旨ライダー本人に通告される。黒旗で合図されたライダーは、その場で1分間停止し、競技役員長の指示によって再スタートする。
- 8) 同一ライダーがフライングを2度繰返した場合はそのライダーは失格とする。

## [33] 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申立てができる。なお、この解答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## [34] 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。  
なお、本規則に示されていない事項は、MFJ国内競技規則による。

昭和57年1月1日

大会事務局局長



## 付則 3

## トライアル規則



[1] トライアル……………61	[2] 適用の範囲……………61
[3] 賞……………61	[4] 出場車輛……………61
[5] ライダーの装備……………62	[6] コース……………63
[7] セクション……………63	[8] タイムキーピング……………63
[9] 競技の進行……………64	[10] ペナルティ……………64
[11] ペナルティの定義……………65	[12] 競技結果……………65
[13] 同点者の判定……………65	★トライアルタイア公認規格…64

## 〔1〕 トライアル

(オブザーベーション・トライアル)

オブザーベーション・トライアルとは、自然の地形に設計された条件（セクション、コース）に、多数のライダーが規定された1日または2日以上の大大会期間中に挑み、操縦の確実性とタイムキーピングにより結果が表わされる競技である。

## 〔2〕 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべての国内トライアル競技会に適用される。

## 〔3〕 賞

原則として次の通り賞を定める。

- 1) 優勝=ベストパフォーマンス (BP)  
出場者中最も減点の少ない者
  - 2) 2位=ランナーアップ (RU)  
二番目に減点の少ない者
  - 3) ファーストクラス 優勝, 2位を含む上位20%の者
  - 4) セCONDクラス 次の上位10%の者
- 注: セCONDクラスとは全出場者の上位のうち, 1), 2), 3)を除いた者。

## 〔4〕 出場車輛

出場車輛（以下車輛という）は下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することができない。

## 1. 競技が一般公道を使用する場合の車輛の改造限度

出場車輛は、運輸省認定車で、車輛保安基準に合致し、一般公道を走れる状態のもので、次の保安部品を装着していなければならない。

登録番号プレート、ライト、スピードメーター、クラクション、フラッシャーランプ、バックミラー、ブレーキランプ、消音器等。

なおガラス類には飛散防止策を施さなければならない

## 2. 競技が一般公道を使用しない場合の車輛の改造限度

出場車輛の銘柄、型式は規定しない。

## 1) 国際A級部門

改造の仕上げ、調整をする場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 騒音はMFJ方式による測定方法で、80db(A)以下でなければならない。

MFJ方法とは、排気管後方15m、地上1.2mの位置にマイクロフォンを設置し、排気量別に下記の



回転数でエンジンを回転させているときの静止騒音を測定する方法をいう。

—	～ 80cc	6,000rpm
81cc	～ 125cc	5,500rpm
126cc	～ 250cc	5,000rpm
251cc	～ 500cc	4,500rpm
501cc	～ —	4,000rpm

(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

## 2) 国際B級、ジュニア、ノービス部門

出場車輛は国内、国際的に市販されているモーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。なお、輸入車輛にあつてはMFJに申請しなければならない。その銘柄、型式の詳細は公示に示される。改造の仕上げ、調整をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 騒音はMFJ方式による測定方法で80db(A)以下でなければならない。

MFJ方式とは、排気管後方15m、地上1.2mの位置にマイクロフォンを設置し、排気量別に下記の回転数でエンジンを回転させているときの静止騒音を測定する方法をいう。

—	～ 80cc	6,000rpm
81cc	～ 125cc	5,500rpm
126cc	～ 250cc	5,000rpm
251cc	～ 500cc	4,500rpm
501cc	～ —	4,000rpm

(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

## 3. 仕様

### 1) 排気管および消音器

排気管および消音器は規定の騒音規制値を満足していなければならない。

### 2) タイヤ

(1) タイヤはMFJに公認申請をおこない、承認されたものでなければならない。

ただし、国際A級部門は、MFJ公認規格に合致していれば、この限りではない。

(2) タイヤに改造を加えてはならない。

(3) タイヤにチェーン、スパイク等を加工装備してはならない。

### 3) クラッチおよびブレーキレバー、ペダル

(1) クラッチレバーおよびブレーキレバーはその末端が直径19mm以上の球状に作られ、容易にとれるもの

であつてはならない。

(2) ブレーキペダルおよびギアシフトレバーの位置は自由である。ただし、その先端は安全上丸められていなければならない。

### 4) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていなければならない。

### 5) フェンダー

前後輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

## 4. 競技用ナンバープレート

競技が一般公道を使用しない場合、競技用ナンバープレートを装着しなければならない。

### 1) ナンバープレートの寸法

ナンバープレートは第1図に示す大きさのものでなければならない。

### 2) 取り付け方法

ナンバープレートは1枚を車輛の前面に見えやすいように前向きに取り付けなければならない。

### 3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次のとおりである。

ノービス部門——白地に黒文字

ジュニア部門——黄地に黒文字

国際B級部門——黒地に黄文字

国際A級部門——赤地に白文字

(第1図 ナンバープレート)



### 4) ナンバープレートの字体

ナンバープレートの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であつてはならない。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

なお、国際A級及び国際B級については第1図に示すようにプレート下部に記名しなければならない。

(5) 他のライダーに迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

## [5] ライダーの装備

### 1. ヘルメット



- 1) ヘルメットは、日本工業規格JIS1種以上のものでMFJが公認したものでなければならない。
- 2) MFJの公認したヘルメットには認証マークが貼付されている。
- 3) 競技会の車輛検査受付時にヘルメットの検査がおこなわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。
- 4) MFJ公認の認証マークの貼付されていないヘルメットについては、ペナルティ料金(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

## 2. ライダーの服装

- 1) 下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- 2) 手袋および足首以上を保護する突出部品のない皮靴またはゴム靴を着用しなければならない。

## 〔6〕 コース

- 1) コースには次のコースマークが設定される。
  - (1) 右折(ターンライト) 赤いカードに“R”の黒字
  - (2) 左折(ターンレフト) 青いカードに“L”の黒字
  - (3) 直進(ストレート・オン)  
白いカードに“S O”の黒字
  - (4) 一般公道を使用する場合は、上記カードの他に、交差点の手前50mに進行方向を予告するカードが設定される。

## 〔7〕 セクション

- 1) セクションの表示  
セクションは次のセクションカードおよびテープで表示される。
  - (1) 入口 右側 赤地にセクションナンバー  
左側 青地に“Section Begins”または“IN”
  - (2) 途中 右側 赤いカード  
左側 青いカード
  - (3) 出口 右側 赤地にセクションナンバー  
左側 青地に“Section Ends”または“OUT”
- 2) セクションの幅
  - (1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、カードによって制限する場合は1.2m以上なければならない。
  - (2) 同じ側のカードとカードの間を迂回することはで

きない。

### (3) 採点区間

セクションにおける採点は、前輪のスピンデル(車軸)がセクション入口のカードを過ぎた時点から開始され、前輪のスピンデルがセクション出口のカードを過ぎた時点で終了する。

## 〔8〕 タイムキーピング

- 1) ライダーは、あらかじめ抽選で決められた順序により、1分間隔でスタートする。  
決められたスタート時刻に遅れたライダーに対してはペナルティが課せられ、20分以上遅れた場合は失格となり、スタートすることができなくなる。
- 2) コース走行時の平均速度は原則として20km/h以下とする。
- 3) ライダーには全コースを走破するための時間が与え





## 付則3

られ、これに遅れてゴールしたライダーに対してはペナルティが課せられる。

- 4) 全コースを走り終えたライダーはゴール地点でチェッカーを受け、タイムチェックを受けなければならない。決められた持ち時間をオーバーしてゴールしたライダーに対してはペナルティが課せられ、特別規則に示された規定時間までにゴールしないライダーはすべてリタイアとみなされる。

### [9] 競技の進行

- 1) スタートの合図を受け、初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セッションへのライダーの進入順序は自由であるが、オブザーバーによって指示された場合はこれにしたがわなければならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークにしたがっておこなわなければならない。
- 4) ライダーはセッションに入る準備ができ次第、手を上げてオブザーバーに合図しなければならない。
- 5) オブザーバーの指示により、速かにセッションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速かにセッション外へ車輛を移動させなければならない。

7) ライダーはセッション内で一切の援助を受けてはならない。ただし、フルペナルティを受けたライダーはこの限りではない。

8) 競技中、車輛の整備はライダー自身でおこなわなければならない。これに違反した場合は失格となる。

競技中、事故を起した場合や車輛の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速かに役員に申し出なければならない。

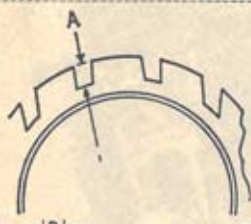
### [10] ペナルティ

1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。

- |             |       |
|-------------|-------|
| (1) クリーン    | 0点    |
| (2) 足つき1回   | 1点減点  |
| (3) 足つき2回   | 2点減点  |
| (4) 足つき3回以上 | 3点減点  |
| (5) 失敗      | 5点減点  |
| (6) 放棄      | 10点減点 |

2) タイムキーピングによるペナルティは次のとおり課せられる。

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| (1) スタートの遅れ1分につき           | 1点減点 |
| (2) 予定されたスタート時間に20分以上遅れた場合 | 失格   |
| (3) 最終タイムチェックの遅れ1分につき      | 1点減点 |



### ☆トライアルタイヤ公認規格

トライアル競技に使用するタイヤは下記各項をみだし、MFJに公認申請を行ない、承認されたものでなければならない。

- A: トレッドの深さ  
トレッド面に直角に測って13mm以内であること。同一円周のすべてのスタッドの深さは同一であること。
- B: トレッドの幅  
タイヤの幅方向では9.5mm以内であること。
- C: トレッドの幅  
タイヤの円筒方向では13mm以内であること。
- D: 肩部スタッドのスペース  
22mm以内であること。
- E: トレッドのさしわたし寸法  
タイヤウォールに直角に測った場合、タイヤの全幅に及んでいてはならないが、スタッドによって中断されている場合はこの限りではない。



- 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは次のとおり課せられる。
- |                                |        |
|--------------------------------|--------|
| (1) 役員に対する不適当な態度               | 100点減点 |
| (2) セクションにおいて役員<br>指示に従わなかった場合 | 10点減点  |
| (3) 定められたコースを不適当<br>にカットした場合   | 50点減点  |

## [11] ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は次のとおりとする。

- 1) 足つき
- (1) ライダーの身体のどの部分でも地面に着地した場合。
  - (2) 車輻およびライダーのどの部分でも、立木、岩または土の壁面等の障害物にもたれかかった場合。
- 2) 失敗
- (1) 停止=前輪が前進を止めた場合。(足をつかなかった場合は停止としない。ただし、ライダーが支えなくても、それ以上車輻が姿勢を変えない状態になった場合は停止とする。)
  - (2) 降車=ライダーが車輻から離れる状態になった場合。
  - (3) クロス=ライダー自身の車輻のわだちちに再び触れたり、これを踏みつけたり、越えたりした場合。
  - (4) マーカー移動=セクションを表示するものを車輻で破損または移動させた場合。
  - (5) セクション・アウト=車輻の前輪・後輪のいずれか一方でもセクションを表示するものの外側を通過した場合。および迂回した場合。
  - (6) 援助=第三者の援助を受けた場合。
- 3) 放棄
- (1) セクションを走行しなかった場合。

## [12] 競技結果

- 1) 総減点数の少ないものから順位を定める。
- 2) ワンデイトライアルの場合は、原則として当日の競技結果の発表を公式とする。
- 3) 2日以上にわたって競技が行なわれる場合は、競技終了日より一週間以内に公式結果が発表される。

## [13] 同点者の判定

- 1) 同点者の判定は、次の判定順序に従っておこなう。
  - (1) クリーン数の多い者を上位とする。
  - (2) 1点減点の多い者を上位とする。
  - (3) 2点減点の多い者を上位とする。
  - (4) 3点減点の多い者を上位とする。
  - (5) 以上によって決定できない場合は同位とする。
- 2) 主催者の権限によりスペシャルステージ等で判定する場合もある。

## ●トライアルの減点は

0-1-2-3-5-10

トライを放棄すれば減点10/ それ、ゴー

減点ゼロ  
おみごと/ クリーンです

減点1  
残念、足つき1回

減点2  
無念なり、足つき2回

減点3  
足バタバタ3回以上

減点5  
ミスりました。失敗です

時間厳守とフェアプレーの精神で



# トライアル

## '82全日本選手権大会特別規則

全日本選手権トライアル大会は、日本モーターサイクル協会（MFJ）公認のもとに、MFJ国内競技規則にしたがい開催される。本特別規則は、1982年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。



### 特別規則の内容

- |  |                              |
|--|------------------------------|
| [1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間.....67 | [13] 出場受付.....68             |
| [2] 公式通知、タイムスケジュール.....67              | [14] 車輛検査.....69             |
| [3] 開催種目.....67                        | [15] ライダー.....69             |
| [4] 運営実行組織.....67                      | [16] 練習.....69               |
| [5] 参加者およびライダー.....67                  | [17] スタート.....69             |
| [6] 出場申込み.....68                       | [18] ゴール.....69              |
| [7] 出場料およびMFJ選手共済費.....68              | [19] 車輛保管.....69             |
| [8] 賞および得点.....68                      | [20] 競技会の延期、中止およびうち切り.....69 |
| [9] 出場車輛.....68                        | [21] 抗議.....69               |
| [10] 競技者番号（ナンバー）.....68                | [22] 参加者の遵守事項.....69         |
| [11] ライダーの装備.....68                    | [23] 本規則の違反、裁定.....69        |
| [12] ガソリンおよびオイル.....68                 | [24] 本規則の解釈.....69           |
|  | [25] 本規則の施行.....69           |



# '82全日本選手権大会特別規則

## [1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

日 程	大 会 名 称	主 催 (出場申込み先)	開 催 場 所	出場申込み期間
2月14日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 関西トライアル大会	MFJ関西トライアル委員会 ☎675 兵庫県加古川市野口町良野 261-3 ☎ 0794(23)2335	奈良県 生駒バイアルス パーク (旧生駒テック)	1月15日(金) 25日(月) 消印有効
3月7日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 中部トライアル大会	MFJ中部トライアル委員会 ☎470-01 愛知県愛知郡東郷町諸 輪字東脇59-99 鈴木唯一気付 ☎ 05613(8)0736	三重県 鈴鹿サーキット トライアル場	2月5日(金) 15日(月) 消印有効
3月21日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 九州トライアル大会	MFJ九州トライアル委員会 ☎811-02 福岡県福岡市東区下和 自7-3 吉田龍二気付 ☎ 092(607)4656	大分県速見郡日 出町 百合野牧場	2月19日(金) 3月1日(月) 消印有効
4月11日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 四国トライアル大会	MFJ四国トライアル委員会 ☎780 高知県高知市中宝永町3-1 11 川竹健二気付 ☎ 0888(83)7736・4041	高知県高知市 正蓮寺オートラ ンド	3月12日(金) 22日(月) 消印有効
5月9日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 関東トライアル大会	MFJ関東信越トライアル委員会 ☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03(472)6241	栃木県 鶏頂山スキー場	4月9日(金) 19日(月) 消印有効
6月20日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 東北トライアル大会	MFJ東北トライアル委員会 ☎982 宮城県仙台市長町3-3-10 ホンダ宮城販売㈱内大友克人気付 ☎ 0222(47)0123	秋田県 荒川鉱山跡地	5月21日(金) 31日(月) 消印有効
9月19日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 北陸トライアル大会	MFJ北陸トライアルスポーツ委 員会 ☎930 富山県富山市藤木521-1 富山県軽自動車協会内 ☎ 0764(24)6420	富山県 極楽坂スキー場	8月20日(金) 30日(月) 消印有効
11月7日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 第10回日本グランプリ トライアル大会	日本モーターサイクル協会 (MFJ) ☎104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル ☎ 03(561)8566	山形県米沢市 栗子国際スキー 場	9月28日(火) 10月8日(金) 消印有効

## [2] 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

## [3] 開催種目

### 1. オブザベーション・トライアル

付則3[1](61頁)参照。

- 1) 全日本選手権の対象部門は、国際A級部門および国際B級部門とする。ただし、大会当日ジュニア部門の地方大会が併催されることもある。
- 2) セクション数およびタイムキーピングの方法について

ては、公式通知に示される。

- 3) 日本GP大会はジュニア選抜競技がおこなわれる。

## [4] 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

## [5] 参加者およびライダー

### 1. 参加資格

- 1) 1982年版MFJ国内競技規則、総則[4](15項)に合致していなければならない。
- 2) 日本GP大会以外の大会では、国際A級部門および



国際B級部門のみとする。ただし地方大会として併催されるジュニア部門はこの限りではない。

### 3) 日本GP大会

(1) ジュニア部門 各地方選手権ランキング上位の者  
で次に示す人数。

北海道=4名 東北=8名 関東=15名  
中部=10名 北陸=3名 関西=10名  
中国=3名 四国=5名 九州=7名

注：地方選手権シリーズには、大会ごとに総則〔8〕(16頁参照)に示された得点が与えられ「全日本選手権ランキングの決定の方法」(86頁参照)に準じて地方選手権ランキングが決定される。(他ブロックに所属する者にも得点は与えられる。)

## 〔6〕 出場申込み

1. 全日本選手権シリーズ大会出場申込み書(ジュニア部門の地方大会併催、日本GP各地方選抜者用も含む)に必要な事項を記入の上、出場料およびMFJ選手共済費を添えて提出しなければならない。

### 2. 参加定員

- 1) 特に定めがないが、併催ジュニア部門については主催者の判定により制限される場合がある。
- 2) 日本GP大会については参加資格に示された選抜規定による。

## 〔7〕 出場料およびMFJ選手共済費

出場料 5,000円

(MFJ選手共済費200円を含む)

## 〔8〕 賞および得点

### 1. 賞

- 1) 付則3. トライアル規則〔3〕(61頁参照)にもとづいて授与される。

その他の賞の詳細は公式通知に示される。

- 2) 国際A級、及び国際B級部門全日本ランキングの得点。

(1) 得点は総則〔8〕の1., 2. (16頁参照)によって与えられる。

(2) 日本GPトライアル大会については、上記の得点にさらに3点が加算される。

(3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。

(4) その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法(86頁参照)に示される。

## 〔9〕 出場車輛

車輛は、付則3〔4〕2.および3. (61, 62頁参照)を遵守しなければならない。

## 〔10〕 競技者番号(ナンバー)

1) 国際A級、国際B級部門のライダーには年間指定ナンバーが割当てられる。(ライディング82年3月号=No.140号参照)

2) 併催する他部門のライダーには主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。

3) 主催者から特に指示がない場合は、車輛検査までに規定の書体および色分けでナンバーを記入しなければならない。

4) ナンバーの状態は、車輛検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合に修正が要求される。

5) 競技中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せず、また間違ったゼッケンを装着して走行した場合は、そのトライは記録されない。

## 〔11〕 ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメットは、付則3〔5〕(62頁参照)による。

## 〔12〕 ガソリンおよびオイル

1) ガソリンおよびオイルは総則〔12〕(22頁参照)による

2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された場合は、当該ガソリンを使用しなければならない。

## 〔13〕 出場受付

1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。

2) 出場受付は、定められた時間内に、かならずライダー本人が出頭し、運転免許証(又は、自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書でも可)、MFJライセンス、健康保険証、参加受理書を提示して、当日の出場資格を確認しなければならない。

3) 運転免許証(又は、自動車安全運転センター発行の運転記録証明書、高等学校発行の免許証保管書でも可)を所持していない者は原則として出場が認められない。

4) MFJライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(3,000円)を支払い、更に



その場でMFJ登録料、ライセンス料を支払い、仮登録しなければならない。

なお、後日MFJ事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。

## [14] 車輛検査

- 1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、競技開始前にパドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- 2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) 車輛検査への持込み台数は1台に制限される。
- 4) 車輛検査において、規則または安全上出場が不相当と判定された車輛は、一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車輛の検査をおこなうことがある。

## [15] ライダー

- 1) ライダーおよび出場車輛の変更は原則として認められないが、総則[14] (22頁参照)に該当する場合は出場受付終了以前に手数料5,000円を添えて申請しなければならない。

## [16] 練習

大会当日コースおよびセクションのいかなる場所においても練習は禁止される。これに違反した選手は失格とする。

## [17] スタート

原則としてスタート順位は抽選によって決められる。

## [18] ゴール

予定されたゴール時間に20分以上遅れた場合は失格とする。

## [19] 車輛保管

- 1) 車輛検査後スタートまで、およびゴール後主催者から保管解除の通知があるまでは車輛は指定された区域に保管されなければならない。
- 2) 入賞車は、暫定結果発表後原則として30分間以上保管され、必要に応じて検査される。

## [20] 競技会の延期、中止およびうち切り

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更

または延期されることはない。

- 2) 大会審査委員会が、特別な理由によって競技の延期または放棄しなければならないと判断したときに限り競技を延期または中止することができる。
- 3) 大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、保険料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## [21] 抗議

競技結果に対するいかなる抗議も受付られない。

## [22] 参加者の遵守事項

監督、ライダー、メカニック、ヘルパーなど参加者は次の事項を守らなければならない。

- 1) 本競技大会は、MFJ国内競技規則にのっとり行動し、参加者はすべての行動に対して責任をとらなければならない。
- 2) 参加者はすべて本競技会特別規則にのっとり行動すること。従って、違反者はすべて5,000円の罰金か、または失格、さらには退場に至る罰則が課せられる。
- 3) 国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定や競技役員への指示にしたがい、かつ公道上では交通法規を守るものとする。
- 4) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 5) 競技期間中は飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 6) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、ライセンスを必ず携帯しなければならない。

## [23] 本規則の違反、裁定

本規則に対する違反は大会審査委員会が決定し、罰則が適用される。裁定後はいかなる理由といえどもこれにしたがわなければならない。

## [24] 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、事務局あて質議申立てができる。なお、この解答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## [25] 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。

なお、本規則に示されていない事項は、MFJ国内競技規定による。

昭和57年1月1日

大会事務局長



# ミニバイク競技会

## 指導要綱(総則)

日本モーターサイクル協会(MFJ)は、本競技会の国内管理体と、モータースポーツ管理の必要に鑑み本指導要綱を定める。すなわち、健全な競技会を育成して、各競技の適切な規則を作成し、公平な競技プログラムと、競技に際しての安全性を促進することである。

この規則は、すべての人が安全性に関心を持つようにするため制定するものであるが、この規則にしたがうのは主催者の義務である。さらに、競技への参加者は、規則および安全性を適切に評価したうえで競技に参加しなければならない。

### 〔1〕 適用の範囲

本ミニバイク競技規則は、ミニバイク競技会に適用されるが、この規則に関連する全般の解釈は、MFJ国内競技規則にもとづき競技会主催者の判定および解釈を最終のものとする。

### 〔2〕 ミニバイク競技の規則

#### 1. ミニバイク競技車輛

ミニバイクとは、17インチ以下のホイール(リム)を装着した、エンジン排気量80cc以下の車輛をいう。このミニバイクには一般市販の通常型とスポーツ専用型がある。

#### 2. クラスの区分

クラス区分は50ccと80ccの2クラスとする。

クラス	最小排気量	最大排気量
50cc	—	50ccまで
80cc	51cc	80ccまで

#### 3. 参加資格

ミニバイク競技会に参加し、出場するライダーの資格は16歳以上のMFJ会員Bライセンスを所持している者とする。ただし、20歳未満の者には親権者、もしくは保護者の同意承諾書を提出しなければならない。

#### 4. 参加受理

参加申込み書および参加料(保険料を含む)の受領をもって参加を受理する。また、いったん受領した参加料はいかなる理由があっても返却しない。

#### 5. 男女の同一性

ミニバイク競技、または行事の参加について“性による差別”はつけられない。すべての参加者は、同一のルールのもとに、規則に定められた適切なクラスで競技しなければならない。

### 〔3〕 出場者の区分およびレース区分

出場者の区分は初心者(ビギナー)、中級技量をもったノービス、上級技量を備えるエキスパートの3段階に分け、ビギナーおよびノービスはBライセンス所持者とする。ただし、ビギナー部門の参加は優勝経験者を除く。またエキスパート部門はノービス、ジュニア、国際Aまたは国際Bのライセンスを所持するものに限られる。(右ページの表参照)

### 〔4〕 改造の限度

車輛は、すべてMFJ公認のものでなければならない。

#### 1. ビギナーおよびノービス

各クラスの排気量に合致し、リムサイズ17インチ以下の一般市販モデル(スポーツ専用型も含む)車で、改造はいっさい認められない。

#### 2. エキスパート

各クラスの排気量に合致し、リムサイズ17インチ以下の市販されている車輛であること。

- 1) エンジン公認されたものでなければならないが、改造は、冷却方式の変更を含んですべて自由とする。
- 2) 車体の改造については、ミニバイクの限度を超えてはならない。



## 〔5〕騒音規制

騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

- 1) 車輻には、有効かつ外見ですぐにマフラーと分かる消音器が装着されていなければならない。
- 2) ビギナーおよびノービス部門については、マフラーの改造はいっさい認められず、騒音も車輻の公認された状態のままではなければならない。

- 3) 騒音はFIM（国際モーターサイクリスト連盟）方式による測定方式で、110db(A)以下でなければならない。
- 4) FIM方式とは、排気出口の後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークエンジンで11m/s、2ストロークエンジン13m/sでに達するエンジン回転のときの騒音測定方法である。

資格	クラス	条件	ライセンス
ビギナー (初心者)	50cc 80cc	16歳以上の初心者を対象とする（優勝経験者は参加出来ない）	Bライセンス所持者
ノービス (中級者)	50cc 80cc	上記よりの移行者、及び主催者が出場を認めた者を対象とする	Bライセンス所持者
エキスパート (上級者)	50cc 80cc	上記よりの移行者、及びノービス以上のライセンス所持者	ノービス ジュニア 国際A、B } ライセンス所持者

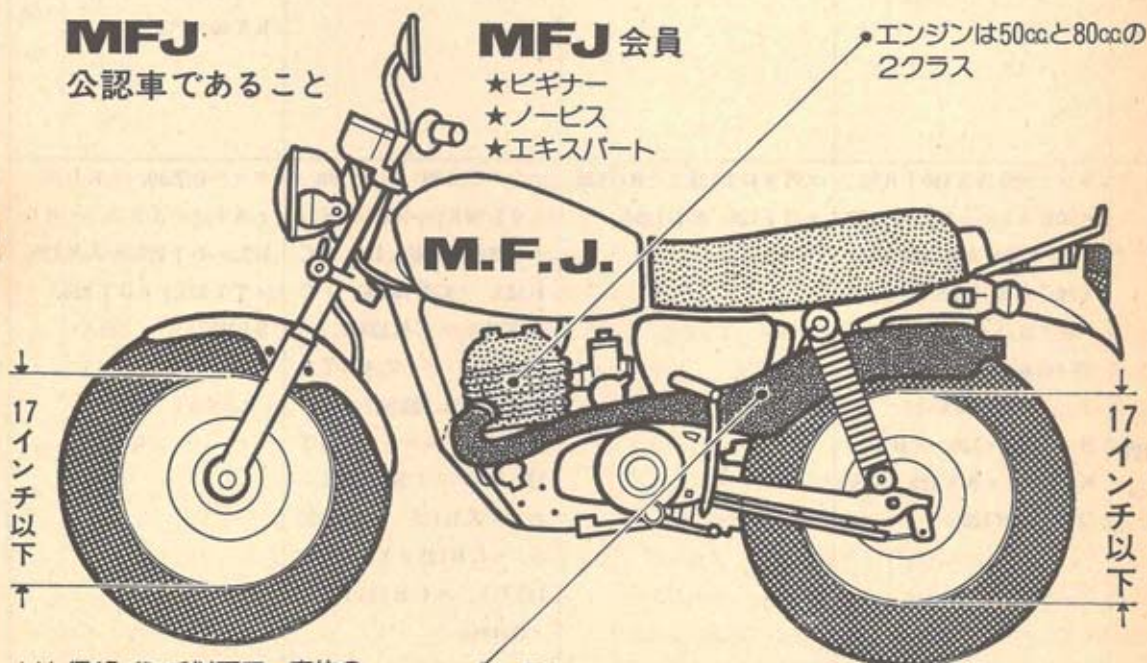
## ●これがミニバイクの規定だ

**MFJ**  
公認車であること

**MFJ 会員**

- ★ビギナー
- ★ノービス
- ★エキスパート

エンジン50ccと80ccの  
2クラス



リム径17インチ以下で、車体の改造は、いわゆるミニバイクの限度を越えてはならない

- 一見してマフラーとわかるもの
- ★ビギナーおよびノービス部門はマフラーの改造は不可



## MFJ公認車輛

## ●一般市販車

CC	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
50 cc		スズキRG50E	ベンリイSS50, *CB50 JX-1(CB50J), ダック スホンダST50, ホンダX E50, *XE50-II, バイ アルスTL50, ホンダモン キー, ホンダゴリラ, ホン ダMB50, *MT50, *X L50S	ヤマハMR50, *FX50, *RD50, *TY50, ミニ G50, *GR50, ミニトレ GT50II, ヤマハMR50II, *RD50S, *RD50SP, *RX50スペシャル, *Q B50, *QA50, *RZ50
80 cc		スズキRG80E	ホンダCL65, ダックスホ ンダST70, ホンダXE75, *XE75-II, *XL80S, *MB8	メイトV70S, (D, ES, ED), ヤマハTY80, ヤマ ハミニGT80, *GR80, *GT80II, *MR80, * RX80スペシャル
125 cc	カワサキGA4(90TR), *90G1L, *90GA1(90 S), *90GA2(90SS) *90GA3(90SSS), *G8S, *G6, *KE 90(G6), *KC90(G8 T, *KM(MC1), * B1-T, *120, *B1, KC125, *KE125(KS 125), KH125	スズキGT125, *RG125, *GT125, RG125E	ホンダCS90, *SL90, *CL90K, *SL90K, *CB90, *CL125, *C B125, *CB125S, *C D125K, *CL125K, * CB125, バイアルスTL 125, *TL125S, *TL 125K2, エルシノアMT 125, ベンリイSL125S, ホンダXL125, *XL125 S, *CB125JX, *CB 125T1, *CB125JX, *ihatovo	ヤマハDT90, *RD90, *A7, *AS2, *RD 125, *DT125, *AX125, *TY125, *DT125, * SR125



## ●一般市販車

CC	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
250 cc	カワサキ175B11L, * B 11TL, * 250SS, * K H250, * KL250A, * Z 250FT	スズキGT250, * GT185, * RG185, * RG250, R G250E, GSX250-E, * GSX250T	ホンダCB175, * CL250, * CB250, * エルシノア MT250, ホンダTL250, * XL250, * CB250T, * XL250S, * CB250R S, スーパーホーク, CB 250RS-Z, SILK RO AD CT250S, XL250R, 250T MASTER, 250T LA CUSTOM	ヤマハRD250, * トライア ルTY250J, * TY175, * GX250, * GX250SP, SR250, * XS250スペシ ヤル, * RZ250, * XT250
350 cc	カワサキ350SS, * F5 (350-TR), * S2T		ホンダCL350, * SL350, * CB350	ヤマハRX350, * RX350 PRO, * RD350, * RZ 350
750 cc	カワサキ500SS, * 650 W1, * 650スペシャル, * 750SS, * Z2, * H 1, * S3, * KZ400, * Z400, * KH400, * Z750 TWIN, * 750FOUR, * Z650, Z400LTD, * Z400FX	スズキGS400, * GS750, * GS550, * SP370, * GL400, * GSX400E, GSX750E, * GN400E * GSX400L, * GSX 400F, * GS650G, GS 750GL, GSX400T	ホンダCB450K1, * CB 500, * FII, * CB750, * F2, * CJ360T, * C B400F, * FI, * FII, * CB500T, * CB500F, * K3, * C750K7, * FII, ホークCB400T, ホンダGL400, ホークII, * III, スーパーホークIII, ホンダCB750K, * 750F, * CB650, * CM400T, * XL500S, * WING GL 400, * WING CUSTOM GL400, CBX400F	ヤマハ650XS1, * TX500, * TX650, * TX750, * DT400, エンデューロXT 500, ヤマハRD400, * G X500, * GX750, * GX 400, * GX400SP, * S R400, * SR500, * XS 650スペシャル, * XS750 スペシャル, * XJ400, * XS400スペシャル, * XJ 650スペシャル, XV750ス ペシャル, XJ400D, XJ 400スペシャル, XJ750E, XJ750A, XV750E



# 付 録

## ●ロードレーサー

CC	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
125 cc			ホンダMT125R (325) ホンダMT125R-II ホンダMT125R-III ホンダ・アール・エス・シー RS125R-W, RS125R	ヤマハTA125 ヤマハTZ125
250 cc			ホンダRS250R	ヤマハTZ250 (430) ヤマハTZ250-II (430) ヤマハTZ250-III ヤマハTZ250W
350 cc ↓ 500 cc		スズキRG500		ヤマハTZ350 (430) ヤマハTZ250-II (383) ヤマハTZ350-III ヤマハTZ350W ヤマハTZ500

## ●モトクロス(※=トライアラー)

50 ↓ 80 cc	カワサキKX80, KX80D	スズキRM50 スズキRM80	ホンダXR80 ホンダCR80R	ヤマハYZ50 ヤマハYZ80
100 ↓ 125 cc	カワサキKX125 カワサキKX125A カワサキKX125B	スズキRM125	エルシノアCR125M エルシノアCR125M1 ホンダCR125M2 ホンダCR125M3 ホンダCR125R	ヤマハYZ125III, IV ヤマハYZ125(2Y5, 3N8) ヤマハYZ125
175 ↓ 250 cc	カワサキF21M カワサキKX250 カワサキKX250A カワサキKX250B	スズキRM250	エルシノアCR250M エルシノアCR250M1 ホンダCR250R ホンダXR200R ※ ホンダRSC RS200TS	ヤマハYZ250-II (509) ヤマハYZ250III ヤマハYZ250IV ヤマハYZ250
350 ↓ 500 cc		スズキTM400		

## ●トライアラー ( )内は一般市販車

カワサキKT250	スズキRL250L (スズキトライアルRL250)	(バイアルSTL125) (バイアルSTL125K2) (バイアルSTL125S) ホンダTL250 (バイアルSTL50) ホンダTL200R ホンダTL200R-II ホンダTL220R-II ホンダRS200T	(ヤマハTY50) (ヤマハTY80) (ヤマハTY125) (ヤマハTY250J) (ヤマハTY250-II) (ヤマハTY175) (ヤマハTY50-II)
-----------	------------------------------	--	--



## M F J 公 認 輸 入 車 輛

CC	スウェーデン	チエコ	イタリア
125 cc	ハスクバーナ125CR		モリビアリMBA145 (柳モリワキエンジニアリング) マランカ125E2C (日新通商機)
250 cc	ハスクバーナ250CR	ヤワZZ250 (仮公認)	ベネリ250QUATTRO (機成川商会)

## F I M 公 認 車 輛

カテゴリー	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
Formula 1	KZ650, KZ750 KZ750 (Z2) KZ1000J	GS1000S GS1000E GSX750EX PE400	CB650(RCO3) CB750FZ(RCO4) CB900C(SCO4) CB650(RCO3) CB900F CB900C(SCO4) CB750K CB750F2 CB750FZ(RCO4)	XS850 RD400E XV1000 XV920 XJ750 XJ650 IT425
Formula 2	KZ500 KZ550		CB550F2 CX500	XJ550 SR500 XT500 RD350
Formula 3	KZ400	GSX250EX GSX400EX GSX400EX	CB400N CB400F1	RD250 SR250 XT250 XJ400

## ●(フォーミュラ750レース用)

銘柄	年式	車名	排気量cc	銘柄	年式	車名	排気量cc
B.M.W.	61	R69S	590	Moto-Guzzi	70	Ambassador mba	750
	70	R75/5	745		M.V. Agusta	70	M.V4C7
	73	R75/6	745	Norton		62	Atlas
B.S.A.	62	A65 Royal Star	650		64	Scrambler	750
	64	A65-1T Thunderbolt	650		67	P-11	750
	64	A65-2L Lightning	650		71	Commando "S"	745
	64	A65-2SPH Hornet	650		76	Challenge	747.58
	69	A75 Rocket3	749		Suzuki		Export
	71	A75V	740	Norton			Commando
71	A70L	750				Command Racer	750
Ducati				Triumph	63	TR6C/TR6R	650
Dunstall					69	Trident T150	750
Goegebeur & Vigoni	74	GILA/Kawasaki	750		70	T120/RT	750
					71	T150V	740
						Bonneville	650
H・D	52	KR	750	Konig	76	VDM	680
	52	KRTT	750		Laverda		SF
	70	XR	748				
	71	XR750	749				



M F J 公 認 部 品

● 川崎重工業(株)

GAキットパーツ  
KA1レーシングパーツ (ブレーキ)  
KA2レーシングパーツ  
H2レーシングパーツ  
Z2用オイルクーラーアッセンブリー  
Z2用前輪右ディスクブレーキ

● 鈴木自動車工業(株)

RL250キットパーツ  
RM125-II, RM250オプションキットパーツ (含むリヤクッション)  
RG500スペシャルRCU

● (株)ホンダRSC

CB90, CB250, CB350, CB750, キットパーツ  
CB125S用6速ミッション  
CB125用フロントおよびリヤブレーキ  
CB350用6速ミッション  
MT125R水冷エンジンキットパーツ

● (有)モリワキエンジニアリング

水冷シリンダーキット, ホンダJX125用MRE,  
ホンダMT125R水冷キットパーツ (NeW100-01)

● 野口モーターズ(株)

YZ125用水冷シリンダーキットMX用NSW-1, RR  
用NSW-2

● (株)ヨシモト

TZ125ミッションキット

● (株)無限

CR125R用エンジンパワーアップキットME125RZ  
CR125R用エンジンパワーキット (シリンダー)  
ムゲンME125A1 スーパープロキット  
ムゲンME250A1 スーパープロキット  
ムゲンワークスME125W水冷キット  
ムゲンワークス水冷BANZAIキット  
ME250WIムゲンワークス水冷スーパープロキット

● テクニコムミスターヒロ

カワサキKH125用水冷キットパーツ  
カワサキKH125用トランスミッションセット

● 岩道モーターズ

カワサキKX125用水冷キットパーツKX125AW

M F J 承 認 部 品

● 萱場工業(株)

リヤクッションユニット Fシリーズ(ガス封入式調整式)  
" Mシリーズ(別タンク付ガス封入式)  
" TSシリーズ(オイル複筒調整式)  
" TS-Sシリーズ(オイル複筒調整式)  
" MGSシリーズ(ガス封入単筒調整式)  
" MGS-Sシリーズ(ガス封入単筒調整式)  
" MGシリーズ(ガス封入単筒式)  
" MSシリーズ(オイル複筒式)

● ライダースポットタイチ

フォクスエアショックス (MX用)  
オーリングスショックス (MX用)

● (株)極東

コニー・リヤクッションアブソーバ (油圧式KONIS  
ベシアルD)


● (有)極東精機製作所

クリーニングキャップ(160×60, 125×60, 115×60)

● (株)無限

ムゲンSHOWAワークスフロントフォークキット






バイクフリークの  
熱い視線を浴びて、  
オールグラビアのニュー  
バイク・マガジンここに誕生!

ON & OFF

ACTION BIKE MAGAZINE

# ロードライダー



走りの楽しさ、メカの面白  
さ、バイクライティングに  
密着した企画が、ビジュア  
ルな大型誌面に展開。ベテ  
ランのレポーターとカメラ  
マンが「男のバイクワール  
ド」を作り出す。

2月27日 4月号創刊

●A4判変 172ページ 定価380円

## 《創刊号の内容》

巻頭特集＝ホンダF750ついに登場

世界初の90度V型水冷4気筒、華麗にデビュー

特集＝バイク個性アップ作戦

ボアアップとパーツ交換でひと味違ったトリアルバイクに、  
オール400マルチの「個性チェック」出前バイク3モデルサーキ  
ットフルテスト

特集＝新車ラッシュ本番／ニューモデル総登場

ライダーズカタログ「皮、綿製品から合成繊維までオールツナ  
ギ・カタログ」

創刊記念＝バイク用品大プレゼント

立風書房

東京都品川区東五反田3-6-18  
振替東京5-74493 TEL447-1191



# NUMBER ONE. ¥45,000

全日本モトクロスチャンピオンシップで上位独占!!

NO. 1



NO. 874



NO. 852



alpinestars

アルパインスター日本総代理店

ライダーズ スポット タイチ

大阪府大東市中垣内 7-700-1 TEL. 0720-74-3268

## OFF ROAD MACHINE SHOP



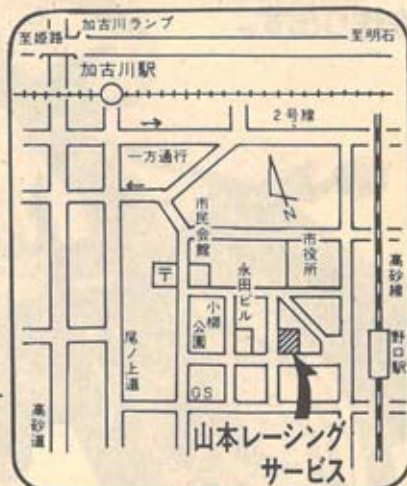
### Yamamoto Racing Service

各機種林道マシン製作

- " トライアルマシン販売
- " モトクロス "
- " スペシャルパーツ販売
- " 外車販売

- 通信販売
  - ローン販売
  - 下取り販売
- のいずれでも  
販売OK!!

※TL・TYの下取り歓迎します。



代表者 山本 隆

# 山本レーシング







SHOEI

# '82年シヨウエイ賞

グランドチャンピオンになって、  
海外レース視察に行くのは、誰だ。

常に一流ライダーたちから信頼され、愛されつづけてきたシヨウエイのヘルメット。そのシヨウエイが「日本のモーターサイクルの発展に、少しでもお役に立ちたい」という主旨で設けたシヨウエイ賞も、今年でよいよ3年目をむかえることになりました。年々充実するシヨウエイ賞は、今ではすっかり国際A級ライダーたちの注目の的。82年は賞金をさらにアップしてライダーたちの開志にお応えします。ロードレース、モトクロス、トライアルの全日本選手権シリーズの各イベントに1,800万円を。そして年間を通しての、シヨウエイ賞のグランドチャンピオン3名には、海外レース視察費としてそれぞれ100万円を贈呈するものです。さあ、今年のグランドチャンピオンは誰か。鍛えぬいた体と磨きぬいたテクニックで、思いきりチャレンジするヒーローを、シヨウエイは今年も待っています。

## 賞金総額 2,100万円

### '82年シヨウエイ賞募集要項

シヨウエイかホンダオリジナルヘルメットを着用し、MFJ公認全日本選手権シリーズの下記イベントに出走し、入賞されたライダーに規定の賞金を贈り、その栄誉をたたえます。

#### ○対象レース区分

全日本選手権シリーズ戦

ロードレース	500cc/350cc/250cc/125cc/スーパーバイク	国際A級 決勝
モトクロス	250cc/125cc/	
トライアル	オープン	

#### ○賞金額 (単位:万円)

ロードレース	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
全日本第1戦-8戦	15	12	10	7	5	3	2	1
全日本グランプリ	15	12	10	7	5	3	2	1
鈴鹿8時間耐久レース	15(30)	12(24)	10(20)	7(14)	5(10)	3(6)	2(4)	1(2)
TBC杯ビッグロードレース	15	12	10	7	5	3	2	1
350ccクラス決勝レース	全日本第1戦-8戦	7	5	3				
	全日本グランプリ	7	5	3				
250ccクラス決勝レース	全日本第1戦-8戦	7	5	3				
	全日本グランプリ	7	5	3				
125ccクラス決勝レース	全日本第1戦-8戦	7	5	3				
	全日本グランプリ	7	5	3				
スーパーバイク決勝レース	全日本第1戦-5戦	7	5	3				
	全日本グランプリ	7	5	3				

モトクロス	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
250ccクラス決勝レース	全日本第1戦-10戦	10	6	4	3	2	1	1
	全日本グランプリ	10	6	4	3	2	1	1
125ccクラス決勝レース	全日本第1戦-10戦	10	6	4	3	2	1	1
	全日本グランプリ	10	6	4	3	2	1	1

トライアル	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
オープン決勝	全日本第1戦-7戦	5	4	3	2	1.5	1.5	1
	全日本グランプリ	5	4	3	2	1.5	1.5	1

#### ○グランドチャンピオン賞対象

ロードレース	500ccクラス	賞金最多獲得者
モトクロス	250ccクラス/125ccクラス	//
トライアル	オープン	//

上記の3名のシヨウエイグランドチャンピオンに、海外レース視察費として賞金各100万円を贈呈します。

#### ○適用期日および条件

- 昭和57年度ロードレース全日本第1戦より最終戦まで。および鈴鹿8時間耐久レース、T.B.C杯ビッグロードレース
- 昭和57年度モトクロス全日本第1戦より最終戦まで
- 昭和57年度トライアル全日本第1戦より最終戦まで

#### ○参加方法および条件

シヨウエイ賞の趣旨に賛同し、賞金制度の適用を望まれる国際A級ライダーの方。特典として、シヨウエイヘルメット、ヘルメットバッグ等を提供します。なお、参加者は、シヨウエイステッカーおよびワッペン等を、ヘルメット・マシン・レーシングスーツに貼付けることが条件となります。

#### ○シヨウエイ賞に参加ご希望の方は

- ①氏名②住所(〒番号)③年齢④電話番号⑤所属クラブ⑥MFJ 会員番号⑦ゼッケンナンバー⑧賞金振込先⑨ヘルメットサイズ⑩参加クラスを明記の上、下記まで、ハガキでお申し込みください。

〒105 東京都港区新橋2-9-2

昭栄化工株式会社

モータースポーツシヨウエイ賞係

シヨウエイヘルメット

昭栄化工株式会社 〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル ☎(502)0301 大阪支店 ☎(451)6060 九州営業所 ☎(092)(421)7048 仙台営業所 ☎(0222)(46)0155 名古屋営業所 ☎(052)(703)3171 東京工場 ☎(314)106 茨城工場 ☎(371)101



## MFJ公認トライアルタイヤ

●(株)日本ダンロップ  
TRIALS UNIVERSAL

2.75-21, 3.00-21, 3.50-18, 4.00-18

## ●横浜ゴム(株)

トレールスポーツ

2.50-18, 2.75-18, 2.75-19, 2.75-21, 3.00-18,  
3.00-19, 3.00-21, 3.25-18, 3.25-19, 3.50-18,  
4.00-18各4 PRY620

## ●井上タイヤ(株)

井上トライアルタイヤ

2.75-19, 2.75-21, 3.00-18, 3.00-21, 3.25-18,  
3.50-18, 4.00-18

## ●輸入タイヤ

ピレリ・モト・トライアル2.75-21, 4.00-18

(前モータースポーツクシタニ)

メツラー・トライアル3.00-21, 4.00-18

(株アオイトレーディングカンパニー)

メツラー・トライアルC2.75-21, 4.00-18 (株岡田商店)

## MFJ公認ヘルメット

JIS T8133-2種以上(ロードレース、モトクロス用)

(株)新井広武	クノー工業(株)	昭栄化工(株)		日栄プラスチック(株)	マルシン工業(株)
R-7G	KH-25	H-1, 2	MT-1 MR	CX-300	M-38, 52
RX-7(X7)	KH-56	SR-X7	GX-R newGV	CX-300P	M-450
RS-Z	KH-100	SR-Z	GX-R custom	CX-320	DX-6
S-70	KH-808	SR-G	GR-X GR-X	CX-500	インディ-500
X-1	Uvex-	SR-T	ES, ES-2.	DX-700	ゼネラル
X-75	Racing Jet	SR-X	HJ-7, HF-7, 8, 9	FF-100	MV-1, 1DX
S-75	Uvex-	newSR-X7			MV-75
M-X	Monte Carlo	RC-1, 2, 7	(株)コミネ オートセンター	メット工業(株)	MG-MOTO
F-X	Uvex-	ZR, ZV	NARVA NJ-1	KX-7	DAYTONA
チャレンジャーS	Champion	ZX, ZE	NARVA NA	立花自動車用品	MG-STAR
アバンティ		GR-Z	NARVA NZ	GT X-1, 2	MV-ZDX
		EX-II, V	NARVA NE		MZ-X
		VR. V	NARVA NE-II		MV-Z
本田技研工業(株)パーツセンター		(株)極東	ユニコ(有)	ライダーズスポットタイチ	ワールド通商(株)
BELL STAR-II		ノランスベースライダー	GPA-G1, 4	NAVA II	KIWI K-7
BELL MAGNUM-II		ノランN31, ノランN32			K-8

## MFJ公認普及型ヘルメット

JIST8133-1種

昭栄化工(株)	日栄プラスチック(株)	(株)新井広武	マルシン工業(株)
SV	FS-100	R-2	M-130, 230
L5	CS-500, 600	R-10	M-250, 280
(株)極東	メット工業(株)	RS-10	M-37, 800
ノランインテグラール	F-1, F-2, K-70	TX-7	日新通商(株)
ノランジェット	K-3, KX-1		JEB'Sジェット
ノランミニジェット	K-110, K-150		
立花自動車用品	(株)リード工業	(株)コミネオートセンター	
GT-200	RX-200	FUJI-100	
カスタムGT-1	RT-10	FUJI-300	
カスタムF-500		Z-5000, NT-1	

JIST8133-1種

(トライアル用)

(株)新井広武	昭栄化工(株)
TL-1	TR-1
TL-3	
TL-8	
クノー工業(株)	
Uvex-Trial	



# 付 録

## '81 ロードレース国際A級ランキング

125ccクラス					500ccクラス				
順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名	順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名
1	99	一の瀬 憲明	三重	鈴鹿レーシングチーム	1	28	木下 恵司	愛知	ブレイメイトレーシングチーム
2	55	鯉沼 慶次郎	東京	ブルーヘルメットMSC	2	1	鈴木 修	//	//
3	127	富田 英志	三重	鈴鹿レーシングチーム	3	20	上野 真一	京都	レーシングスポーツ
4	124	山本 陽一	//	//	4	5	毛利 良一	兵庫	チームカナヤ
5	38	江崎 正	兵庫	チームカナヤ	5	8	水谷 勝	愛知	東海スポーツライダーズ
6	126	小沼 賢代子	千葉	レーシングチームスウィング	6	62	平 忠彦	神奈川	スポーツライダーズ
7	54	榎本 勲	大阪	月木レーシング	7	88	伊藤 巧	兵庫	レディーバードレーシングチーム
8	104	岩瀬 孝明	千葉	テクニカルスポーツ関東	8	102	樋渡 治	三重	スターズ STAR'S
9	77	五十木 俊克	神奈川	レーシングチーム小野口	9	86	酒井 清孝	東京	個人
10	109	小阪 弘行	東京	オートルキーR・C	10	115	馬場 勝己	滋賀	スターズ STAR'S
11	125	欽本 久	千葉	テクニカルスポーツ関東	11	66	酒井 博章	福岡	WEEKEND RIDERS
12	43	新田 茂	兵庫	木の実レーシング	12	95	草間 郁夫	茨城	個人
13	91	伊藤 裕之	埼玉	ブルーヘルメットMSC	13	116	浦 正勝	大阪	スターズ STAR'S
14	58	杉野 順三	大阪	小泉レーシングチーム	14	15	杉本 五十洋	京都	マックウェスタン
15	67	南口 俊彦	三重	チームヤングス	15	47	吉見 卓	//	//
16	128	七五三 昌文	茨城	テクニカルスポーツ関東	16	123	斉藤 仁	神奈川	個人
17	59	渡辺 靖夫	栃木	P・Gレーシングチーム	17	93	徳野 博人	大 阪	浜寺レーシングクラブ
18	53	斉藤 克己	兵庫	野田ジュニアレーシングC	18	87	森田 陸	三重	スズカササキチーム
19	52	吉川 文明	//	チームカナヤ	19	57	藤木 進	大阪	月木レーシングチーム
20	50	松井 正一	三重	チームヤングス	20	90	黒田 寛	神奈川	ワンダーラビットレーシングチーム
21	61	平井 隆	千葉	レーシングチームスウィング					
250ccクラス									
1	62	平 忠彦	神奈川	スポーツライダーズ					
2	5	毛利 良一	兵庫	チームカナヤ					
3	139	酒井 克	//	個人					
350ccクラス									
1	85	藤本 泰	兵庫	チームカナヤ					
2	89	和歌山 利宏	静岡	磐田レーシングファミリー					
3	97	石出 和之	東京	NOGARO RACING					

## '81 モトクロス国際A級ランキング

125ccクラス					250ccクラス				
順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名	順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	クラブ名
1	2	東福寺 保雄	山梨	トウフクジレーシング	18	28	高田 寛	東京	城北ライダーズ
2	7	大関 昌典	静岡	福岡ブルーエンゼル	19	30	大塚 保	千葉	イシレーシング
3	12	佐藤 健二	埼玉	千里スポーツクラブ	38	38	松本 満男	愛媛	瀬戸レーシングチーム
4	19	山本 勝司	静岡	中部SSC	41	41	菅野 俊彦	岩手	八千代スズキS・C
5	15	鈴木 秀明	東京	秀明道場	47	47	金徳 春夫	静岡	浜松ランモアレーシング
6	20	吉原 朋正	千葉	エルムンレーシング	51	51	瀬尾 勝彦	茨城	東京トレール
7	14	伊田井 佐夫	兵庫	東希和レーシングチーム	52	52	佐藤 和夫	埼玉	ブルーヘルメットMSC
8	6	竹沢 正治	栃木	竹沢バイククラブ	53	53	河内 賢三	静岡	福岡ブレイメイト
9	18	渡辺 明	静岡	宇都宮レーシング	54	54	岸川 清秀	佐賀	チームシャドウ
10	36	瀬戸 康一	兵庫	クラブ太閤	56	56	小田切 信雄	青 森	小田切レーシングクラブ
11	21	的場 平	大阪	マウンテンライダーズ	57	57	野崎 円次郎	森 田	三沢SSCクラブ
12	44	谷川 龍太郎	兵庫	杉尾レーシングチーム	59	59	矢島 金二郎	神奈川	個人
13	32	大泉 浩一	宮城	チームスピリッツ					
14	34	佐々木 隆	大阪	大阪チームブルーイーグルス					
15	29	川崎 利広	静岡	浜松スクランブル					
16	31	谷地 晃実	東京	チームスガヤ					
17	46	石神 覚	//	チェッカーズ					
250ccクラス									
1	3	福本 敏夫	埼玉	うず潮レーシング					
2	1	杉尾 良文	兵庫	杉尾レーシングチーム					
3	8	小田 桐昭藏	静岡	チームミスターバイク					
4	17	鈴木 都良夫	東京	秀明道場					
5	16	光安 鉄美	静岡	福岡ブレイメイト					
6	11	唐沢 栄三郎	埼玉	秀明道場					



順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	ク ラ ブ 名	16	23	小野 明	群 馬	スピードファンイン群馬
7	5	藤 秀信	静 岡	福岡ブレイメイト	17	27	山本 秀人	静 岡	秀明道場
8	10	立脇三樹夫	鳥 取	米子レーシングクラブ	18	50	佐藤 敏和	兵 庫	杉尾レーシングチーム
9	9	野宮 修一	兵 庫	クラブ太閤		22	秋元 春夫	同 僚	浜松ランモアレーシング
10	26	原口 衛	埼 玉	チェッカーズ		24	白戸 寛	岐 阜	チームホワイトドア
11	33	月岡 尚人	//	千葉ライダーズ		35	末永 初弘	佐 賀	末永レーシング
12	25	市川 哲也	//	ブルーヘルメットMSC		39	青山 金助	北 海 道	函館カトウレーシング
13	45	庄司 覚	静 岡	レーシングメイト of 仙台		49	手島 貴夫	北 海 道	ブラーブグロウリー
14	46	佐藤 浩一	//	中部SSC		55	奥村 勝昭	愛 知	中部スーパースポーツ
15	40	袴田 利明	//	"		58	鈴木 忠男	東 京	個人

## '81 モトクロス国際B級ランキング

総合 順位	クラス 順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	ク ラ ブ 名	12	11	⑨	6	佐々木博幸 <th>東 北</th> <th>チームスピリッツ</th>	東 北	チームスピリッツ
1	1	1	岡部 篤史	中 部	中部SSC	13	19	⑩	7	葛藤沢貞治	東 北	チームスガヤ
2	7	②	中村 義朗	関 東	習志野レーシング	14	⑩	20	8	溝口 健二	東 北	テラレーシングチーム
3	②	4	浅野 政幸	//	ブルーインパルスRC	15	⑪	9	9	源氏 篤	北 海 道	源氏組レーシングチーム
4	3	3	青木 一雄	四 国	FPMC	16	⑬	10	10	安江 潔志	関 東	ブルーヘルメットMSC
5	④	15	小野沢良一	関 東	テラレーシングチーム	17	18	⑬	11	村田 始	中 部	天竜レーシングクラブ
6	9	⑤	宮森 正夫	関 西	千里スポーツクラブ	18	⑭	24	12	林 英樹	中 国	ワイルドキャット岩国
7	⑤	12	福田 正敏	中 部	中部SSC	19	⑮	28	14	佐藤 高志	中 部	浜松ランモアR
			(以上は国際A級昇格者)			20	⑯	15	15	大久保和親	関 東	シャドウレーシング福岡
8	6	6	岸本 寛志	関 西	京北ライダーズ	21	⑰	16	16	佐藤 重雄	北 海 道	シャトルライダーズ札幌
9	20	⑦	吉沢 修	中 部	中部SSC	22	⑱	22	17	横山 隆夫	関 東	横山レーシングチーム
10	12	⑧	石川 雅文	//	"	23	⑲	18	18	安孫子賢二	//	エンゼルス関東
11	⑧	14	小橋 勝年	東 北	高橋レーシングクラブ	24	25	⑲	19	野口 忠男	//	"
						25	28	⑲	20	武井 幸一	//	レーシングメイト佐々木

## '81 トライアル国際A級ランキング

順位	ゼッケン No.	ライダー名	所属	ク ラ ブ 名	10	14	鈴木 章平 <th>岡 山</th> <th>トライアルチームKONDO</th>	岡 山	トライアルチームKONDO
1	5	黒山 一郎	兵 庫	チームナグラレーシング	11	13	山田 和雄	静 岡	浜松エスカルゴRT
2	1	丸山 嵐保	神奈川	チームカントリーライダーズ	12	11	木村 治男	//	トリアルライダーズ
3	3	小谷 重夫	京 都	個人	13	197	工藤 靖幸	熊 本	トミナガトリアルクラブ
4	4	伊藤 敦志	愛 知	チームナグラレーシング	14	19	山口 滋	東 京	個人
5	7	山本 昌也	大 阪	チームアップダウン	15	18	山田 民雄	神奈川	"
6	2	加藤 文博	兵 庫	チームカトウ	16	27	飯田 修	大 阪	"
7	8	井上 一彦	鳥 取	トライアルチームKONDO	17	23	土本 立春	岐 阜	"
8	9	近藤 博志	兵 庫	"	18	71	橋田 忠博	大 阪	"
9	6	畑山 和裕	東 京	エルムーンレーシング	19	20	南壁 年明	//	チームアップダウン



# 付 録

## '67~'81 歴代チャンピオン

### ●ロードレース

年	部 門	クラス	氏 名									
'67	ジュニア	50cc	柴 正之	71	エキスパート ジュニア	125cc	遠藤 恒雄	76	ジュニア	125cc	東金 育男	
		90cc	田中 隆造			250cc	中尾 康夫			250cc	水谷 勝	
		125cc	安男			251cc以上	浅見 貞男			350cc	太田 一博	
	セニア	250cc	大沢 耕治	72	セニア	90cc	金谷 秀夫	77	エキスパート ジュニア	125cc	飯田 浩之	
		251cc以上	宮沢 善次			125cc	杉本 泉			250cc	毛利 良一	
		50cc	伊藤 光夫			250cc	大脇 俊夫			350cc	佐藤 順造	
'68	アマチュア	90cc	滋野 靖穂	73	ノービス	251cc以上	金谷 秀夫	78	ノービス	750cc	高井 幾次郎	
		125cc	増田 恒弘			90cc	菅原 伸夫			90cc	鈴木 利彦	
		250cc	矢野 啓司			125cc	坂 公平			125cc	佐藤 裕文	
	ジュニア	251cc以上	神野 喬	74	ジュニア	250cc	上野 真一	79	ジュニア	250cc	藤本 泰東	
		90cc	角谷 新二			251cc以上	富江 昭孝			125cc	川上 浩久	
		125cc	鈴木 聖弘			125cc	毛利 良一			250cc	山名 浩久	
'69	アマチュア	250cc	大脇 俊夫	75	エキスパート ジュニア	250cc	大本 十生	80	エキスパート	350cc	山本 仁久	
		251cc以上	中山 仁			251cc以上	片山 敬済			125cc	飯田 謙之	
		90cc	酒井 奎吾			250cc	渡辺 富士夫			350cc	鈴木 修	
	ジュニア	125cc	森井 一夫	76	セニア	250cc	隅部 孝夫	81	ノービス	750cc	毛利 良一	
		250cc	谷口 茂夫			251cc以上	内田 隆			90cc	平野 芳男	
		251cc以上	菱谷 哲哉			125cc	小田 豊			125cc	上田 幸也	
'70	セニア	90cc	神谷 良明	77	ノービス	251cc以上	小田 豊	82	ジュニア	250cc	長谷川 嘉久	
		125cc	馬場 忠雄			90cc	杉野 順三			125cc	伊藤 裕之	
		250cc	和田 正宏			125cc	松山 守			250cc	伊藤 巧	
	アマチュア	251cc以上	松永 喬	78	ジュニア	250cc	橋本 久仁啓	83	エキスパート	350cc	藤本 泰東	
		90cc	野田 正彦			90cc	新田 茂			125cc	上田 公次	
		125cc	斉藤 茂憲			125cc	坂 公平			250cc	上田 岩次	
'71	ジュニア	250cc	中尾 康夫	79	セニア	350cc	山崎 達衛	84	ジュニア	350cc	石川 岩夫	
		251cc以上	数井 隆			125cc	佐藤 順造			750cc	上野 真一	
		90cc	角谷 新二			125cc	毛利 良一			125cc	富田 英志	
	セニア	125cc	高井 幾次郎	80	ノービス	750cc	片山 敬済	85	国際 A 級	250cc	吉村 俊宏	
		250cc	尾崎 俊彦			125cc	角谷 新二			250cc	阿部 三吉	
		251cc以上	里村 祥二			750cc	根本 健			350cc	平 忠彦	
'72	ノービス	125cc	小田 豊	81	ノービス	90cc	岡崎 隆史	86	国際 A 級	125cc	斉藤 三夫	
		250cc	隅谷 守男			125cc	佐藤 健正			350cc	斎藤 恵司	
		251cc以上	金谷 秀夫			250cc	酒井 克			750cc	水谷 勝	
	ジュニア	90cc	岩道 博	82	ジュニア	90cc	合津 悟志	87	ノービス	125cc	五百部 徳雄	
		125cc	柴谷 正昭			125cc	石井 康夫			250cc	窪田 正二	
		250cc	小塚 法経			250cc	橋本 久仁啓			125cc	山本 陽一	
'73	ノービス	251cc以上	鍋田 正明	83	エキスパート ジュニア	350cc	鈴木 修	88	ジュニア	250cc	垣内 清孝	
		90cc	江崎 正			125cc	岩道 博			360cc	田中 光男	
		125cc	青山 英二			750cc	阪本 裕介			125cc	一の瀬 恵明	
	ジュニア	250cc	糟野 雅治	84	セニア	750cc	青木 辰己	89	国際 A 級	350cc	平 忠彦	
		251cc以上	只野 光男			90cc	高井 幾次郎			750cc	鈴木 修	
		90cc	近藤 英二			125cc	片橋 英治			125cc	荒木 利春	
'74	セニア	125cc	小田 豊	85	ノービス	250cc	東金 育男	90	国際 B 級	250cc	中山 博文	
		250cc	大脇 俊夫			250cc	桶谷 俊彦			125cc	竹村 浩生	
		251cc以上	河崎 裕之			90cc	田口 勝雄			250cc	七尾 道夫	
	ノービス	90cc	平井 裕	86	ジュニア	125cc	山梨 保	91	国際 A 級	350cc	新井 亮一	
		125cc	上田 公次			250cc	酒井 克			125cc	一の瀬 恵明	
		250cc	大橋 富夫			350cc	大島 孝治			350cc	藤本 泰東	
'75	ジュニア	251cc以上	松谷 光明	87	エキスパート ジュニア	125cc	相沢 清	92	ノービス	500cc	藤本 恵司	
		90cc	渡辺 富士夫			125cc	石井 康男					
		125cc	青木 辰己			750cc	江崎 正					
	セニア	250cc	内田 隆	88	セニア	125cc	江崎 正	93	ノービス			
		251cc以上	加藤 昇平			750cc	浅見 貞男					
		90cc	江崎 正			90cc	牧野 栄					
エキスパート ジュニア	90cc	江崎 正	89	ノービス	125cc	川上 浩	94	ノービス				
					250cc	木下 恵司						



'67~'81 歴代チャンピオン

●モトクロス

年	部 門	クラス	氏 名	年	部 門	氏 名	年	部 門	氏 名			
'67	アマチュア	50cc.	黒川 隆	71	ノービス	90cc.	栗原 和年	76	セニア	125cc.	杉尾 良文	
		90cc.	河野 和憲			125cc.	栗原 和年			250cc.	増田 耕次	
		125cc.	高橋 道雄			250cc.	齊藤 英夫			90cc.	月岡 尚人	
	250cc.	高橋 道雄	ジュニア		90cc.	中村 忠	125cc.		月岡 尚人	ジュニア	125cc.	月岡 尚人
	251cc以上	博 博			125cc.	杉浦 種保	250cc.		横山 隆夫		250cc.	横山 隆夫
	90cc.	山本 隆			125cc.	竹沢 正治	125cc.		光安 鉄美		125cc.	光安 鉄美
ジュニア	125cc.	山本 隆	250cc.	潮尾 勝彦	250cc.	青山 金助	250cc.	青山 金助				
	250cc.	吉村 太一	125cc.	潮尾 勝彦	125cc.	鈴木都良夫	125cc.	鈴木都良夫				
	250cc.	山本 隆	125cc.	矢島金次郎	250cc.	竹沢 正治	250cc.	竹沢 正治				
'68	アマチュア	50cc.	堀 勇	72	ノービス	90cc.	藤 秀信	77	ジュニア	90cc.	渡辺 義己	
		90cc.	堀 勇			125cc.	藤 秀信			125cc.	小沢 孝	
		125cc.	堀 勇			250cc.	藤 秀信			250cc.	福田 正敏	
	250cc.	山下 和男	125cc.		小田切信雄	125cc.	佐藤 健二		125cc.	佐藤 健二		
	251cc.	山下 和男	250cc.		池田 勝	250cc.	大泉 浩一		250cc.	大泉 浩一		
	50cc.	蛭名 博昭	90cc.		唐沢栄三郎	90cc.	唐沢栄三郎		125cc.	潮尾 勝彦		
90cc.	蛭名 博昭	125cc.	唐沢栄三郎	125cc.	唐沢栄三郎	250cc.	潮尾 勝彦					
ジュニア	125cc.	西 信之	250cc.	唐沢栄三郎	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	潮尾 勝彦				
	250cc.	西 信之	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木都良夫	250cc.	潮尾 勝彦				
	251cc以上	ロバートE.エーモ	250cc.	鈴木都良夫	250cc.	鈴木都良夫	250cc.	潮尾 勝彦				
セニア	90cc.	星野 一義	90cc.	菅家 恵	78	ジュニア	90cc.	菅家 恵	78	ジュニア	90cc.	原本 松市
	125cc.	星野 一義	125cc.	村上 光則			125cc.	庄司 覚			125cc.	庄司 覚
	250cc.	山本 隆	250cc.	菅家 恵			250cc.	ジュイック			250cc.	ジュイック
アマチュア	50cc.	田中 敏夫	90cc.	古田 哲郎		125cc.	佐々木 隆	125cc.		佐々木 隆		
	90cc.	多田 茂次	125cc.	古田 哲郎		250cc.	佐々木 隆	250cc.		佐々木 隆		
	125cc.	中里 道夫	250cc.	古田 哲郎		250cc.	潮尾 勝彦	250cc.		潮尾 勝彦		
'69	ジュニア	50cc.	堀 勇	73	ジュニア	90cc.	古田 哲郎	79	ジュニア	90cc.	齊藤 武男	
		90cc.	堀 勇			125cc.	古田 哲郎			125cc.	大久保和親	
		125cc.	堀 勇			250cc.	古田 哲郎			250cc.	秋元 雅史	
	250cc.	岩尾 一敏	250cc.		古田 哲郎	250cc.	秋元 雅史		250cc.	秋元 雅史		
	50cc.	堀 勇	125cc.		岸川 清秀	125cc.	鈴木郎良夫		125cc.	秋元 雅史		
	90cc.	堀 勇	250cc.		藤 秀信	250cc.	鈴木郎良夫		250cc.	秋元 雅史		
セニア	90cc.	山本 隆	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	秋元 雅史				
	125cc.	山本 隆	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	秋元 雅史				
	250cc.	山本 隆	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	秋元 雅史				
'70	ノービス	50cc.	一色 薫	74	ジュニア	90cc.	谷川 徹二	80	ジュニア	125cc.	小野沢良一	
		90cc.	小田切信雄			125cc.	光安 鉄美			250cc.	小野沢良一	
		125cc.	平野 芳男			250cc.	大賀 広美			125cc.	谷川龍太郎	
	250cc.	青木 雅和	250cc.		渡辺 明	250cc.	庄子 覚					
	90cc.	鈴木都良夫	125cc.		渡辺 明	125cc.	鈴木 秀明		125cc.	東福寺保雄		
	125cc.	鈴木都良夫	250cc.		鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明		250cc.	東福寺保雄		
ジュニア	125cc.	岩尾 一敏	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	東福寺保雄				
	250cc.	岩尾 一敏	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	東福寺保雄				
	250cc.	岩尾 一敏	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	東福寺保雄				
セニア	125cc.	吉村 太一	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	東福寺保雄				
	125cc.	吉村 太一	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	東福寺保雄				
	250cc.	吉村 太一	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	鈴木 秀明	250cc.	東福寺保雄				

●トライアル

年	部 門	氏 名	年	部 門	氏 名	年	部 門	氏 名
'73		木村 治男	'76	ジュニア	町田 晴男	'79	ジュニア	佐藤 雄一
'74	ノービス	伊吹 健次	'77	エキスパート	黒山 一郎	'80	国際A級	近藤 博志
'75	ジュニア	近藤 博志	'78	ジュニア	山本 賢也	'81	ジュニア	広木 一美
	エキスパート	鎌 果秀男		エキスパート	近藤 博志		国際A級	丸山 胤保
		鎌 果秀男		ジュニア	山田 民雄		国際A級	石原 正美
		鎌 果秀男		エキスパート	近藤 博志		国際A級	黒山 一郎



# 全日本選手権ランキング基準 MFJライセンス昇・降格規定

## 全日本選手権 ランキング

### 順位づけ決定の方法

全日本選手権ランキングの順位づけは、次の方法により決定される。

- 1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の大なるものから順位を決定する。  
ただし、30点未満のものはチャンピオンとはせず、ランキング2位とする。
- 2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数が多いものが上位となる。
- 3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- 4) 上記3)で決定できない場合、MFJ資格審査委員会において最終決定する。

## ライセンス 昇格規定

MFJライセンス資格は、MFJ公認のもとで開催されるモーターサイクル競技の公正を期するために、前年度の成績により次のような昇格基準にもとづいて決定される。

なお成績対象の期間は前々年度の11月から前年度の10月末日までの12ヵ月間とする。

## ロードレース

1. ノービス部門から国際B級部門  
1) 全日本選手権シリーズ大会において得点10点以上の成績を得た者。

- 2) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
- 3) そのほか資格審査委員会が認めた者。
2. 国際B級部門から国際A級部門  
1) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～3位までの者。
- 2) そのほか資格審査委員会が認めた者。

## モトクロス

1. ノービス部門からジュニア部門  
1) 地方大会以上のレースにおいて得点20点以上の成績を得たもの。
- 2) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
- 3) そのほか資格審査委員会が認めた者。
2. ジュニア部門から国際B級部門  
1) 全日本選手権シリーズ大会において得点20点以上の成績を得た者。
- 2) 地方大会以上のレースにおいて得点50点以上の成績を得た者。
- 3) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～6位までにランクされた者。
- 4) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
3. 国際B級部門から国際A級部門  
1) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～5位までにランクされた者。
- 2) そのほか資格審査委員会が認めた者。

## トライアル

1. ノービス部門からジュニア部門  
1) 競技会におけるノービス部門での優勝者（ベストパフォーマンス）及び2位（ランナーアップ）2名のみ。



- 2) 上記の競技会におけるノービス部門は少くとも10名以上の参加によって構成されたものとする。
2. ジュニア部門から国際B級部門
  - 1) 地方選手権シリーズにおけるジュニア部門の成績により、各地方別に昇格人数を定めるものとする。
  - 2) '82年度は次の通り。北海道=4名・東北=8名・関東=15名・中部=10名・北陸=3名・関西=10名・中国=3名・四国=5名・九州=7名。
3. 国際B級部門から国際A級部門
  - 1) 前年度全日本選手権ランキングで、1位~5位までにランクされた者。

### 特別昇格申請手続き

1. 特別昇格基準
  - 1) すでに述べた昇格基準と同等とみなされるにふさわしい成績を得た者で、昇格を希望する者のみ特別昇格申請の手続きが受けられる。
2. 申請期間
  - 1) 前年度の11月からその年の2月末日までを申請期間とする。
  - 2) この期間以外の昇格申請はいつさい受けない。
3. 申請方法および申請料
  - 1) 所定の申請書に必要事項を記入し、所属する地方スポーツ委員会の承認を得てMFJ事務局に申請する。
  - 2) 所定の申請書はMFJ事務局に用意されており、請求に応じて配布される。
  - 3) 申請にあたっては申請料1,000円(切手でも可)を添えて提出すること。なお最終的な決定はMFJ資格審査委員会の審査結果による。

## ランキング

### 降格規定

MFJライセンス資格の降格を希望する者は、以下の手続きによって申請し、MFJ資格審査委員会の審査を経て降格できる。

#### ライセンスの降格手続き

1. 申請手続き
  - 1) 所定の申請書に必要事項を明記のうえ、所属する地方スポーツ委員会の承認を得て、MFJ事務局に提出する。
  - 2) 申請書用紙はMFJ事務局に用意されており、請求

に応じて配布される。

- 3) 降格承認後は、MFJ資格審査委員会が定めた日よりそのシーズンの終了まで、再昇格規定が適用される。
2. 申請期間
  - 1) 前年度の11月からその年の2月末日までを申請期間とする。
  - 2) この期間以外の降格申請はいつさい受けない。

## ランキング

### 再昇格規定

ライセンスの降格があっても次の規定で再昇格がある。

## ロードレース

- 1) 全日本選手権シリーズ大会において、原則として2回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 2) 公式記録によるラップタイム等により再昇格する。

## モトクロス

- 1) 国際B級からジュニア部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズ大会で、原則として2回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 2) ノービス部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、原則として1回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 3) その他、地方スポーツ委員会の判断により再昇格するものとする。

## トライアル

- 1) 国際B級部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズにおいて、原則として1回優勝(ベストパフォーマンス)した時点で再昇格する。
- 2) ジュニア部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて、原則として1回優勝(ベストパフォーマンス)した時点で再昇格する。
- 3) ノービス部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において出場者の上位10%以内に入賞した時点で再昇格する。
- 4) その他、地方スポーツ委員会の判断により再昇格するものとする。



## MFJ選手共済・保険制度

種目	ライダー掛金 (1名1大会)	ピット要員掛金 (1名1大会)	支 払 条 件			共済及び 保険適用
			最高限度額 (死亡、不具廃疾)	傷害保険支払い額	支払い適用期間	
ロードレース	3,000円 (1口目) (但し10口まで 掛けられる 2口目より 1口 1,350円)	300円 (支払い条件は モトクロスと 同じ)	350万円 (1口目) (但し2口以上 10口まで 1口につき 50万円)	①1日 1,250円×全 治日数(1口目) 但し2口以上10口ま で1口につき 500円 ②診断書作成料 5,000円	6ヵ月(180日) 大会当日のレー ス中 (公式練習含む 公式予選)	MFJ指 定保険及 びMFJ 役員・選 手共済併 用
	保険金請求に ついての 必要書類事項	①傷害保険金請求書(指定) ②全治したときの医師の治療証明書(指定) ③サーキットの事故証明書				
B ライ セン ス 対 象 種 目	サーキットにお けるプロダクシ ョン、ミニバイ クレース	300円	300万円	①1日 750円×全治 日数 ②診断書作成料 5,000円	6ヵ月(180日) 大会当日のレー ス中 (公式練習含む 公式予選)	MFJ役 員・選手 共済
	ミニモトクロス、 雪上車、エンデ ューロド車、その他 による競技会	300円	300万円			
	モトクロス	600円	300万円			
	トライアル	200円	300万円			
Bライセンス モトクロス トライアル		傷害保障金請求につ いての必要書類	①全治したときの医師の診断書 ②主催者の事故証明書			

- 注：1. ロードレースライダー以外は保険料は1口に限られます。  
2. 同一大会で2種目以上出場する場合は保険料の高い種目が適用されます。  
3. 上記保険は治療費は支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けてください。

保険請求の手続きは……

### 1 まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より二日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、保険金が支払われませんのでご注意ください。

### 2 診断書が必要

ただし負傷が完治してからです。ケガが治りましたら、治療先から診断書をもたらしてください。なお、ロードレースで負傷した場合は、MFJ所定の保険会社の診断書が必要になりました。この所定の診断書用紙はMFJ事務局に用意してありますので請求してください。

### 3 大会主催者から事故証明書をもろう

ケガをした大会の主催者から、本人の氏名および住所、生年月日、大会名と開催年月日、出場クラス、ケガの内容を記した大会主催者の認印のある事故証明書をもたらしてください。

### 4 請求先はMFJ事務局です

医師の診断書(ロードレースの場合はMFJ所定の保険会社の診断書)と、大会主催者の事故証明書を入手したら、この両方の書面を添えてMFJ事務局へ保険請求してください。宛先は〒104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル 日本モーターサイクル協会 保険係 です。



# MFJ公認ヘルメット



昭栄化工株式会社 〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル  
☎ 03-502-0301

## GR-Z

¥45,000

(ON ROAD)



- J.I.S規格2種、スネル規格1980・300G
- カラー/ホワイト・シルバー・マルーンレッド
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- カーボンファイバー製 ● MFJ公認

## EX-5 SUPRA-X

¥32,000

(MOTOCROSS)



- J.I.S規格2種
- カラー/レッド・ブルー
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- FRP製 ● MFJ公認

## TR-1

¥13,000

(TRIAL)



- J.I.S規格1種
- カラー/ホワイト・イエロー・ファイアーレッド
- サイズ/S・M・L
- FRP製 ● MFJ公認

## ARTE-MR

¥21,000

(ON ROAD)



- J.I.S規格2種
- カラー/ホワイト・シルバー・ブラック・ファイアーレッド
- サイズ/S・M・L・XL
- FRP製 ● MFJ公認
- 3段階開閉のクイックオープン式シールド

## GX-R CUSTOM

¥23,000

(ON ROAD)



- J.I.S規格2種、スネル1980・300G
- カラー/パールホワイト&シルバー・パールホワイト&ゴールドブラウン
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- FRP製 ● MFJ公認

## ZE

¥30,000

(ON ROAD)



- J.I.S規格2種、スネル1980・300G
- カラー/ホワイト・ブラック・マルーンレッド
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- ケブラ(APF)製 ● MFJ公認

## GW

¥17,000

(ON ROAD)



- J.I.S規格2種、アメリカ規格ANSI Z901
- カラー/ホワイト・シルバー・ブラック・ファイアーレッド
- サイズ/S・M・L・XL
- FRP製 ● MFJ公認
- 3段階開閉のクイックオープン式シールド

## ZV

¥22,000

(ON/OFF ROAD)



- J.I.S規格2種、スネル1980・300G
- カラー/ホワイト・シルバー・マルーンレッド、メタリックブルー
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- ケブラ(APF)製 ● MFJ公認

## GR-X

¥32,000

(ON/OFF ROAD)



- J.I.S規格2種、スネル1980・300G
- カラー/ホワイト・シルバー・マルーンレッド
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- カーボンファイバー製 ● MFJ公認





# MFJ公認ヘルメット

株式会社新井広武

〒330 埼玉県大宮市東町 2-12  
☎ 0486-41-3825

## CLC RX-7

¥40,000



- カラー/白・スーパーシルバー
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm  
59cm-60cm 61cm-62cm
- スネル1980 J.I.S 2種 ●MFJ公認

## Avanti (アバンティ)

¥37,000



- カラー/白・黒
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm  
59cm-60cm 61cm-62cm
- スネル1980 J.I.S 2種 ●MFJ公認

## CLC R-7

¥28,000



- カラー/白・スーパーシルバー
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm  
59cm-60cm 61cm-62cm
- スネル1980 J.I.S 2種 ●MFJ公認

## F-X

¥25,000



- カラー/パールホワイト・パールブラック  
スーパーシルバー
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm  
59cm-60cm 61cm-62cm
- スネル1980 J.I.S 2種 ●MFJ公認

## Challenger-S ¥17,000



- カラー/白・黒・パール・赤
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm  
59cm-60cm 61cm-62cm
- スネル1980 J.I.S 2種 ●MFJ公認

## Astro (アストロ) ¥24,000



- カラー/白・黒・赤
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm  
59cm-60cm 61cm-62cm
- スネル1980 J.I.S 2種 ●MFJ公認

## M-X

¥29,800



- カラー/白・赤・黄・青・黒
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm  
59cm-60cm 61cm-62cm
- J.I.S 2種 ●MFJ公認

## X-75 (Racing Type) ¥20,000



- カラー/白・黒
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm  
59cm-60cm 61cm-62cm
- スネル1980 J.I.S 2種 ●MFJ公認



# MFJ公認ヘルメット



マルシン工業株式会社 〒124 東京都葛飾区四ツ木5-9-6  
☎ 03-693-5791

**MV-1**

¥20,000



- カラー/白・ブラック・シルバー
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- スネル規格
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**GENERAL AR** ¥16,800



- カラー/白・ブラック ●サイズ/S・M・L
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- アゴ巾90mm(本格ベルトタイプ)
- スネル規格
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**MV-75**

¥40,000



- カラー/白 ●サイズ/S・M・L
- AR・BODONシールド装置(キズが付きにくい超硬度+くもりどめ) ●スネル規格
- アゴヒモ/ネックパットヘッドクッション本皮
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**インディー  
500AR**

¥26,000



- カラー/ブラック
- サイズ/S・M・L・XL
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**MV-Z**

¥14,500



- カラー/白・シルバー・ブラック レッド
- サイズ/S・M・L・XL
- スネル規格
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**MZ-GX**

¥26,000



- カラー/白・レモンイエロー
- サイズ/S・M・L・XL
- モトクロス専用
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**M-450 AR**

¥15,000



- カラー/白・レッド・シルバー・ブラック
- サイズ/S・M・L・XL
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**M-52**

¥12,000



- カラー/白・シルバー・レッド・ブラック
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認

**M-38**

¥10,500



- カラー/白・ブラック・オレンジ・レモンイエロー
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S規格2種 ●MFJ公認





# MFJ公認ヘルメット

株式会社コミネオートセンター 〒111 東京都台東区小島2-18-18  
☎ 03-862-9811(代)



## NH-NE

¥17,800

- カラー/レッド・ホワイト
- サイズ/S・M・L・LL
- S・SGマーク付
- FRP製
- 内装にはフィット感覚抜群のウレタン付フレンチパイル使用。
- 1550g



## NH-NE II

¥17,800

- カラー/シルバー・ブラック
- サイズ/S・M・L・LL
- S・SGマーク付
- FRP製
- 内装にはフィット感覚抜群のウレタン付フレンチパイル使用。
- 1550g



## NH-NZ

¥15,800

- カラー/白・黒(以上スタンダード)
- サイズ/S・M・L・LL
- S・SGマーク付
- FRP製
- 1550g



## NH-NJ1

¥13,000

- カラー/白・黒
- FRP製
- サイズ/M・L
- S・SGマーク付
- MFJ公認
- 内装はフィット感覚抜群のウレタン付フレンチパイル使用。
- 1140g(ツバを除く)



## NH-Z5000

¥13,800

- カラー/白・黒
- FRP製
- サイズ/M(57-58cm)  
L(59-60cm)
- S・SGマーク付
- MFJ公認
- 内装には吸湿性のあるコットン・メッシュ採用
- ツバは帽体に密着し、雨の侵入を完全カット。
- 1150g(ツバ・バイザー除く)



## NH-NT1

¥11,000

- カラー/赤・青・黄・白
- サイズ/M・L
- 帽体/FRP製
- ピーコックバイザー(バイザーと同色)
- S・SGマーク付
- MFJ公認
- 内装はフィット感覚抜群のウレタン付フレンチパイル使用。
- 700g(バイザーを除く)



## KH-300A

●カラー/白・黒  
¥7,800

## KH-300B

●カラー/白・黒  
¥8,100

## KH-300E

●カラー/黒・黄  
¥11,000

## KH-300F

●カラー/黒・白・黄・黒  
¥13,000

- サイズ/M・L・LL
- FRP製
- S・SGマーク付



## KH-100

¥8,500

- カラー/白・黒・メタリックブルー・メタリックレッド
- サイズ/M・L
- S・SGマーク付
- MFJ公認



# MFJ公認ヘルメット



クノー工業株式会社 〒141 東京都品川区西五反田 7-22-17  
☎ 03-494-3371-6

**UVEX** ¥18,000  
プロシリーズ F-1



- カラー/白・赤・黒・銀
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥18,000  
ウィーラー



- カラー/白・赤・黒
- サイズ/S・M・L・XL
- スーパーバイザー付
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥25,000  
アエロホーク



- カラー/白・赤・黒・銀
- サイズ/S・M・L・XL
- スーパーバイザー付
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥9,500  
トライアル



- カラー/白
- サイズ/M・L
- J.I.S 1種、MFJ公認

**UVEX** ¥17,500  
スーパーホーク



- カラー/赤・黒・銀・黄
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥15,000  
プロシリーズ X-1



- カラー/白・赤・黒・銀
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥16,500  
レーシングジェット



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥20,000  
モンテカルロ



- カラー/白・銀
- サイズ/S・M・L・XL
- J.I.S 2種、MFJ公認

**UVEX** ¥23,000  
チャンピオン



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M・L・XL
- くもり止めシールド付
- J.I.S 2種、MFJ公認





# MFJ公認ヘルメット

メット工業株式会社 〒136 東京都江東区北砂 6-12-14  
☎ 03-645-2545

**K-150**

¥12,000



- サイズ/S・M・L
- カラー/ゴールドアンドブルー
- MFJ公認
- ワンタッチホルダー

**K-2**

¥9,500



- サイズ/S・M・L
- メット・クリーン使用
- MFJ公認
- カラー/9色

**F-1**

¥12,500



- サイズ/S・M・L
- メット・クリーン使用
- MFJ公認
- カラー/9色

**FR-1**

¥14,000



- サイズ/S・M・L
- メット・クリーン使用
- MFJ公認
- カラー/9色

**KX-1**

¥9,000



- サイズ/S・M・L
- メット・クリーン使用
- MFJ公認
- カラー/9色

**K-110**

¥8,000



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/白黒2トーン

**K-3 TRIAL**

¥8,000



- サイズ/S・M・L
- MFJ公認
- カラー/9色

**K-70**

¥8,500



- サイズ/S・M・L
- メット・クリーン使用
- MFJ公認
- カラー/8色

**KX-7**

¥12,000



- サイズ/M・L・LL
- カラー/シルバー・レッド・ホワイト  
ブラック
- MFJ公認、J.I.S 2種



# MFJ公認ヘルメット



GPA 日本総輸入発売元 **ユニコ株式会社** 〒106 東京都港区六本木7-3-17  
☎ 03-478-2707(代)

**GPA-G4**

¥25,000



- J.I.S 2種 ● MFJ公認
- 1000g
- カラー / 5色
- サイズ / 55-60

**GPA-G1**

¥35,000



- J.I.S 2種 ● MFJ公認
- 1100g
- カラー / 5色
- サイズ / 55-60

**GPA-G2**

¥43,000



- J.I.S 2種 ● MFJ公認
- 1100g
- カラー / 6色
- サイズ / 55-60

株式会社 **リード工業** 〒120 東京都足立区宮城1-17-21  
☎ 03-912-2751(代)

**RX-92, 95**

¥18,000



- カラー / 白・クロ・シルバー・レッド
- サイズ / M・L
- J.I.S 1種
- MFJ公認

**RT-85**

¥12,000



- カラー / 6色
- サイズ / M・L
- J.I.S 1種
- MFJ公認

製造元 **日栄プラスチック株式会社**

〒143 東京都大田区大森西1丁目8番3号 ☎ 03-762-2421

販売 ヤマハ発動機(株)部品部

**FS-100**

¥9,600



- カラー / 白・グレイ・イエロー・オレンジ
- サイズ / S・M・L
- J.I.S 1種
- MFJ公認

**CS-500**

¥6,900



- カラー / 白・グレイ・イエロー・オレンジ
- サイズ / S・M・L
- J.I.S 1種
- MFJ公認





# MFJ公認ヘルメット

株式会社 立花自動車用品

〒133 東京都江戸川区本一色557-3  
☎ 03-653-6277

**GTX-1** (ライン入り)  
¥24,000



- カラー/ホワイト・ブラック・ブラウン
- サイズ/M・L
- J.I.S 2種 ●MFJ公認

**GTX-2**  
¥16,000



**GT-1** ¥8,800



- カラー/ホワイト・ブラック・グリーン・レッド・ブルー・オレンジ・シルバー
- サイズ/M・L
- J.I.S 1種 ●MFJ公認

**F-500DX**

I: ¥9,200 II: ¥9,200 III: ¥8,000



- カラー/I ブルー・ホワイトツートン
- II ブルー・ゴールドツートン
- III 白黒ツートン
- サイズ/M・L
- J.I.S 1種 ●MFJ公認

**GT-200** ¥8,500



- カラー/ホワイト・レッド・ブルー・グリーン・ブラック
- サイズ/M・L
- J.I.S 1種 ●MFJ公認

ワールド通商(株)

〒107 東京都港区赤坂1-1-17細川ビル  
☎ 03-853-1502(代)

日新通商(株)

〒104 東京都中央区京橋3-6-15  
第2吉井ビル3F ☎ 03-567-1770

**KIWI-K7** ¥23,000



- カラー/白・赤・黒・青・黄
- サイズ/M・L・XL
- J.I.S 1・2種
- MFJ公認

**KIWI-K8** ¥39,800



- カラー/白地・赤青ストライプ  
白地・青青ストライプ  
黒地・シルバーストライプ
- サイズ/M・L・XL
- J.I.S 1・2種 ●MFJ公認

**JEB'S** ジェットタイプ  
¥17,000



- カラー/白・黒・赤
- サイズ/S・M・L
- バイザー付
- S・SG/MFJ公認



# 信頼に応えるNGK。

勝利には、エンジンとプラグの  
絶妙な調和があった。



## NGKニューレーシングプラグ

数多くのレース経験を生かして登場。B8EGV・B9EGV・B10EGV

●ロードレース用 ●モトクロス用 ●カートレース用 ●四輪レース用







大地を味方にすることから、始まる。

大地と、そして、ライバルと闘うブリヂストンのモトクロス専用タイヤ。ライダーに鮮やかな勝利を予感させる、8つのラインナップが充実。

フロント専用

リア専用



	発売サイズ	適用	備考
フロント	M21	3.00-21	125cc、250cc用 硬質路面に威力を発揮
	M23	3.00-21	125cc、250cc用 硬質路面に威力を発揮
	M27	3.00-21	125cc、250cc用 オールラウンドタイプ
	M31	3.00-21	125cc、250cc用 軟質路面に威力を発揮
リア	M18	4.00-18	125cc用 硬質路面に威力を発揮
	M20	5.10-18	250cc用
	M22	4.00-18	125cc用 硬質路面に威力を発揮
	M24	4.00-18	125cc用 軟質路面に威力を発揮
	M22	5.10-18	250cc用
	M20	4.00-18	125cc用
	M24	5.10-18	250cc用
	M22	5.10-18	250cc用

**MOTOCROSS**  
**BRIDGESTONE**

●モトクロス専用タイヤです。モトクロス場以外の一般道路では使用できません。